



Document Solutions

> PRINT > COPY > SCAN > FAX

TASKalfa 2460ci

TASKalfa 2470ci

TASKalfa 2510i

TASKalfa 2520i



FAX System 13

使用説明書

使用説明書 メニュー

本説明書は、次の章で構成されています。下記のボタンを選択すると該当する章のトップページにジャンプします。
章のトップページには目次がありますので、目的の項目を選択して参照してください。

▶ 目次

▶ 索引

▶ 1 安全にお使いいただくための注意事項

▶ 7 ジョブの管理

▶ 2 ファクスを使用する準備

▶ 8 ファクスの初期設定 [システムメニュー]

▶ 3 ファクス送信

▶ 9 オプションについて

▶ 4 ファクス受信

▶ 10 こんなときには

▶ 5 ファクス各機能の詳細設定

▶ 11 付録

▶ 6 パソコンからのファクス送信

目次

目次	i
メニューマップ	vi
[ファクス]	vi
[Fコードボックス]	vii
[ポーリングボックス]	vii
[ファクスメモリー受信ボックス]	viii
[状況確認/ジョブ中止]	viii
[システムメニュー/カウンター]	ix
良好な状態でお使いいただくために	xviii
ファクス使用説明書(本書)について	xix
本書の構成について	xix
本書の読みかた	xx

1 安全にお使いいただくための注意事項 1-1

本書中の注意表示について	1-2
使用説明書について	1-3
法律上のご注意	1-4
電源を切るときの注意	1-4

2 ファクスを使用する準備 2-1

各部の名称(本体)	2-2
各部の名称(原稿送り装置)	2-3
操作パネルの使いかた	2-4
タッチパネルの使いかた	2-5
ホーム画面を表示する	2-5
タッチパネルを操作する	2-6
[エンター]キーの使いかた	2-6
[短縮]キーの使いかた	2-6
簡単セットアップウィザードを使って設定する	2-7
日付と時刻を設定する	2-9
宛先を登録する	2-10
アドレス帳に新しい宛先を登録する	2-10
アドレス帳を変更する	2-13
アドレス帳を削除する	2-14
アドレス帳リストを出力する	2-14
ワンタッチキーの登録	2-15
よく使う機能を登録するには(ショートカット登録)	2-17

3 ファクス送信 3-1

基本的な送信のしかた	3-2
リダイヤルを使う	3-3
送信状況を確認する	3-4
優先送信する	3-4
メモリー送信(原稿読み込み中)を中止する	3-5
メモリー送信(通信中)を中止する	3-5
送信を中止する(通信の切断)	3-6
相手先の入力方法	3-7
テンキーで相手先番号を入力する	3-7
アドレス帳から宛先を選ぶ	3-9
ワンタッチキーで選ぶ	3-10

	短縮キーで選ぶ	3-10
	同報送信	3-11
	本機へのログイン/ログアウト	3-13
	ユーザー管理が有効であるときにログインする	3-13
	部門管理が有効であるときにログインする	3-14
	手動送信する	3-15
	送信予約する	3-16
	割り込み送信する	3-17
	チェーンダイヤルを使う	3-18
	お気に入りを使う	3-20
4	ファクス受信	4-1
	受信方法の種類	4-2
	受信方法を設定する	4-2
	自動受信する	4-3
	自動受信のながれ	4-3
	受信を中止する(通信の切断)	4-3
	手動受信する	4-4
	手動受信のながれ	4-4
5	ファクス各機能の詳細設定	5-1
	送信で設定できる機能	5-3
	[原稿サイズ]	5-3
	[原稿セット向き]	5-3
	[両面/見開き原稿]	5-4
	[ファクス送信解像度]	5-4
	[濃度]	5-4
	[原稿の画質]	5-5
	[連続読み込み]	5-5
	[ジョブ終了通知]	5-5
	[文書名入力]	5-5
	[長尺原稿]	5-5
	[ファクスタイマー送信]	5-6
	[タイマー送信ジョブの設定のしかた]	5-6
	[ファクスダイレクト送信]	5-7
	[ファクスポーリング受信]	5-7
	受信で設定できる機能	5-8
	[用紙種類]	5-9
	[縮小受信]	5-9
	[受信日時記録]	5-10
	[両面印刷]	5-10
	[2in1印刷]	5-10
	[一括印刷]	5-10
	[Fネット無鳴動受信]	5-11
	[ダイヤルイン]	5-11
	メモリー転送	5-12
	転送設定	5-13
	転送先の種類	5-13
	転送を設定する	5-13
	転送先を登録する	5-13
	登録内容を変更する	5-14
	登録内容を削除する	5-14

転送詳細設定	5-15
[ファイル形式]	5-15
[ファイル分割]	5-15
[メール件名付加情報]	5-15
[FTP暗号送信]	5-15
[印刷]	5-16
[有効時間]	5-16
[文書名]	5-16
Command Center RX からのメモリー転送設定(転送設定)	5-17
Fコードボックスとは	5-18
Fコードボックスを登録する	5-18
Fコードボックスを変更する	5-19
Fコードボックスを削除する	5-20
Fコードボックスから印刷する	5-20
Fコードボックスの詳細情報を確認する	5-21
Fコードボックスから印刷後の原稿を自動的に削除する	5-21
Fコードボックスから原稿を削除する	5-22
Fコードボックスリストを印刷する	5-22
Fコード通信とは	5-23
Fコード送信する	5-24
Fコード受信のしかた	5-25
ポーリング通信とは	5-26
ポーリング送信とは	5-26
ポーリング受信とは	5-28
ポーリングボックスから印刷する	5-30
ポーリングボックスの詳細情報を確認する	5-30
ポーリングボックスから原稿を削除する	5-30
ファクスメモリー受信ボックス	5-31
ファクスメモリー受信ボックスからの印刷のしかた	5-31
ファクスメモリー受信ボックスからの削除のしかた	5-32
暗号通信	5-33
暗号鍵を登録する	5-33
暗号鍵の登録内容を変更する	5-34
暗号鍵の登録内容を削除する	5-34
暗号送信する	5-35
暗号受信を設定する	5-36

6 パソコンからのファクス送信 6-1

Network FAXの送信の流れ	6-2
Network FAXの受信の流れ	6-2
Network FAXのセットアップ	6-3
Network FAX ドライバーをダウンロードする	6-4
Network FAXドライバーをインストールする	6-6
FAXドライバーをアンインストールする	6-8
ドライバーの初期設定をする	6-9
初期設定ダイアログボックスを開く	6-10
基本的な方法で送信する	6-13
送信設定の変更	6-16
アドレス帳から送信先を選択する	6-16
Fコード通信する場合	6-18
送付状を設定する場合	6-19
オプションを設定する	6-19
送信元情報を変更する	6-20

送付状の使用方法	6-21
送付状について	6-21
送付状を付けて送信する	6-22
送付状の登録(初期設定)	6-26
Network FAXの送信状況を確認する	6-31
7 ジョブの管理	7-1
通信結果や登録した内容を確認する	7-2
ファクスジョブの送信/受信履歴を確認する	7-3
履歴画面を表示する	7-3
管理レポートの印刷(結果通知設定)	7-4
送信結果レポートを印刷する	7-4
ネットワークファクス送信時の添付画像	7-4
送信前に中止されたジョブのレポートを印刷する	7-5
宛先の表示形式を変更する	7-5
受信結果レポートを印刷する	7-6
通信管理レポート(ファクス発信レポート/ファクス着信レポート)	7-7
通信管理レポートを印刷する	7-7
通信管理レポートを自動的に印刷する	7-7
ステータスページを印刷する	7-8
ファクスの受信結果をメールで知らせる	7-9
宛先確認画面を表示する	7-10
8 ファクスの初期設定[システムメニュー]	8-1
システムメニューの操作方法	8-2
ファクス初期設定	8-2
システムメニューの項目	8-3
[レポート]	8-5
[カセット/手差しトレイ設定]	8-6
[共通設定]	8-7
[文書ボックス]	8-8
[ファクス設定]	8-8
送受信制限	8-14
許可ファクス番号を登録する	8-15
許可ファクス番号を変更する	8-16
許可ファクス番号を削除する	8-16
拒否ファクス番号を登録する	8-17
拒否ファクス番号を変更する	8-17
拒否ファクス番号を削除する	8-17
許可ID番号を登録する	8-18
許可ID番号を変更する	8-18
許可ID番号を削除する	8-18
送信制限を設定する	8-19
受信制限を設定する	8-19
番号不明受信の処理方法を設定する	8-19
使用禁止時間を設定する	8-20
管理機能について	8-22
9 オプションについて	9-1
ハンドセット	9-2
電話のかけかた	9-3

	外付け電話機を使用する	9-4
	ファクス/電話を自動切替で受信する	9-4
	ファクス/留守番電話を自動切替で受信する	9-6
	手動で送信する	9-8
	手動で受信する	9-9
	リモートで切り替える	9-10
10	こんなときには	10-1
	送/受信中のランプ表示について	10-2
	アテンションランプが点灯または点滅したとき	10-2
	こんな表示が出たら	10-3
	エラーコード一覧表	10-5
	一般的なトラブル	10-8
	よくあるお問い合わせ	10-9
11	付録	11-1
	文字の入力方法	11-2
	入力方式を選択する	11-2
	入力文字を選択する	11-3
	入力画面の見かた	11-3
	かな入力とローマ字入力での文字変換	11-7
	区点コードでの文字変換	11-10
		11-11
	仕様	11-12
	出荷時設定値一覧表	11-14
	受信サイズと印刷用紙優先順位表	11-17
	等倍優先	11-17
	縮小優先	11-20
	索引	索引-1

メニューマップ

[ファクス]

F3 ファクス

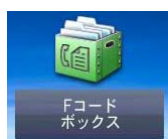
または



機能キー	説明	参照ページ
オンフック	手動送信/手動受信をする場合に選択します。	3-15
ダイレクト	原稿をメモリーに読み込まずに直接送信します。	3-15
再宛先	直前にダイヤルした相手先を宛先リストに呼び出すことができます。	3-3
新規宛先	テンキーで相手先のファクス番号を入力します。	3-7
アドレス帳	アドレス帳に登録されている宛先を選択します。	3-9
拡張アドレス帳	拡張アドレスに登録されている宛先を選択します。	Command Center RX 操作手順書
ワンタッチキー	ワンタッチキーで宛先を選択できます。	3-10

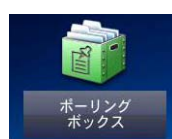
機能一覧	説明	参照ページ
原稿サイズ	原稿の読み込みサイズを設定します。	5-3
原稿セット向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。	5-3
両面/見開き原稿	原稿に合わせて、原稿の種類と同じ方向を選択します。	5-4
ファクス送信解像度	ファクスで送信する際の画像の細かさを設定します。	5-4
濃度	濃度を9段階から調整します。	5-4
原稿の画質	原稿の種類に合わせて、画質を選択します。	5-5
連続読み込み	原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。	5-5
文書名入力	読み込む原稿のファイル名を変更できます。ジョブ番号や日付も付加できます。	5-5
長尺原稿	原稿送り装置を使用して、長尺原稿（給紙される方向に長い原稿）を読み込むことができます。	5-5
ジョブ終了通知	ジョブが終了したことをメールで通知します。	5-5

[Fコードボックス]



機能キー	説明	参照ページ
Fコードボックス	Fコードボックスを操作します。	5-18

[ポーリングボックス]



機能キー	説明	参照ページ
ポーリングボックス	ポーリングボックスを操作します。	5-26

[ファクスメモリー受信ボックス]



機能キー	説明	参照ページ
ファクスメモリー受信ボックス	ファクスメモリー受信ボックスを操作します。	5-31

[状況確認/ジョブ中止]

状況確認/
ジョブ中止



または



機能キー		説明	参照ページ
印刷ジョブ状況		印刷ジョブ状況画面を表示します。	本体の使用説明書
送信ジョブ状況		送信ジョブ状況画面を表示します。	本体の使用説明書
保存ジョブ状況		保存ジョブ状況画面を表示します。	本体の使用説明書
予約ジョブ		タイマー送信で待機中のファクス送信ジョブを確認できます。	5-6
印刷ジョブ履歴		印刷ジョブ履歴画面を表示します。	本体の使用説明書
送信ジョブ履歴		送信ジョブ履歴画面を表示します。	本体の使用説明書
保存ジョブ履歴		保存ジョブ履歴画面を表示します。	本体の使用説明書
ファクスジョブ履歴	ファクス発信履歴	最新のファクス発信履歴画面を表示します。	7-4
	ファクス着信履歴	最新のファクス着信履歴画面を表示します。	7-4
	ファクス発信レポート	最新の発信の情報をレポートにして印刷します。	7-4
	ファクス着信レポート	最新の着信の情報をレポートにして印刷します。	7-4
スキャナー		原稿読み込み状態やエラー情報を表示します。	本体の使用説明書
プリンター		エラー情報や、待機中、印刷中などの状態を表示します。	本体の使用説明書
ファクスメモリー受信ボックス		ファクスメモリーボックス内の文書の状態を表示します。	本体の使用説明書

機能キー		説明	参照ページ
ファクス	回線を切る	現在通信している回線を切り、送/受信を中止します。	3-6
	手動受信	相手先との回線がつながったことを確認した後、受信します。	4-4
トナー状況		トナーの有無を表示します。	本体の使用説明書
用紙状況		用紙の有無を表示します。	本体の使用説明書
外部メモリー		本機に接続したUSBメモリーの使用量/全容量を表示します。	本体の使用説明書
USBキーボード		USBキーボードの有無を表示します。	本体の使用説明書
Bluetoothキーボード		Bluetoothキーボードの状態を表示します。	本体の使用説明書
ステープル		ステープル針の有無を表示します。	本体の使用説明書
ネットワーク接続状態		ネットワークの接続状態を表示します。	本体の使用説明書
オプションネットワーク接続状態		オプションのネットワークインターフェイスキットの接続状態を表示します。	本体の使用説明書
Wi-Fi Direct		Wi-Fi Directの接続状態を表示します。	本体の使用説明書
ワイヤレスネットワーク		オプションのワイヤレスネットワークインターフェイスキットの接続状態を表示します。	本体の使用説明書
Wi-Fi接続状態		Wi-Fiの接続状態を表示します。	本体の使用説明書
SSD		オプションのSSDの状態を表示します。	本体の使用説明書
NFC		NFCの接続状態を表示します。	本体の使用説明書

[システムメニュー/カウンター]

システムメニュー/
カウンター



または



簡単セットアップウィザード

システムメニューの項目	説明	参照ページ
ファクスのセットアップ	ウィザード形式でファクスの設定を行います。	2-7
省エネのセットアップ	ウィザード形式で省エネの設定を行います。	本体の使用説明書
ネットワークのセットアップ	ウィザード形式でネットワークの設定を行います。	本体の使用説明書

言語選択

システムメニューの項目	説明	参照ページ
言語選択	タッチパネルに表示される言語を選択します。	本体の使用説明書

レポート

システムメニューの項目			説明	参照ページ
レポート 本機の設定や状態、履歴を確認するための各種レポートを印刷したり、印刷のしかたを設定することができます。	レポート印刷	ステータスページ	現在の設定内容、使用可能メモリー、装着されているオプション機器などの情報が確認できます。	7-8
		フォントリスト	本機に搭載されているフォントをサンプルで確認できます。	本体の使用説明書
		ネットワークステータス	ネットワークインターフェイスのファームウェアバージョンやネットワークアドレス、ネットワークプロトコルなどの情報が確認できます。	本体の使用説明書
		サービスステータス	ステータスページよりも詳細な情報が確認できます。サービス担当者がメンテナンスの際に印刷するのが主な用途です。	本体の使用説明書
		オプションネットワークステータス	オプションネットワークインターフェイスのファームウェアバージョンやネットワークアドレス、ネットワークプロトコルなどの情報が確認できます。	本体の使用説明書)
		部門管理レポート	全部門で集計された枚数を、部門レポートとして印刷できます。	本体の使用説明書)
		Fコードボックスリスト	登録されているFコードボックスのボックス番号、ボックス名の一覧が記載されたFコードボックスリストが印刷されます。	5-22
		ファクスリスト(見出し)	アドレス帳を登録している宛先のリスト(見出し)が印刷されます。	2-14
		ファクスリスト(番号)	アドレス帳を登録している宛先のリスト(ファクス番号)が印刷されます。	2-14
		ファクス発信レポート	ファクス発信レポートを印刷できます。	8-5
		ファクス着信レポート	ファクス着信レポートを印刷できます。	8-5
	管理レポート設定	ファクス発信レポート	発信50件ごとに、自動的に通信管理レポートが印刷されます。	7-7
		ファクス着信レポート	着信50件ごとに、自動的に通信管理レポートが印刷されます。	7-7

システムメニューの項目			説明	参照ページ
本機の設定や状態、履歴を確認するための各種レポートを印刷したり、印刷のしかたを設定することができます。	結果通知設定	送信結果レポート	送信が終了したときに、送信結果レポートを自動的に印刷します。また、ネットワークファクス送信時に添付する画像を選択できます。	8-5
		ファクス受信結果通知	ファクスを受信したときに、受信結果レポートを印刷できます。	8-5
		終了通知設定	ジョブ終了通知に画像を添付することができます。	本体の使用説明書
	履歴送信	履歴送信	設定されている宛先にジョブ履歴を手動で送信します。	本体の使用説明書
		自動送信	ジョブ履歴が設定した件数になると、設定されている宛先にジョブ履歴を自動的に送信します。	本体の使用説明書
		宛先	ジョブ履歴を送信する送信先を設定します。設定できるアドレスはメールアドレスのみです。	本体の使用説明書
		ジョブ履歴件名	ジョブ履歴をメールで送信するときに、自動的に入力される件名を設定します。	本体の使用説明書
		SSFC履歴件名	ICカード認証で印刷したジョブの履歴の件名を入力します。	本体の使用説明書
		個人情報	履歴に個人情報を含めるかどうかを設定します。	本体の使用説明書

カウンター

システムメニューの項目	説明	参照ページ
カウンター	印刷枚数および読み込み枚数を参照します。	本体の使用説明書

ユーザー情報

システムメニューの項目	説明	参照ページ
ユーザー情報	ユーザー情報を変更できます。変更できる内容は、ログインしているユーザーの権限によって異なります。	本体の使用説明書

カセット/手差しトレイ設定

システムメニューの項目	説明	参照ページ
カセット1(～3)	カセット1(～3)で使用する用紙の設定を行います。	8-6

共通設定

システムメニューの項目		説明	参照ページ
初期画面		電源を入れて最初に表示される画面(初期画面)を選択します。	本体の使用説明書
音設定	ブザー	本機の操作中に鳴る報知音について設定します。	本体の使用説明書
	ファクススピーカー音量	本機のスピーカー音のボリュームを調整できます。	8-7
	ファクスモニター音量	本機のモニター音のボリュームを調整できます。	
原稿設定		よく使用する原稿サイズを登録します。	本体の使用説明書
用紙設定		よく使用する用紙サイズを登録します。	本体の使用説明書
機能初期値 本機で利用できる機能の初期値を設定することができます。よく使用する設定を初期値にしておけば、使用するたびに設定し直す必要がなく便利です。	ファクス送信解像度	原稿を読み込むときの解像度の初期値を設定します。	本体の使用説明書
	連続読み込み(ファクス)	連続読み込みの初期値を設定します。	本体の使用説明書
排紙先		ファクスを受信したときの印刷用紙の排紙先を設定します。	本体の使用説明書
エラー処理設定		エラーが発生したときに印刷を停止するか、続行するかを設定します。	本体の使用説明書
入力長さ単位		用紙サイズなどの長さを入力するときの単位を、インチとミリメートルから選択できます。	本体の使用説明書
トナー残量少の通知		トナーが残り少なくなったことを通知するトナー残量を設定します。	本体の使用説明書
キーボード入力方式		名前などを入力するときに表示されるキーボードの文字入力方式の初期値を設定します。	本体の使用説明書
ジョブごとの文書仕分け		文書をジョブごとに仕分けするかどうかを設定します。	本体の使用説明書
1ページ文書の仕分け		1ページの文書を仕分けするかどうかを設定します。	本体の使用説明書
状況/履歴の表示	ファクス通信履歴の表示	ファクス通信履歴を表示するかどうかを設定します。	本体の使用説明書
機能キー登録	機能キー1~3	操作パネルの機能キー1~3に関する設定を行います。	本体の使用説明書
電源オフの確認		電源オフ時に確認メッセージを表示するかどうかを設定します。	本体の使用説明書

ホーム

システムメニューの項目	説明	参照ページ
ホーム	ホーム画面の設定を行います。	本体の使用説明書

コピー

システムメニューの項目	説明	参照ページ
コピー	コピー機能に関する設定を行います。	本体の使用説明書

送信

システムメニューの項目	説明	参照ページ
送信	送信機能に関する設定を行います。	本体の使用説明書

文書ボックス

システムメニューの項目	説明	参照ページ
ユーザーボックス	ユーザーボックスに関する設定を行います。	本体の使用説明書
Fコードボックス	Fコードボックスに関する設定を行います。	5-18
ジョブボックス	ジョブボックスに関する設定を行います。	本体の使用説明書
ポーリングボックス	ポーリングボックスに関する設定を行います。	5-26
ファクスメモリー受信ボックス	ファクスメモリー受信ボックスに関する設定を行います。	5-31

ファクス

システムメニューの項目			説明	参照ページ
ファクス	送受信共通設定	暗号鍵登録	暗号通信で使用する暗号鍵を登録します。	8-8
		ファクスリモート診断	弊社サービスセンターのコンピューターから、電話回線を介して本機にアクセスし、その状況や問題点などを確認することが出来ます。	8-8
	送信設定	自局名登録	発信元記録に印刷する発信元の名前を登録します。	8-9
		自局名登録(フリガナ)	発信元のフリガナを登録します。	
		自局ファクスID	自局ファクスIDを登録します。	
		自局ファクス番号	発信元記録に印刷する発信元の自局ファクス番号を登録します。	
		発信元記録	送信したファクスに印刷される発信元記録の印刷位置を設定します。	
		部門名の使用	自局名に部門名を使用するかどうかを設定します。	
		回線種類	契約している電話回線の種類に合わせて設定します。	
		リダイヤル回数	リダイヤルする回数を変更出来ます。	
		ECM送信	ECM送信を行うかどうかを設定します。	
		送信開始速度	送信開始速度を設定します。	
	受信設定	用紙種類	ファクスが印刷されるときに使用する用紙を、用紙の種類で限定出来ます。	5-8
		縮小受信	受信サイズが用紙サイズよりも大きい場合、縮小して印刷できます。	
		受信日時記録	ファクスが印刷されるときに、受信した日時、相手先の情報、ページ数を、各ページの先頭に印刷します。	
		両面印刷	複数ページの受信データが、すべて同じ幅であるとき、受信データと同じ幅の用紙に両面で印刷できます。	
		2in1印刷	A5サイズで複数ページの原稿を受信したときに、2ページをA4の用紙1枚にまとめて印刷します。	
		一括印刷	受信した原稿が複数あるときに、全てのページの受信が完了してから一括で出力します。	
		ベル回数(普通)	受信方式がファクス専用自動受信の場合に、相手先からの呼び出しに応答するまでのベル回数を変更することができます。	
		ベル回数(留守番電話)	受信方式がファクス/留守番電話自動切換え受信の場合に、相手先からの呼び出しに応答するまでのベル回数を変更することができます。	
		ベル回数(ファクス/電話切替)	受信方式がファクス/電話自動切換え受信の場合に、相手先からの呼び出しに応答するまでのベル回数を変更することができます。	
		受信方式	本機の受信方式を設定します。	
		リモート切替ダイヤル	接続された電話機からの操作で、ファクスの受信を開始させることができます。	

システムメニューの項目			説明	参照ページ
ファクス	受信設定	Fネット無鳴動受信	電気通信事業者が提供するファクス通信網(Fネット)に接続して、ファクス通信する場合に設定します。	5-8
		ダイヤルイン	電気通信事業者のダイヤルインサービスを利用する場合に設定します。	
		暗号受信	暗号通信で受信を設定します。	
		ナンバーディスプレイ	本機はナンバーディスプレイ表示に対応していないため、ナンバーディスプレイサービスはご利用いただけません。	
		ECM受信	ECM受信を行うかどうかを設定します。	
		受信開始速度	受信開始速度を変更します。	
	通信制限設定		通信条件を満たすときだけ送/受信を可能にします。	8-12
	転送設定		ファクスを受信したとき、受信画像を他のファクスやコンピューターに転送したり、印刷したりできます。	8-12
	新規宛先の入力(ファクス)		宛先の直接入力を許可するかどうかを設定します。	8-13

アプリケーション

システムメニューの項目	説明	参照ページ
アプリケーション	アプリケーションに関する設定を行います。	本体の使用説明書

インターネット

システムメニューの項目	説明	参照ページ
インターネット	アプリケーションのインターネットに関する設定を行います。	本体の使用説明書

アドレス帳/ワンタッチ

システムメニューの項目			説明	参照ページ
アドレス帳/ワンタッチ	アドレス帳		アドレス帳に関する設定を行います。	2-10
	ワンタッチキー		ワンタッチキーに関する設定を行います。	2-15
	アドレス帳初期設定	表示順	アドレス帳を表示したときに、宛先を表示する順番の初期値を設定します。	本体の使用説明書
		アドレス帳の種類	アドレス帳を表示したときに、どのアドレス帳を表示するかを設定します。	本体の使用説明書
	編集制限		アドレス帳の編集を制限します。	本体の使用説明書
	リスト印刷		アドレス帳を登録している宛先のリストを出力できます。	2-14

ユーザー/部門管理

システムメニューの項目	説明	参照ページ
ユーザー/部門管理	本機の管理に関する設定を行います。	本体の使用説明書

プリンター

システムメニューの項目	説明	参照ページ
プリンター	パソコンから印刷する場合、各種設定は通常、アプリケーションソフトの画面で行います。ここで説明するプリンター設定は、使用する環境に合わせて初期設定を変更するときに行ってください。	本体の使用説明書

システム/ネットワーク

システムメニューの項目	説明	参照ページ
システム/ネットワーク	本機のシステムについて設定します。	本体の使用説明書

日付/タイマー/節電

システムメニューの項目		説明	参照ページ
日付/タイマー節電/	日付/時刻	設置場所の日付と時刻を設定します。	2-9
	日付形式	日付の年、月、日の並び順を設定します。	2-9
	時差	GMT(世界標準時)からの時差を設定します。	2-9
	オートパネルリセット	一定時間操作がないと、設定内容を自動的にリセットして初期値に戻す機能を使用するかどうかを設定します。	本体の使用説明書
	パネルリセット時間	オートパネルリセットを設定した場合、操作終了後リセットされるまでの時間を設定できます。	本体の使用説明書
	低電力モード時間	低電力モードに入る時間を設定します。	本体の使用説明書
	スリープレベル	スリープレベルを設定します。	本体の使用説明書
	スリープ時間	スリープに入る時間を設定します。	本体の使用説明書
	節電復帰レベル	節電状態からの復帰方法を設定します。	本体の使用説明書
	エラー後自動継続	エラー発生後一定時間が経過すると、自動で処理を再開する機能を使用するかどうかを設定します。	本体の使用説明書
	エラー後自動継続時間	エラー後の自動継続を設定した場合、印刷を再開するまでの時間を設定します。	本体の使用説明書
	割り込み解除時間	割り込みコピーモードにして何も操作しないときの、通常モードに戻るまでの時間を設定します。	本体の使用説明書
	使用禁止時間	受信したファクスの印刷を禁止する時間帯を設定します。	8-20
	Pingタイムアウト時間	「システム/ネットワーク」の[Ping]を実行した場合、タイムアウトになるまでの時間を設定します。	本体の使用説明書

調整/メンテナンス

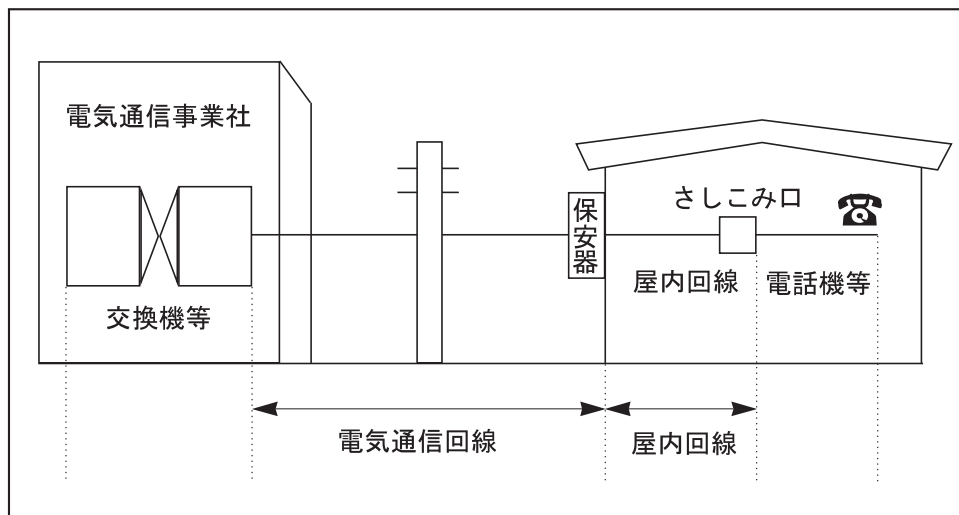
システムメニューの項目	説明	参照ページ
調整/メンテナンス	印刷品質に関する調整や、本機のメンテナンスを行います。	本体の使用説明書

良好な状態でお使いいただくために

この使用説明書は、ファクスを良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法・日常の手入れおよび簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。

[電気通信回線への接続方法]



IP 電話回線のご使用について

ブロードバンド通信網(光ファイバー、CATV、ADSLなど)によるIP電話回線をご利用になるときは、送/受信が正常に行えないことがあります。その場合は、ご加入の回線事業者へお問い合わせください。



参考

一時的な回避方法として、送信設定の[送信開始速度]や受信設定の[受信開始速度]の設定値を変更すると送/受信できる場合があります。

➡送信開始速度 8-10

➡受信開始速度 8-12

ナンバーディスプレイをご契約されている際の注意について

本製品はナンバーディスプレイ表示に対応していないため、ナンバーディスプレイサービスはご利用いただけません。また、受信が正常に行えないことがあります。一時的な回避方法として、ナンバーディスプレイの設定を[契約している]に変更すると受信できる場合があります。いずれにしても、利用の如何にかかわらずナンバーディスプレイ料金が発生しますので、サービス提供会社にご連絡ください。

➡簡単セットアップウィザードを使って設定する 2-7

ファクスキットについて

本FAX System 13は弊社製複合機(TASKalfaシリーズ)の対応機種で使用できます。

対応機種については、複合機のカタログまたは説明書等をご確認ください。

ファクス使用説明書(本書)について

本書の構成について

本説明書は、次の章で構成されています。

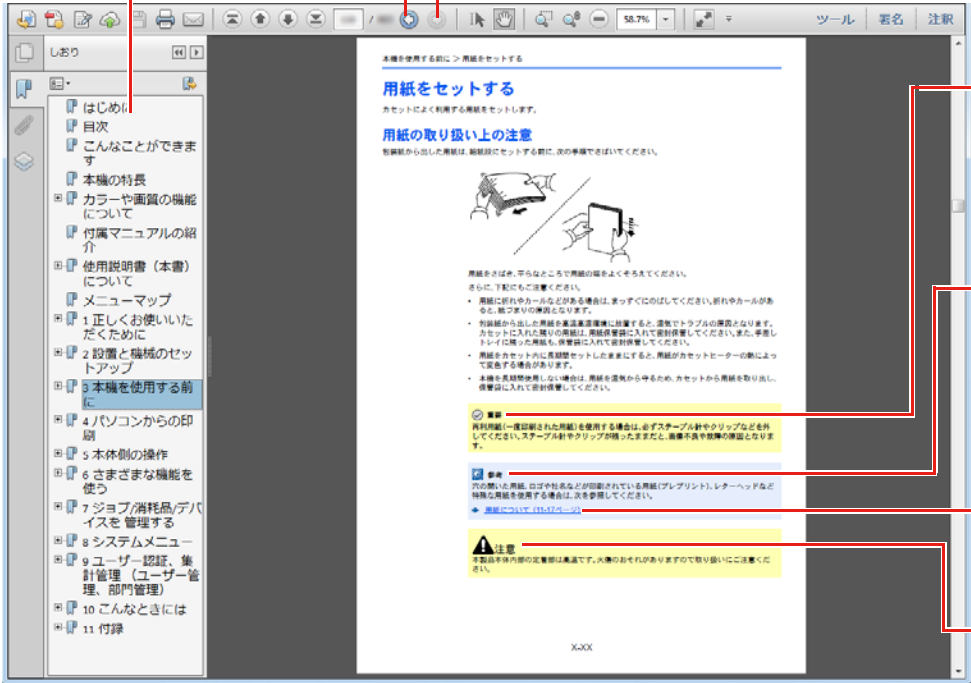
章		内容
1	安全にお使いいただくための注意事項	本機の使用に関する注意事項や商標について説明しています。
2	ファクスを使用する準備	各部の名称とかんたんファクス設定について説明しています。
3	ファクス送信	一般的なファクスの送信方法と、送信機能について説明しています。
4	ファクス受信	一般的なファクスの受信方法と、受信機能について説明しています。
5	ファクス各機能の詳細設定	受信した原稿をメモリー内のボックスに保存したり、受信した原稿を転送したり、ポーリング通信(受信側から電話をしてファクス受信する機能)など、べんりなファクス機能について説明しています。
6	パソコンからのファクス送信	パソコンからファクスを送信する方法について説明しています。
7	ジョブの管理	最新の送/受信の状況をタッチパネルで確認する方法を説明しています。また、通信結果や本機の設定・登録状況を把握するための管理レポート類の印刷方法についても説明しています。
8	ファクスの初期設定[システムメニュー]	送信先や受信先を制限したり、機器の使用禁止時間を設定したり、ファクスの使用状況を管理するなど、ファクスに関する各種の設定や登録について説明しています。
9	オプションについて	オプションのインターネットファクスキット、ハンドセット、拡張メモリー、およびマルチポートについての紹介と、オプション機器を装着した場合の操作方法について説明しています。
10	こんなときには	エラーが表示されたときやトラブルが発生したときの対処方法を説明しています。
11	付録	文字の入力方法やファクスの仕様などについて説明しています。

本書の読みかた

ここでは、Adobe Reader Xを例に説明しています。

しおり(目次)をクリックすると
該当ページにジャンプします。

クリックすると、現在の表示内容から、直前に表示してい
た内容に戻ります。ジャンプ先から元のページに戻ると
きに便利です。



誤った操作によるトラブルを
防ぐために、操作上、必ず守
っていただきたい重要事項
や制限事項を示しています。

補足説明や操作の参考とな
る情報です。

下線のついた文字をクリック
すると、参照ページへジャン
プします。

この表示を無視して誤った取
り扱いをすると、人が傷害を
負う可能性が想定される内
容および物的損害のみの発
生が想定される内容を示し
ています。



参考

Adobe Readerの表示は、お使いの状況によって異なります。しおり(目次)やツールが表示されていない場合は、
Adobe Readerのヘルプを参照してください。

本書中では、説明の内容によって、次のように表記しています。

表記	説明
[太字]	キーおよびボタンを示します。
「標準」	メッセージおよび設定項目を示します。

操作手順の表記について

本書中では、タッチパネルのキーを連続して操作する手順を、次のように> でつないで表記しています。

実際の手順	本書の表記
[システムメニュー/カウンター]キーを押す ▼ [✓]を押す ▼ [共通設定]を押す ▼ [音設定]を押す	[システムメニュー/カウンター]キー> [共通設定]> [音設定]

原稿および用紙サイズについて

本書中で使用する原稿および用紙サイズは、A4やB5、Letterのように、縦向きと横向きのどちらでも使用できるサイズの場合、原稿/用紙の向きを区別するために、横向きのサイズには「R」をつけて表記しています。また、タッチパネルでは、原稿および用紙のセット方向を次のアイコンで表示します。

セット向き		セットの仕方 (X=長さ、Y=幅)	パネルに表示される アイコン	本書での表記サイズ*1
縦向き	原稿			A4、B5、Letterなど
	用紙			
横向き	原稿			A4-R、B5-R、Letter-Rなど
	用紙			

*1 使用できる原稿/用紙サイズは機能や給紙段によって異なります。詳しくは次を参照してください。

1 安全にお使いいただくための の注意事項

本機をご使用になる前に、最初に必ずお読みください。ここでは次の内容を説明しています。

本書中の注意表示について	1-2
使用説明書について	1-3
法律上のご注意	1-4
電源を切るときの注意	1-4

本書中の注意表示について

この使用説明書及び本製品への表示では、本製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



警告: この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意: この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

△記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



「注意一般」



「高温注意」

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。



「禁止一般」



「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。



「強制一般」



「電源プラグをコンセントから抜け」



「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本使用説明書の注意・警告事項が判読できない場合や、本使用説明書を紛失した場合には、弊社製品取り扱い店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。(有償)

お願い

使用説明書の内容は、機械性能改善のために、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

使用説明書について

本使用説明書は、ファクス機能についての説明書です。

ご使用前には必ず本体の使用説明書と合わせてお読みください。

ご使用にあたって、次の内容については本体の使用説明書をお読みください。

設置環境について

取り扱い上のご注意

用紙のセット

清掃する

トナーコンテナを交換する

廃棄トナーボックスを交換する

一般的な問題について

こんな表示がでたら

紙づまりが発生したら

法律上のご注意

本資料の全部または一部を無断で複製複製(コピー)することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Internet Explorer、ExcelおよびPowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScriptは、Adobe Systems, Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
- Ethernetは、ゼロックス社の登録商標です。
- IBMおよびIBM PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの商標です。

その他、本使用説明書中に記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中には™および®は明記していません。

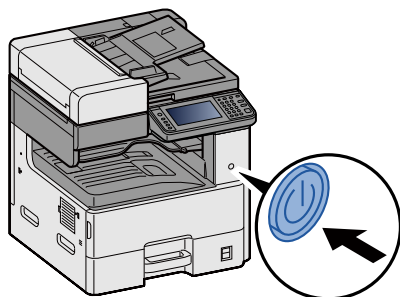
この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

電源を切るときの注意

電源を切る場合は電源スイッチを押してください。電源スイッチを切るとファクスが受信できなくなりますのでご注意ください。

1



2



[電源オフ時の確認]を設定している場合は、シャットダウンの確認画面が表示されます。

➡ [\[電源オフ時の確認\] \(8-8\)](#)

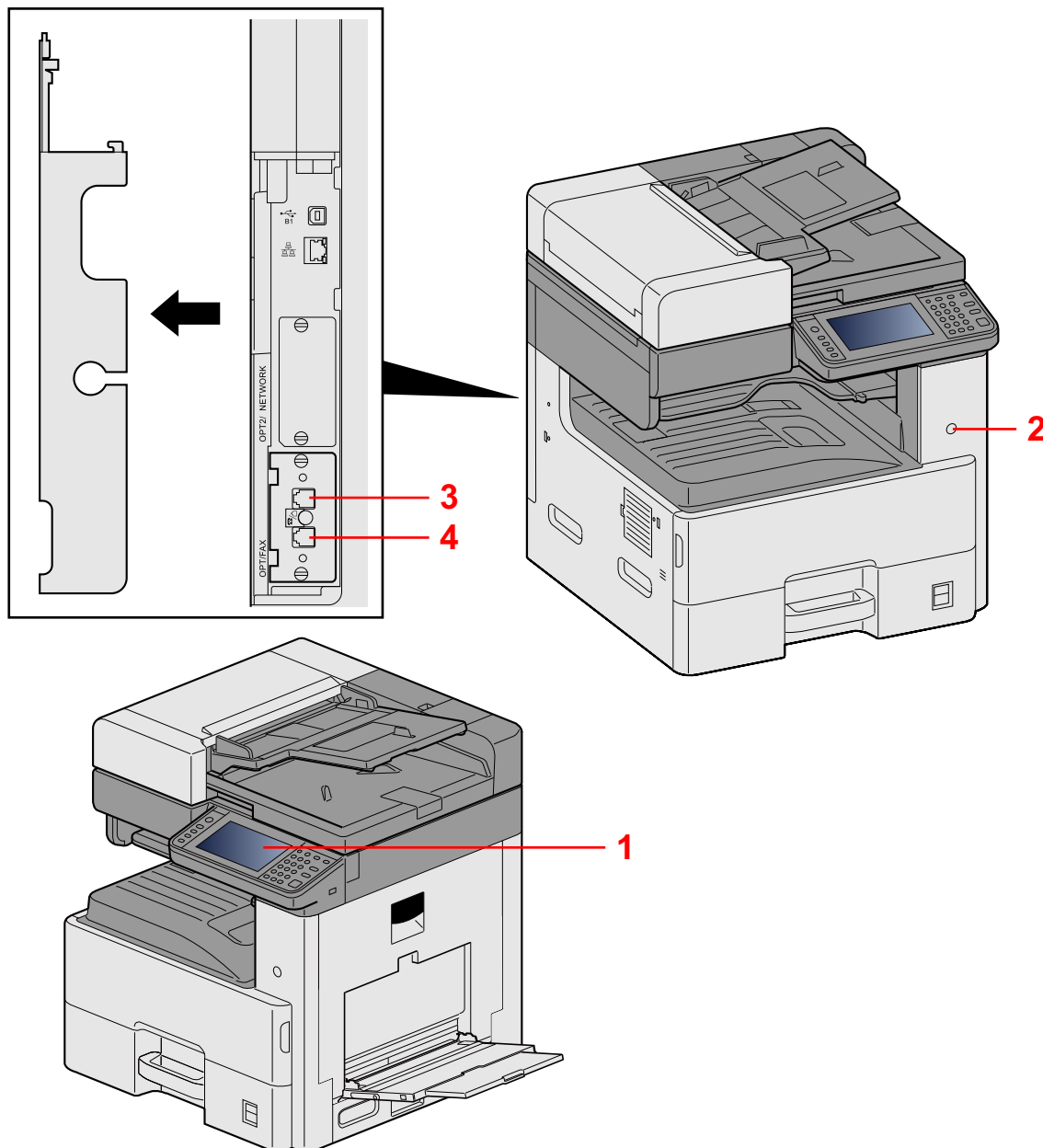
2 ファクスを使用する準備

この章では、次の項目について説明します。

各部の名称(本体)	2-2
各部の名称(原稿送り装置)	2-3
操作パネルの使いかた	2-4
タッチパネルの使いかた	2-5
ホーム画面を表示する	2-5
タッチパネルを操作する	2-6
[エンター]キーの使いかた	2-6
[短縮]キーの使いかた	2-6
簡単セットアップウィザードを使って設定する	2-7
日付と時刻を設定する	2-9
宛先を登録する	2-10
アドレス帳に新しい宛先を登録する	2-10
アドレス帳を変更する	2-13
アドレス帳を削除する	2-14
アドレス帳リストを出力する	2-14
ワンタッチキーの登録	2-15
よく使う機能を登録するには(ショートカット登録)	2-17

各部の名称(本体)

本機をファクスとして利用するときに使用する部位について説明しています。使用される本体のモデルによって、イラストと外観が異なることがあります。

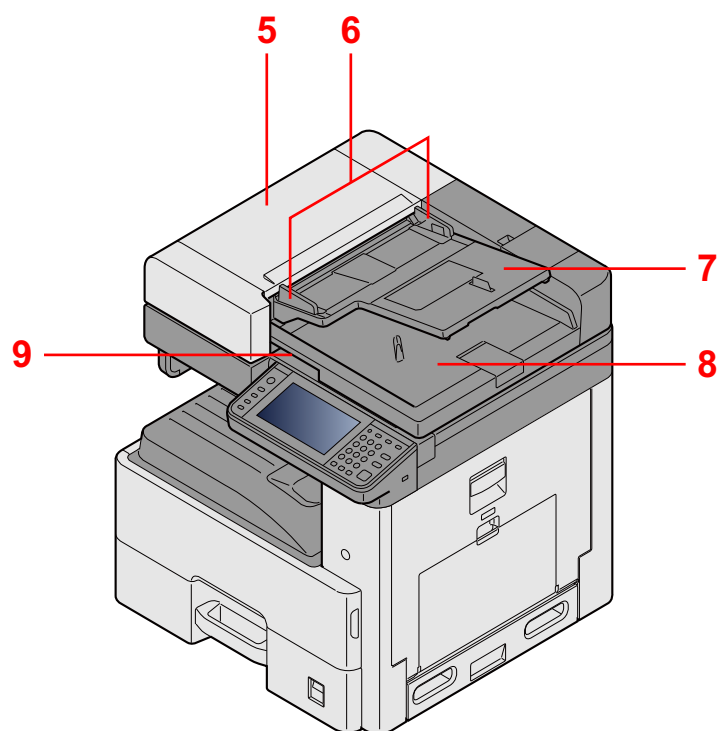


番号	名称	説明
1	操作パネル	ファクスの操作はここで行います。
2	電源スイッチ	ファクスやコピーの操作を行うときは、このスイッチを押して電源をONにしてください。タッチパネルが点灯し、機械の操作が可能になります。*
3	LINE接続コネクタ	電話回線用のモジュラーコードを接続してください。
4	TEL接続コネクタ	市販の電話機を併用する場合は、ここに接続してください。

☑ 重要

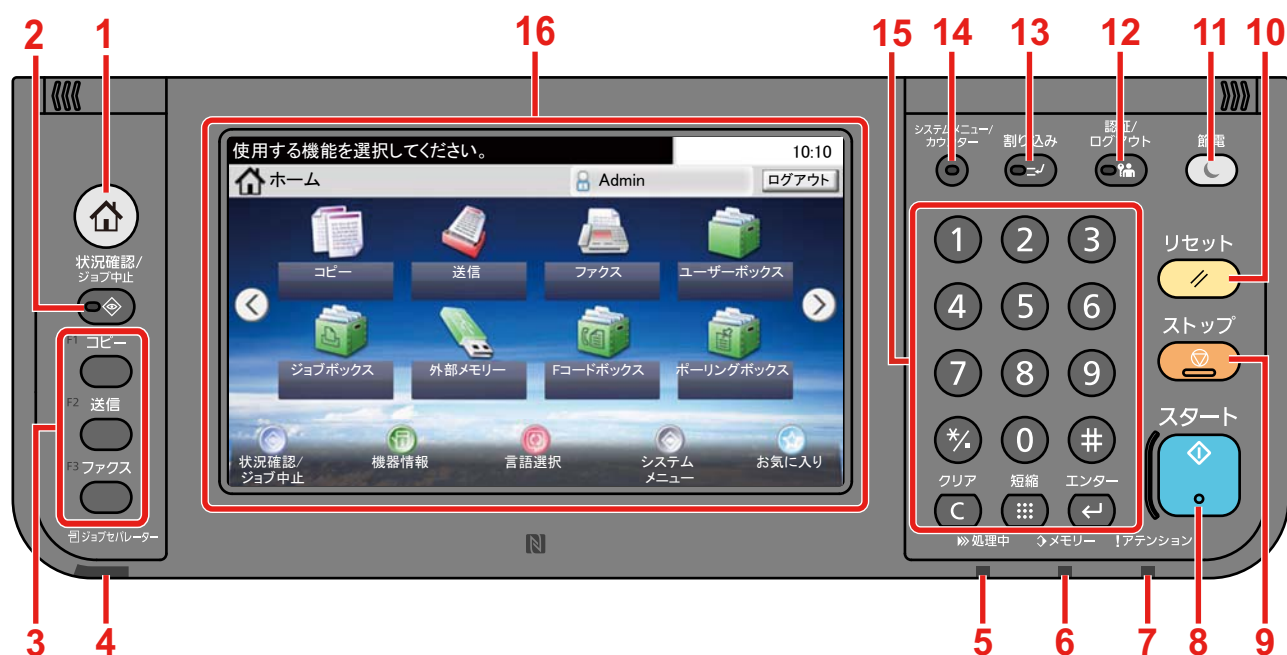
電源を切ると、ファクスを受信できなくなりますのでご注意ください。

各部の名称(原稿送り装置)



番号	名称	説明
5	上カバー	原稿送り装置で原稿がつまったときに開いてください。
6	原稿幅ガイド	原稿幅に合わせて調節してください。
7	原稿トレイ	ここにシート原稿を重ねてセットしてください。
8	原稿排紙テーブル	読み終わった原稿はここに排出されます。
9	開閉取っ手	原稿送り装置を開閉するときは、この取っ手を持ってください。

操作パネルの使いかた



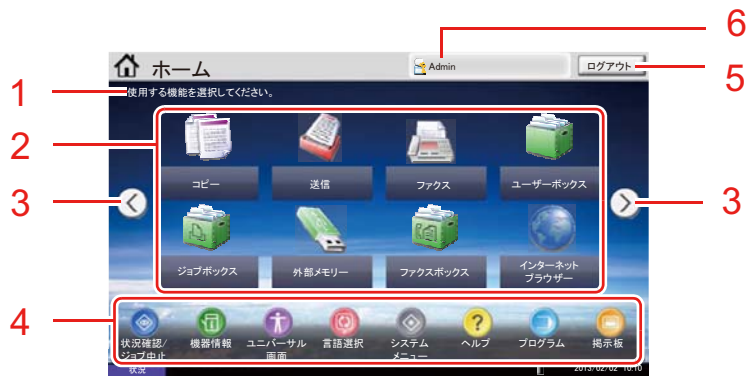
番号	名称	説明
1	ホーム	ホーム画面を表示します。
2	状況確認/ジョブ中止	状況確認/ジョブ中止画面を表示します。
3	機能キー	コピーやスキャンなどの各種機能/アプリケーションを登録できるキーです。
4	ジョブセパレーター	ジョブセパレーターのトレイに用紙があると点灯します。
5	処理中	節電中や送受信の処理中に点滅します。
6	メモリー	ハードディスク、ファクス用メモリー、USBメモリー(汎用品)にアクセス中に点滅します。タイマー送信の予約ジョブがあると点灯します。
7	アテンション	エラーが発生してジョブが停止すると点灯または点滅します。
8	スタート	コピーやスキャン動作を開始したり、設定動作の処理を開始したりします。
9	ストップ	動作中のジョブを中止、または一時停止します。
10	リセット	設定値を初期状態に戻します。
11	節電	本機をスリープ状態にします。スリープ状態のときはスリープから復帰します。
12	認証/ログアウト	ユーザー認証と各ユーザーの操作を終了(ログアウト)します。
13	割り込み	割り込みコピー画面を表示します。
14	システムメニュー/キャンセル	システムメニュー画面を表示します。
15	テンキー	数字や記号を入力します。
16	タッチパネル	アイコンに触れて各種設定を行います。

タッチパネルの使いかた

ホーム画面を表示する

操作パネルの[ホーム]キーを選択すると表示される画面です。アイコンをタッチすると対応する画面が表示されます。
ホーム画面に表示するアイコンや画面の背景は変更することができます。
ホーム画面の編集については、次を参照してください。

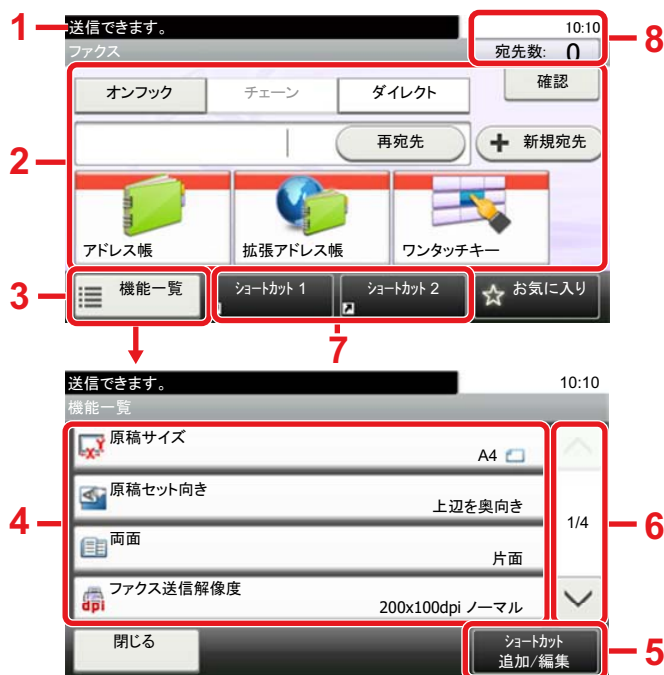
➡ 本体の使用説明書



*設定やオプションの構成により、実際の画面と異なる場合があります。

番号	項目	説明
1	メッセージ	状況に応じてメッセージを表示します。
2	デスクトップ	機能アイコンを表示します。お気に入りに登録された機能も表示されます。1ページ目に表示されていないアイコンは、ページを切り替えると表示されます。
3	画面切り替えキー	デスクトップのページを切り替えます。  参考 画面をタッチした状態で指を左右に動かすことでも表示を切り替えることができます。(スワイプ操作) 
4	タスクバー	タスクアイコンを表示します。
5	ログアウト	ログアウトします。ユーザー管理が有効になっているときに表示されます。
6	ログインユーザー名	ログインしているユーザー名を表示します。ユーザー管理が有効になっているときに表示されます。「ログインユーザー名」を選択するとログインしているユーザーの情報が表示されます。

タッチパネルを操作する



- 1 本機の状態や必要な操作のメッセージを表示します。
- 2 相手先を入力します。
- 3 機能を設定します。
- 4 選択できる機能や設定値を表示します。
- 5 ショートカットに機能を登録することができます。
- 6 画面をスクロールして表示しきれない部分を表示します。
- 7 登録したショートカットを表示します。
- 8 日時や宛先数を表示します。

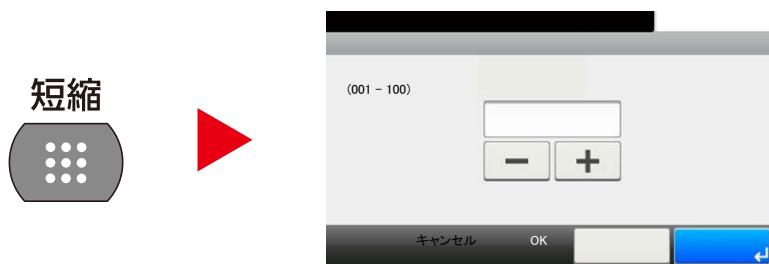
[エンター]キーの使いかた

[エンター]キーは、[OK⇩]や[閉じる⇩]のように、エンターのマーク(⇩)が表示されているキーと同じ働きをします。

[短縮]キーの使いかた

[短縮]キーは、送信するときの宛先を短縮番号で指定するときなど、番号を直接テンキーで入力する場合に使用します。短縮番号については、次を参照してください。

➡ [短縮キーで選ぶ \(3-10\)](#)



簡単セットアップウィザードを使って設定する

ファクス機能については、次の項目をウィザード形式の画面で設定できます。

ファクスのセットアップの項目

ステップ	設定項目	説明	参照ページ
1.回線設定	回線種類	契約している電話回線の種類に合わせて回線の種類を設定します。	8-9
	受信方式	受信方式を選択します。	8-11
2.自局情報	自局名登録	相手先の記録紙に印字する自局名を登録します。	8-9
	自局名登録(フリガナ)	相手先に通知する自局名(フリガナ)を登録します。	8-9
	自局ファクス番号	相手先の記録紙に印字する自局ファクス番号を登録します。	8-9
	自局ファクスID	自局ファクスIDを登録します。自局ファクスIDは通信する相手先を限定するときに使用します。登録する自局ファクスIDの番号は4桁で入力してください。	8-9
	発信元記録	自局情報を相手先の記録紙に印刷するかどうかを設定します。	8-9
3.音	ファクススピーカー音量	オンフック時の音量を設定します。 スピーカー音量:[オンフック]を選択して電話回線を接続したときに、内蔵スピーカーから聞こえる音量です。	8-7
	ファクスモニター音量	モニター音量を設定します。 モニター音量:メモリー送信などで[オンフック]を選択せずに電話回線を接続したときに、内蔵スピーカーから聞こえる音量です。	8-7
	正常終了音	ジョブの終了が正常に終了したときに音を鳴らすかどうかを設定します。	8-7
4.ベル回数	ベル回数(普通)	相手先からの呼び出しに応答するまでのベル回数を設定します。	8-11
	ベル回数(留守番電話)	ファクスと留守番電話を切り替えるまでのベル回数を設定します。	8-11
	ベル回数(ファクス/電話切替)	ファクスと電話を切り替えるまでのベル回数を設定します。	8-11
5.出力	排紙先 ^{*1}	ファクスを受信したときの印刷用紙の排紙先を設定します。	8-7
	縮小受信	受信サイズが用紙サイズより大きい場合、縮小して印刷します。	8-11
6.リダイヤル	リダイヤル回数	リダイヤルする回数を設定します。	8-9
7.Fネット	Fネット 無鳴動受信	ファクス通信網(Fネット)を使用する場合、呼び出し音を鳴らさずにファクスを受信します。	8-11
8.ナンバーディスプレイ	ナンバーディスプレイ	本機はナンバーディスプレイ表示に対応していないため、ナンバーディスプレイサービスはご利用いただけません。また受信が正常に行えないことがあります。一時的な回避方法として、[契約している]を設定すると、受信できる場合があります。	8-12

*1 オプションのフィニッシャーを装着している場合に表示されます。

電源オフのセットアップの項目

ステップ	設定項目	説明	参照ページ
電源オフの セットアップ	電源オフ時の確認	電源オフ時に確認メッセージを表示するかどうか の設定をします。	8-8

 **参考**

この設定はシステムメニューで変更することができます。

▶ [システムメニューの操作方法 \(8-2\)](#)

ファクスと電源オフのセットアップの手順

 **参考**

ユーザー認証画面が表示された場合は、ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン]を選択してください。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

- 1 画面を表示する
- [システムメニュー/カウンター]キー > [簡単セットアップウィザード] > 「ファクスのセットアップ」の[次へ]
- 2 設定する
- ウィザードを開始します。画面の指示に従って設定します。

項目	説明
終了	ウィザードを終了します。
<< 前の項目	前の項目に戻ります。
スキップ >>	現在の項目を設定せずに次の項目に進みます。
次へ >	次の画面に進みます。
< 戻る	前の画面に戻ります。

設定が終わったら[完了]を選択します。

日付と時刻を設定する

日付と時刻を設定します。ご使用の地域の日付と時刻を入力してください。

本機でファクスを送ると、本機に設定されている日付と時刻がファクスのヘッダーに記録されます。ご使用の地域での日付、時刻、GMT(世界標準時)からの時差を設定してください。



参考

日付と時刻を設定する前に、必ず時差を設定してください。

管理者権限が必要な機能を設定する場合、管理者の権限でログインする必要があります。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [日付/タイマー/節電]

2 設定する

[時差] > [日付/時刻] > [日付形式]の順に選択して設定します。

項目	説明
時差	GMT(世界標準時)からの時差を設定します。ご使用の場所から一番近い地域を選択してください。サマータイムを利用している地域を選択した場合は、サマータイムの設定を行ってください。
日付/時刻	設置場所の日付と時刻を設定します。本機でファクスを送ると、本機に設定されている日付と時刻がファクスのヘッダーに記録されます。 設定値: 年(2000~2037)、月(1~12)、日(1~31)、時(00~23)、分(00~59)、秒(00~59)
日付形式	日付の年、月、日の並び順を設定します。年は、西暦で表示されます。 設定値: 月/日/年、日/月/年、年/月/日

宛先を登録する

アドレス帳やワンタッチキーに宛先を登録したり登録内容を変更したりできます。登録した宛先は、メール送信やフォルダーへの送信、ファクス送信などに利用できます。



参考

アドレス帳の登録・編集は、Command Center RXでも行えます。

➡ [本体の使用説明書](#)

アドレス帳に新しい宛先を登録する

アドレス帳に新しい宛先を登録します。登録方法には、個人登録と複数の個人登録をまとめて登録するグループ登録の2種類があります。グループ登録をするときは、グループ名を入力し、アドレス帳からメンバーを選んでください。



参考

ユーザー管理が有効の場合、管理者の権限でログインすると、アドレス帳への宛先編集ができます。

個人アドレスを登録する

アドレス帳に新しい宛先を登録します。各宛先には、宛先名、ファクス番号、Fコード通信、暗号通信、送信開始速度、ECMが登録できます。

最大登録件数:200件

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [アドレス帳/ワンタッチ] > 「アドレス帳」 > [+] > [個人] > [次へ]

2 名前を登録する

- 1 アドレス帳に表示される宛先名を入力 > [次へ>]



参考

32文字まで入力できます。

文字の入力方法は、次を参照してください。

➡ [文字の入力方法 \(11-2\)](#)

- 2 宛先名のフリガナを入力 > [次へ>]



参考

32文字まで入力できます。

文字の入力方法は、次を参照してください。

➡ [文字の入力方法 \(11-2\)](#)

- 3 アドレス番号を指定したい場合は、[アドレス番号]を選択します。

- 4 [＋]、[－]またはテンキーで、任意のアドレス番号(001～250)を入力します。

自動で番号を割り当てる場合は、000を設定してください。



参考

アドレス番号は、宛先1件ごとの識別番号です。空いている番号を選択できます。
すでに使用されているアドレス番号を指定すると、[登録]を選択したときエラーメッセージが表示され、登録できません。

- 5 [OK]を選択します。

3 ファクス番号を登録する

- 1 [ファクス]を選択します。
2 ファクス番号を入力し、[OK]を選択します。



参考

32桁まで入力できます。
テンキーを使って、数値を入力します。

ボタン	説明
ポーズ	[ポーズ]を選択するとダイヤル時に約3秒の待ち時間が挿入されます。たとえば、0発信(構内交換機を使用して内線から外線への発信)するときや、情報サービスを受けるときなどのダイヤル待ち時間の挿入に使用します。
スペース	宛先番号入力で半角スペースを入力することができます。 宛先番号を入力した後に正しく入力できているか確認するときに便利です。
< >	カーソルが移動します。
バックスペース	文字を1文字ずつ削除します。すべて削除するときは、操作パネルの[クリア]キーを選択してください。

4 送信設定を設定する

送信開始速度、ECMと暗号鍵番号が設定できます。

- 1 [詳細設定]を選択します。
2 「送信開始速度」、「ECM」、「暗号鍵番号」を選択して各項目を設定し、[OK]を選択します。

ボタン	説明
暗号鍵番号	暗号通信を使って通信する場合は、暗号送信を設定します。暗号通信の設定方法は、次を参照してください。 ▶ 暗号通信 (5-33)
送信開始速度	送信開始速度を、9600bps、14400bps、33600bpsから選択します。 参考 通常は初期値のまま使用してください。
ECM	ECMはITU-T(国際電気通信連合)で定められた誤り再送方式の通信です。ECM機能を持つファクス間の通信では、送信したデータに誤りがないことを確認しながら通信しますので、電話回線の雑音などによる画像の乱れを防いで通信することができます。

5 Fコードを設定する

Fコード通信を使用するときは、サブアドレスとパスワードを登録します。

- 1 [Fコード] を選択します。
- 2 「サブアドレス」、「パスワード」を入力し、[OK]を選択します。
Fコード通信の設定方法は、次を参照してください。

➡[Fコード送信する \(5-24\)](#)

6 登録する

- 1 宛先が正しく設定できているか確認して、[登録]を選択してください。アドレス帳に宛先が追加されます。

グループを登録する

個人登録された複数の宛先をまとめて、グループとして登録することができます。宛先を一度に指定できるので便利です。

最大登録件数:50件



参考

グループ登録には、個人登録された宛先が必要です。あらかじめ必要な個人登録を行ってください。メール100件、ファクス100件、FTPとSMBで1つのグループで合計5件の宛先が登録できます。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [アドレス帳/ワンタッチ] > 「アドレス帳」 > [+] > [グループ] >

2 名前を登録する

- 1 アドレス帳に表示されるグループ名を入力 > [次へ>]



参考

32文字まで入力できます。
文字の入力方法は、次を参照してください。

➡[文字の入力方法 \(11-2\)](#)

- 2 グループ名のフリガナを入力 > [次へ>]



参考

32文字まで入力できます。
文字の入力方法は、次を参照してください。

➡[文字の入力方法 \(11-2\)](#)

- 3 アドレス番号を指定したい場合は、[アドレス番号]を選択します。
- 4 [+],[-]またはテンキーで、任意のアドレス番号(001~250)を入力します。

自動で番号を割り当てる場合は、000を設定してください。



参考

アドレス番号は、宛先1件ごとの識別番号です。空いている番号を選択できます。

すでに使用されているアドレス番号を指定すると、[登録]を選択したときエラーメッセージが表示され、登録できません。

- 5 [OK]を選択します。

3 メンバー(宛先)を選択する

- 1 [メンバー] > [+]
- 2 グループに登録する宛先(個人)を選択します。



参考

チェックボックスを選択してグループに追加する宛先を選択します。選択された宛先はチェックマークがつきます。

選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消します。

宛先は、フリガナやアドレス番号で並べ替えたり、検索したりできます。

➡ [アドレス帳から宛先を選ぶ \(3-9\)](#)

- 3 [OK]を選択します。
- 4 選択した宛先がグループに追加されたことを確認して、[終了]を選択します。

4 登録する

[登録]を選択します。

アドレス帳にグループが追加されます。

アドレス帳を変更する

登録した宛先(個人)やグループを変更します。

1 画面を表示する

- 1 [システムメニュー/カウンター]キー > [アドレス帳/ワンタッチ] > 「アドレス帳」
- 2 変更する宛先またはグループを選択 > [メニュー] > [編集]



参考

宛先は、フリガナやアドレス番号で並べ替えたり、検索したりできます。

➡ [アドレス帳から宛先を選ぶ \(3-9\)](#)

2 変更する

個人登録の宛先を変更する場合

- 1 「名前」、「フリガナ」、「ファクス番号」、「メールアドレス」、「SMB」、「FTP」、「アドレス番号」を変更します。
変更方法は、次を参照してください。
➡ [宛先を登録する \(2-10\)](#)

- 2 [登録] > [はい]
変更した宛先が登録されます。

グループに宛先を追加する場合

- 1 「名前」、「フリガナ」、「アドレス番号」を変更します。
変更方法は、次を参照してください。
➡ [グループを登録する \(2-12\)](#)

- 2 [メンバー] > [+]

3 宛先を追加 > [OK] > [終了] > [登録] > [はい]

変更したグループが登録されます。

グループから宛先を削除する場合

1 [メンバー] > 削除する宛先を選択 > [削除] > [はい]

2 [終了] > [登録] > [はい]

変更したグループが登録されます。

アドレス帳を削除する

登録した宛先(個人)やグループを削除します。

1 画面を表示する

1 [システムメニュー/カウンター]キー > [アドレス帳/ワンタッチ] > 「アドレス帳」

2 変更する宛先またはグループを選択 > [メニュー]



参考

宛先とグループは、フリガナやアドレス番号で並べ替えたり、検索したりできます。

➡ [アドレス帳から宛先を選ぶ \(3-9\)](#)

2 [削除] > [はい]

個人登録の宛先またはグループが削除されます。

アドレス帳リストを出力する

アドレス帳に登録している宛先のリストを出力できます。

リストは、宛先の見出し順とアドレス番号順から選択できます。

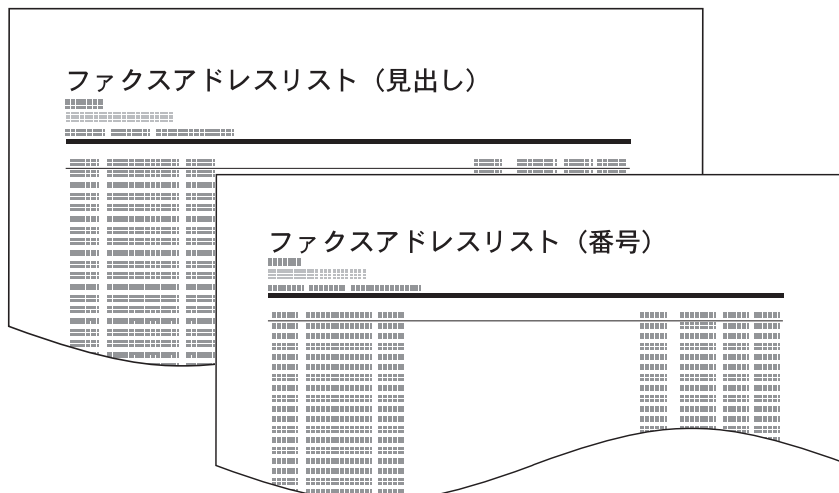
1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [アドレス帳/ワンタッチ] > [リスト印刷]

2 印刷する

[ファクスリスト(見出し)]または[ファクスリスト(番号)] > [はい]

リストが印刷されます。



ワンタッチキーの登録

ワンタッチキーに宛先を登録します。

宛先の登録

ワンタッチキーに新しい宛先を登録します。100件までのワンタッチキーが登録できます。

ワンタッチキーには、アドレス帳に登録された宛先が必要です。あらかじめ必要な登録を行ってください。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [アドレス帳/ワンタッチ] > [ワンタッチキー]

2 ワンタッチキーを登録する

- 1 登録するワンタッチキーを選択して、[+]を選択します。
- 2 アドレス帳から、宛先(個人またはグループ)を1件選択します。



参考

宛先は、フリガナやアドレス番号で並べ替えたり、検索したりできます。

→ [アドレス帳から宛先を選ぶ \(3-9\)](#)

- 3 基本画面に表示されるワンタッチキー名を入力 > [次へ>]



参考

24文字まで入力できます。

文字の入力方法は、次を参照してください。

→ [文字の入力方法 \(11-2\)](#)

- 4 [登録]を選択します。
ワンタッチキーに宛先が登録されます。

ワンタッチキーの変更/削除

ワンタッチキーを変更/削除します。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [アドレス帳/ワンタッチ] > [ワンタッチキー]

編集したい内容によって、操作手順が異なります。

2 変更/削除する

変更する

- 1 変更するワンタッチキーを選択し、[メニュー] > [編集]
- 2 別の宛先に変更する場合は、[宛先]を選択して、宛先を選択し[OK]を選択します。
- 3 基本画面に表示されるワンタッチキー名を変更する場合は、[名前]を選択して、名前を入力し[OK]を選択します。
- 4 [登録] > [はい]を選択します。
ワンタッチキーに宛先が登録されます。

削除する

- 1 削除するワンタッチキーを選択して、を選択します。
- 2 [はい]を選択します。

よく使う機能を登録するには(ショートカット登録)

よく使う機能を簡単に呼び出せるように、ショートカットとして登録することができます。登録したショートカットキーに表示される機能名は、必要に応じて変更できます。

最大登録件数:(コピー機能、送信機能、ファクス機能、文書ボックスそれぞれで)共有用、個人ともに2件



参考

ショートカットの使用方法は、次を参照してください。

➡ [本体の使用説明書](#)

3 ファクス送信

この章では、次の項目について説明します。

基本的な送信のしかた	3-2
リダイヤルを使う	3-3
送信状況を確認する	3-4
優先送信する	3-4
メモリー送信(原稿読み込み中)を中止する	3-5
メモリー送信(通信中)を中止する	3-5
送信を中止する(通信の切断)	3-6
相手先の入力方法	3-7
テンキーで相手先番号を入力する	3-7
アドレス帳から宛先を選ぶ	3-9
ワンタッチキーで選ぶ	3-10
短縮キーで選ぶ	3-10
同報送信	3-11
本機へのログイン/ログアウト	3-13
ユーザー管理が有効であるときにログインする	3-13
部門管理が有効であるときにログインする	3-14
手動送信する	3-15
送信予約する	3-16
割り込み送信する	3-17
チェーンダイヤルを使う	3-18
お気に入りを使う	3-20

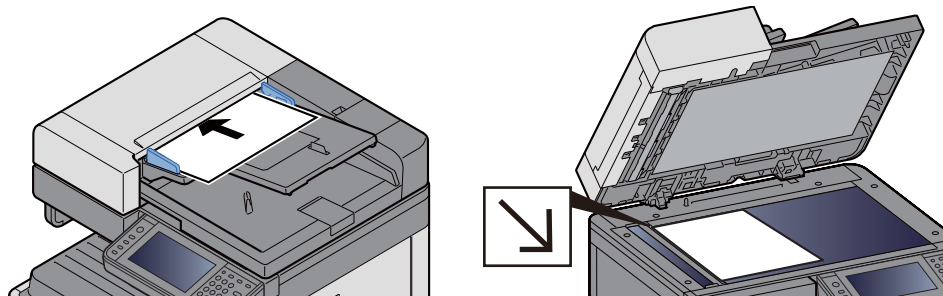
基本的な送信のしかた

基本的なファクスの使いかたを説明します。

1 ホーム画面の[ファクス]を選択する

ファクスの基本画面が表示されます。

2 原稿をセットする



原稿のセットのしかたは、次を参照してください。

▶ [本体の使用説明書](#)

3 送信方法を選択する

送信方法には、メモリー送信とダイレクト送信の2つがあります。

メモリー送信: 原稿をメモリーに読み込んでから通信を開始します。初期状態ではメモリー送信です。

ダイレクト送信: 相手先にダイヤルし、通信を開始してから原稿を読み込みます。

[ダイレクト]を選択すると、送信方法がダイレクト送信になり、タッチパネル上のキー表示が反転されます。キー表示が反転した[ダイレクト]を選択すると、送信方法がメモリー送信になります。

ダイレクト送信については、次を参照してください。

▶ [\[ファクスダイレクト送信\] \(5-7\)](#)

4 宛先を選択する

送信する宛先を指定します。

▶ [相手先の入力方法 \(3-7\)](#)

5 機能を設定する

タブを選択して、使用する送信機能を設定します。

▶ [送信で設定できる機能 \(5-3\)](#)

6 ファクス送信を開始する

[スタート]キーを押します。

原稿の読み込みが完了すると、送信を開始します。

原稿を原稿送り装置にセットしている場合

原稿送り装置にセットした原稿を読み込み、メモリーに記憶した後に相手先にダイヤルします。

原稿を原稿ガラスにセットしている場合

原稿ガラスにセットした原稿をメモリーに記憶した後に相手先にダイヤルします。



参考

- 連続読み込みが設定されている場合は、原稿ガラスの原稿をメモリーに記憶した後、続けて次の原稿を読み込むことができます。1ページ読み込むごとに、読み込み継続の操作を行い、すべての原稿をメモリーに記憶した後に相手先にダイヤルします。

➡ [\[連続読み込み\] \(5-5\)](#)

- 送信しようとしても相手先が応答しないときに、本機が自動的にダイヤルし直します(自動リダイヤル)。自動リダイヤルの回数は変更できます。

➡ [リダイヤル回数 \(8-9\)](#)

リダイヤルを使う

リダイヤルは、直前に入力された番号にもう一度ダイヤルする機能です。

送信しようとしても、相手先が応答しない。もう一度同じ相手先にファクスしたい。そんなときに[再宛先]を選択すると、直前にダイヤルした相手先を宛先リストに呼び出すことができます。

1 [再宛先]を選択する

2 [スタート]キーを押す

送信を開始します。



参考

次の条件で再宛先情報は破棄されます。

- 電源を切ったとき
- 次の送信操作を行ったとき(新しい再宛先情報が登録されます。)
- ログアウトしたとき

送信状況を確認する

- 1 [状況確認/ジョブ中止]キーを選択する
- 2 送信ジョブ状況確認画面を表示する
[送信ジョブ状況]を選択します。
受付時刻や宛先、状況がジョブごとに一覧表示されます。

優先送信する

送信待ちのファクス送信ジョブを優先して送信できます。

- 1 [状況確認/ジョブ中止]キーを選択する
- 2 優先送信するジョブを選択する
 - 1 [送信ジョブ状況]を選択します。
 - 2 優先して送信したいファクス送信ジョブを選択して、[メニュー] > [優先送信]
選択したファクス送信ジョブを優先して送信し、その他のファクス送信ジョブの送信優先順位を下げます。



参考

送信中のファクス送信ジョブがある場合は、送信中のジョブが終了してから優先送信を設定したファクス送信ジョブを送信します。

送信中のファクス送信ジョブが同報送信のときは・・・

送信中のファクス送信ジョブが複数の宛先への送信（同報送信）の場合、通信中の宛先への送信が終わった後に優先送信を設定したファクス送信ジョブを送信します。優先送信が終われば残りの宛先への送信を再開します。

ただし、優先送信するファクス送信ジョブが同報送信の場合は、送信中の同報送信が終わってから送信します。

メモリー送信(原稿読み込み中)を中止する

1 [ストップ]キーを選択する

メモリー送信で、原稿の読み込みを中止するには、操作パネルの[ストップ]キーまたは、タッチパネルの[中止]を選択してください。原稿の読み込みを中止し、原稿を排出します。原稿送り装置に原稿が残っているときは、原稿排紙テーブルから取り出してください。

メモリー送信(通信中)を中止する



送信を中止しても、中止するまでに送信されたファクスは相手の方に届く場合があります。誤って受信していないか相手の方に確認してください。

1 [状況確認/ジョブ中止]キーを選択する

2 送信を中止する

- 1 [送信ジョブ状況]を選択します。
- 2 送信を中止するジョブを選択して、[中止] > [はい]
送信を中止します。



[ストップ]キーまたは[中止]を選択しても送信される場合があります。

送信を中止する(通信の切断)

現在通信している回線を切り、通信を中止します。

1 [状況確認/ジョブ中止]キーを選択する

2 通信を切断する

[ファクス] > [回線を切る] > [はい]

通信を切断した時点で送信を中止します。



参考

ダイレクト送信、タイマー送信、ポーリング送信の中止方法はそれぞれの項目を参照してください。

ダイレクト送信の中止方法は、次を参照してください。

▶ [ダイレクト送信を中止する \(5-7\)](#)

タイマー送信の中止または即時送信方法は、次を参照してください。

▶ [タイマー送信\(待機中\)を中止する \(5-6\)](#)

ポーリング送信の中止方法は、次を参照してください。

▶ [ポーリング通信とは \(5-26\)](#)

相手先の入力方法

テンキーで相手先番号を入力する

テンキーで相手先のファクス番号を入力する方法を説明します。



参考

「新規宛先の入力(ファクス)」を[禁止する]に設定している場合は、ファクス番号を直接入力することができません。アドレス帳またはワンタッチキーで宛先を選択してください。

➡[\[新規宛先の入力\(ファクス\)\] \(8-13\)](#)

1 ファクス番号の入力画面を表示する

[新規宛先]を選択します。



参考

テンキーで番号を選択するとファクス番号の入力画面に替わります。

2 相手先ファクス番号を入力する



参考

64桁まで入力できます。

テンキーを使って、数値を入力します。

ボタン	説明
ポーズ	[ポーズ]を選択するとダイヤル時に約3秒の待ち時間が挿入されます。たとえば、0発信(構内交換機を使用して内線から外線への発信)するときや、情報サービスを受けるときなどのダイヤル待ち時間の挿入に使用します。
スペース	宛先番号入力で半角スペースを入力することができます。 宛先番号を入力した後に正しく入力できているか確認するときに便利です。
< >	カーソルが移動します。
バックスペース	文字を1文字ずつ削除します。すべて削除するときは、操作パネルの[クリア]キーを選択してください。

3 送信設定する

[詳細]を選択します。

Fコード通信、暗号送信、送信開始速度とECMが設定できます。

ボタン		説明
オンフック		[オンフック]を選択すると電話回線に接続します。 ファクス番号が入力されている場合は、相手先にダイヤルを開始します。 このキーを選択してから、テンキーを使って相手先にダイヤルすることもできます。 ➡ 手動送信する (3-15)
詳細	Fコード	Fコード通信を使用するときは、サブアドレスとパスワードを入力します。設定方法は、次を参照してください。 ➡ Fコード送信する (5-24)
	送信開始速度	送信開始速度を、9600bps、14400bps、33600bpsから選択します。  参考 通常は初期値のままで使用してください。
	ECM	ECMはITU-T(国際電気通信連合)で定められた誤り再送方式の通信です。ECM機能を持つファクス間の通信では、送信したデータに誤りが無いことを確認しながら通信しますので、電話回線の雑音などによる画像の乱れを防いで通信することができます。
	暗号送信	暗号通信を使って通信する場合は、暗号送信を設定します。暗号通信の設定方法は、次を参照してください。 ➡ 暗号通信 (5-33)

4 [OK]を選択する

相手先の入力が完了します。

参考

「新規宛先の入力確認」を「設定する」に設定している場合は、入力したファクス番号を確認するための画面が表示されます。もう一度同じファクス番号を入力して[OK]を選択してください。

➡ 本体の使用説明書

[新規宛先]を選択すると続けて別の宛先を入力することができます。

➡ [同報送信 \(3-11\)](#)

ファクス以外にも、メール送信、フォルダー(SMB/FTP)送信を組み合わせ一度に送信することができます。

➡ 本体の使用説明書

アドレス帳から宛先を選ぶ

アドレス帳に登録されている宛先を選択します。

参考

アドレス帳に宛先を登録する方法は、次を参照してください。

▶ [宛先を登録する \(2-10\)](#)

拡張アドレス帳については、次を参照してください。

▶ [Command Center RX操作手順書](#)

1 送信の基本画面で[アドレス帳]を選択する

参考

拡張アドレス帳については、次を参照してください。

▶ [Command Center RX操作手順書](#)

2 宛先を選択する

チェックボックスを選択して、宛先をリストの中から選択してください。宛先は複数選択できます。選択された宛先のチェックボックスにチェックマークがつきます。LDAPのアドレス帳を使用する場合は、[拡張アドレス帳]を選択してください。

「表示順」で[名前(フリガナ)]、[番号]を選択すると、宛先のリストを並べ替えることができます。

参考

選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消してください。

宛先の検索

アドレス帳に登録された宛先の検索や絞り込み検索ができます。



- 1 登録されている宛先名(フリガナ)で検索します。
- 2 登録されている宛先の種類(すべて、ファクス、グループ)で絞り込み検索します。
- 3 それぞれの宛先の詳細を参照します。

[短縮]キーを選択すると、アドレス番号で宛先を指定できます。

[メニュー]を選択すると、より詳しい検索ができます。

絞り込み: 登録されている宛先の種類(すべて、ファクス、グループ)で絞り込み検索します。

検索(フリガナ)、番号検索: フリガナまたはアドレス番号で検索します。

表示順(フリガナ)、表示順(番号): フリガナまたはアドレス番号で並べ替えます。

参考

宛先は複数選択できます。

選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消します。

3 [OK]を選択する

選択した宛先が宛先リストに登録されます。

ワンタッチキーで選ぶ

ワンタッチキーで宛先を選択します。



参考

ワンタッチキーに宛先を登録する方法は、次を参照してください。

▶ [ワンタッチキーの登録 \(2-15\)](#)

1 画面を表示する

[ワンタッチキー]を選択します。

2 宛先を選択する

1 宛先が登録されているワンタッチキーを選択します。



参考

[短縮]キーを選択すると、ワンタッチ番号でワンタッチキーが指定できます。

2 [OK]を選択します。

短縮キーで選ぶ

3桁(001~100)のワンタッチキー番号(短縮番号)を指定して、宛先を選択できます。



参考

ワンタッチキーに宛先を登録する方法は、次を参照してください。

▶ [ワンタッチキーの登録 \(2-15\)](#)

1 画面を表示する

[ワンタッチキー]を選択します。

2 短縮番号を入力する

1 [短縮]キーを選択します。

2 テンキーでワンタッチキー番号(短縮番号)を入力します。

3 [OK]を選択します。

入力した宛先が選択されます。

同報送信

1回の操作で同じ原稿を複数の宛先に送ることができる機能です。本機は送信する原稿をいったんメモリーに蓄積(記憶)し、その後で指定された宛先に自動的にダイヤルと送信を繰り返します。

参考

宛先にグループを使用すれば、1回の操作で最大100ヶ所の相手先に送信することができます。

Fコード通信やタイマー送信と合わせて使用できます。

ダイレクト送信が選択されている場合は、送信時にメモリー送信に切り替わります。

1 ホーム画面の[ファクス]を選択する

2 宛先を選択する

ファクス番号を入力する

参考

「新規宛先の入力(ファクス)」を[禁止する]に設定している場合は、ファクス番号を直接入力することができません。アドレス帳またはワンタッチキーで宛先を選択してください。

➡ [\[新規宛先の入力\(ファクス\)\] \(8-13\)](#)

- 1 [新規宛先]を選択します。
- 2 相手先ファクス番号を入力します。

参考

64桁まで入力できます。

テンキーを使って、数値を入力します。

- 3 [次の宛先]を選択します。
次のファクス番号が入力できます。
- 4 すべての宛先が入力できたら、[OK]を選択します。

参考

「新規宛先の入力確認」を「設定する」に設定している場合は、入力したファクス番号を確認するための画面が表示されます。もう一度同じファクス番号を入力して[OK]を選択してください。

➡ [本体の使用説明書](#)

宛先をアドレス帳から選択する

- 1 [アドレス帳]を選択します。
- 2 すべての宛先にチェックマークをつけて、[OK]を選択します。

参考

アドレス帳については、次を参照してください。

➡ [アドレス帳から宛先を選ぶ \(3-9\)](#)

宛先をワンタッチキーから選択する

- 1 [ワンタッチキー]を選択します。
- 2 すべての宛先を選択して、[OK]を選択します。

参考

ワンタッチキーについては、次を参照してください。

▶ [ワンタッチキーで選ぶ \(3-10\)](#)

- 3 すべての宛先が選択できたら、[スタート]キーを押す

本機へのログイン/ログアウト

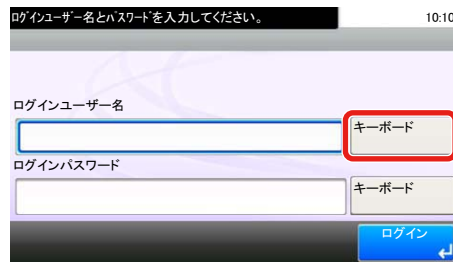
ユーザー管理が有効であるときにログインする

ユーザー管理を有効にすると、本機を使用する際に、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

ログインする

1 ログインユーザー名とログインパスワードを入力する

- 1 操作中にこの画面が表示されたら、「ログインユーザー名」を選択してログインユーザー名を入力します。



➡ [文字の入力方法 \(11-2\)](#)

- 2 [ログインパスワード] > ログインパスワードを入力 > [OK]

参考

ユーザーの認証方法が[ネットワーク認証]に設定されている場合、認証先が表示され、認証先を[ローカル]または[ネットワーク]から選択できます。

ICカード認証が有効になっている場合、[ICカードログイン]を選択できます。

2 [ログイン]を選択する

ログイン画面からログインする



操作中にこの画面が表示されたら、ユーザーを選択してログインします。

参考

ログインパスワードが必要な場合は、入力画面が表示されます。

➡ [本体の使用説明書](#)

ログアウトする

認証/
ログアウト



ログアウトするときは、[認証/ログアウト]キーを選択します。ログインユーザー名とパスワードを入力する画面に戻ります。

部門管理が有効であるときにログインする

部門管理を有効にすると、本機を使用する際に部門コードを入力する必要があります。

ログインする

1 テンキーで部門コードを入力 > [ログイン]を選択



参考

- 入力を間違えたときは、[クリア]キーを選択して入力し直してください。
- 登録された部門コードと一致しない場合はエラー音が鳴り、ログインできません。正しい部門コードを入力してください。
- [カウンター参照]を選択すると、印刷枚数や読み込み枚数を参照することができます。

ログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたとき

ユーザー管理が有効の場合は、部門コードを入力する画面の代わりに、ログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。ログインユーザー名とパスワードを入力してログインしてください。ユーザーに部門情報が登録されているときは、部門コードの入力は省略されます。

▶ 本体の使用説明書

2 通常の操作を行う

ログアウトする

操作が終了したら、[認証/ログアウト]キーを選択します。部門コードを入力する画面に戻ります。

手動送信する

相手先との回線がつながったことを確認した後、[スタート]キーを押して送信する方法です。



参考

電話機(市販品)を接続すれば、原稿を送信する前に相手と電話で話すことができます。

▶ [手動で送信する \(9-8\)](#)

- 1 ホーム画面の[ファクス]を選択する
- 2 原稿をセットする
- 3 [オンフック]を選択する
- 4 テンキーで相手先のファクス番号にダイヤルする



参考

操作を途中で中止するときは、[回線を切る]を選択してください。

- 5 [スタート]キーを押す
「ピー」という音が聞こえたら、相手先のファクスとつながっています。[スタート]キーを押してください。送信が開始します。

送信予約する

通信中に原稿を読み込んで、次の送信を予約できます。通信が終わると、自動的に予約した送信を開始します。送信予約を使用すれば、同報送信などで通信が長引くときに待つ必要がなくなります。

参考

タイマー送信や割り込み送信と合わせて35件まで予約することができます。
同報送信を使用できます。

- 1 ホーム画面の[ファクス]を選択する
- 2 原稿をセットする
- 3 宛先を選択し、使用する送信機能がある場合は設定する
- 4 [スタート]キーを押す

原稿の読み込みを開始して、次の送信を予約します。

参考

「送信前の宛先確認」を「設定する」に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。

➡ [宛先確認画面を表示する \(7-10\)](#)

- 5 通信が終わると、予約した送信が開始します。

割り込み送信する

通信中にダイレクト送信を選択して原稿を読み込むと、割り込み送信ができます。同報送信などで通信が長引く場合や、次の送信が予約されている場合でも、割り込み送信を使用した原稿を先に送信します。



参考

送信予約とタイマー送信の合計がすでに35件ある場合は、割り込みできません。

1 ホーム画面の[ファクス]を選択する

2 割り込み送信する原稿をセットする

3 [ダイレクト]を選択する

ダイレクト送信の操作については、次を参照してください。

▶ [\[ファクスダイレクト送信\] \(5-7\)](#)

4 宛先を指定し、[スタート]キーを押す

原稿は待機中になり、送信できる状態になれば送信が開始します。



参考

「送信前の宛先確認」を「設定する」に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。

▶ [宛先確認画面を表示する \(7-10\)](#)

割り込み送信の待機中に送信を中止するときは、操作パネルの[ストップ]キーまたは、タッチパネルの[中止]を選択してください。

▶ [ダイレクト送信を中止する \(5-7\)](#)

5 割り込み送信が終了すると、中断していた通信や送信予約が自動的に開始します。

チェーンダイヤルを使う

チェーンダイヤルは、複数の宛先に共通する番号でチェーン番号を作成し、相手先のファクス番号をつなげてダイヤルする機能です。

国際電話や遠方の送信相手にファクスを送信する場合に、電話会社をチェーン番号として複数登録しておき、料金の安い電話会社を選択して送信することもできます。



参考

よく使用するチェーン番号は、アドレス帳またはワンタッチキーに登録しておく便利です。
アドレス帳への登録は、次を参照してください。

➡ [宛先を登録する \(2-10\)](#)

ワンタッチキーへの登録は、次を参照してください。

➡ [ワンタッチキーの登録 \(2-15\)](#)

例として、「001」をチェーン番号に使用します。

1 チェーン番号を選択する

ワンタッチキーを使用する場合は、「001」が登録された宛先を選択します。



参考

アドレス帳を使用する場合は、「アドレス帳から宛先を選ぶ」を参照して「001」が登録されている宛先を選択してください。

➡ [アドレス帳から宛先を選ぶ \(3-9\)](#)

テンキーで入力する場合は、[新規ファクス]を選択し、「001」を入力して[OK]を選択してください。

2 [チェーン]を選択する

3 チェーン番号につなげるファクス番号を入力します

ファクス番号をアドレス帳から選択する

- 1 [アドレス帳]を選択して宛先を選択します。

複数の宛先を選択できます。

- 2 [OK]を選択すると宛先にはすべて「001」が自動的に付加されます。

アドレス帳で宛先を選択する手順については、次を参照してください。

➡ [アドレス帳から宛先を選ぶ \(3-9\)](#)

ファクス番号をワンタッチキーから選択する

- 1 [ワンタッチ]を選択して宛先を選択します。

- 2 [OK]を選択すると宛先には「001」が自動的に付加されます。

ファクス番号をテンキーで入力する

- 1 ファクス番号を入力します。
- 2 [OK]を選択すると宛先には「001」が自動的に付加されます。

参考

「新規宛先の入力確認」を「設定する」に設定している場合は、入力したファクス番号を確認するための画面が表示されます。もう一度同じファクス番号を入力して[OK]を選択してください。

➡ [本体の使用説明書](#)

お気に入りを使う

送信する相手先や送信時刻など送信条件をお気に入りとして登録できます。登録後は、お気に入り画面から選択するだけで呼び出すことができます。また、ウィザード形式で登録しておく各設定を確認しながら送信することができます。

お気に入りの登録のしかたは、次を参照してください。

▶ 本体の使用説明書

1 ホーム画面の[お気に入り]を選択する

2 お気に入りを選択する

ウィザードモードの場合

- 1 画面が順番に表示されますので、設定を行い、[次へ]を選択します。

最後まで設定したら確認画面が表示されます。



参考

設定を変更するときは、[<戻る]を選択して、設定しなおしてください。

- 2 原稿をセットし、[スタート]キーを押します。

プログラムモードの場合

原稿をセットし、[スタート]キーを押します。

4 ファクス受信

この章では、次の項目について説明します。

受信方法の種類	4-2
受信方法を設定する	4-2
自動受信する	4-3
自動受信のながれ	4-3
受信を中止する（通信の切断）	4-3
手動受信する	4-4
手動受信のながれ	4-4

受信方法の種類

本機の受信方法は、次のとおりです。

本機で電話を受けずにファクス専用として使用する場合は、自動受信にしてください。受信時には特に操作の必要はありません。

- 自動受信
- [ファクス/電話を自動切替で受信する \(9-4\)](#)
- [ファクス/留守番電話を自動切替で受信する \(9-6\)](#)
- [手動受信する \(4-4\)](#)

受信方法を設定する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > 「受信設定」 > 「受信方式」

2 受信方法を選択する

希望の受信方式を選択 > [OK]

自動受信を行うときは、[自動(普通)]を選択してください。

自動受信する

自動受信のながれ

1 受信の開始



ファクスが送られてくると、[処理中]ランプが点滅し自動で受信を開始します。



参考

本機にオプションのハンドセットまたは電話機(市販品)を接続すれば、呼び出し音が鳴った後、受信を開始します。

呼び出し音が鳴る回数を変更することができます。

➡ [\[ファクス設定\] \(8-8\)](#)

代行受信とは

用紙切れや紙づまりなどで印刷できない場合、本機は送られてきた原稿をいったん画像メモリーに記憶します。印刷可能な状態になると、印刷を行います。

保存できる枚数は原稿によって変わりますが、目安として、解像度ノーマルでA4サイズ原稿が700枚以上保存できるようになっています。

代行受信が行われると、状況確認画面の印刷ジョブにファクス受信印刷ジョブが表示されます。受信原稿を印刷するときは、用紙を補給するか、紙づまりを解除してください。

状況確認画面については、次を参照してください。

➡ 本体の使用説明書

2 受信印刷

受信した原稿は、印刷された面を下にして内部トレイに排出されます。

受信を中止する(通信の切断)

1 [状況確認/ジョブ中止]キーを選択する

2 通信を切断する

[ファクス] > [回線を切る]

通信を切断した時点で受信を中止します。

手動受信する

相手先との回線がつながったことを確認した後、[手動受信]を選択して受信する方法です。



参考

手動受信を使用するには、受信方式を手動受信に変更する必要があります。受信方式の変更については、次を参照してください。

▶ [\[受信設定\] \(8-11\)](#)

本機にオプションのハンドセットまたは電話機(市販品)を接続すれば、相手と話した後に原稿を受信することができます。

▶ [手動で受信する \(9-9\)](#)

手動受信のながれ

1 本体に着信する

着信すると、本体から呼び出し音が鳴ります。

2 [オンフック]を選択する

[オンフック]を選択すると、回線が接続されます。

3 [手動受信]を選択する

受信を開始します。

5 ファクス各機能の詳細設定

この章では、次の項目について説明します。

送信で設定できる機能	5-3
[原稿サイズ]	5-3
[原稿セット向き]	5-3
[両面/見開き原稿]	5-4
[ファクス送信解像度]	5-4
[濃度]	5-4
[原稿の画質]	5-5
[連続読み込み]	5-5
[ジョブ終了通知]	5-5
[文書名入力]	5-5
[長尺原稿]	5-5
[ファクスタイマー送信]	5-6
[タイマー送信ジョブの設定のしかた]	5-6
[ファクスダイレクト送信]	5-7
[ファクスポーリング受信]	5-7
受信で設定できる機能	5-8
[用紙種類]	5-9
[縮小受信]	5-9
[受信日時記録]	5-10
[両面印刷]	5-10
[2in1印刷]	5-10
[一括印刷]	5-10
[Fネット無鳴動受信]	5-11
[ダイヤルイン]	5-11
メモリー転送	5-12
転送設定	5-13
転送先の種類	5-13
転送を設定する	5-13
転送先を登録する	5-13
登録内容を変更する	5-14
登録内容を削除する	5-14
転送詳細設定	5-15
[ファイル形式]	5-15
[ファイル分割]	5-15
[メール件名付加情報]	5-15
[FTP暗号送信]	5-15
[印刷]	5-16
[有効時間]	5-16
[文書名]	5-16
Command Center RX からのメモリー転送設定(転送設定)	5-17
Fコードボックスとは	5-18
Fコードボックスを登録する	5-18
Fコードボックスを変更する	5-19
Fコードボックスを削除する	5-20
Fコードボックスから印刷する	5-20
Fコードボックスの詳細情報を確認する	5-21
Fコードボックスから印刷後の原稿を自動的に削除する	5-21
Fコードボックスから原稿を削除する	5-22
Fコードボックスリストを印刷する	5-22

Fコード通信とは	5-23
Fコード送信する	5-24
Fコード受信のしかた	5-25
ポーリング通信とは	5-26
ポーリング送信とは	5-26
ポーリング受信とは	5-28
ポーリングボックスから印刷する	5-30
ポーリングボックスの詳細情報を確認する	5-30
ポーリングボックスから原稿を削除する	5-30
ファクスメモリー受信ボックス	5-31
ファクスメモリー受信ボックスからの印刷のしかた	5-31
ファクスメモリー受信ボックスからの削除のしかた	5-32
暗号通信	5-33
暗号鍵を登録する	5-33
暗号鍵の登録内容を変更する	5-34
暗号鍵の登録内容を削除する	5-34
暗号送信する	5-35
暗号受信を設定する	5-36

送信で設定できる機能

[原稿サイズ]

原稿の読み込みサイズを選択します。

自動	原稿を自動で検知します。
A系/B系	A3、A4、A4-R、A5、A5-R、A6、B4、B5、B5-R、B6、B6-R、Folio、216x340mmから選択します。
インチ系	Ledger、Letter、Letter-R、Legal、Statement、Statement-R、11x15”、Oficio IIから選択します。
その他	8K、16K、16K-R、はがき、往復はがき、カスタム ^{*1} から選択します。
サイズ入力	サイズを入力します。 センチーよこ50～432mm(1mm単位)、たて50～297mm(1mm単位) インチーよこ2～17”(0.01”単位)、たて2～11.69”(0.01”単位)

^{*1} [カスタム原稿サイズ登録]を設定してください。本体の使用説明書を参照してください。[カスタム原稿サイズ登録]が[設定しない]である場合は表示されません。

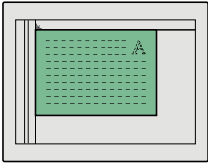
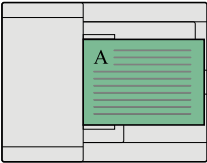
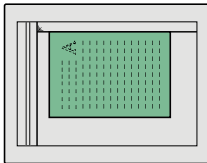
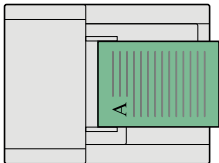
 **参考**

不定形サイズ of 原稿を使用する場合は、必ず原稿サイズを設定してください。

[原稿セット向き]

文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。両面原稿を設定する場合は、セットした原稿の向きを設定する必要があります。

原稿のセット向きを、[上辺を奥向き]、[上辺を左向き]または[自動]から選択してください。

設定項目	イメージ	
上辺を奥向き	    原稿 原稿セット向き	
上辺を左向き	    原稿 原稿セット向き	

[両面/見開き原稿]

原稿に合わせて、原稿の種類と同じ方向を選択します。

設定項目		設定値	説明
片面		—	「両面/見開き原稿」を設定しません。
両面	同じ方向	左/右と同じ、上と同じ	原稿の同じ方向を設定します。
	原稿セット向き	上辺を奥向き、 上辺を左向き	文書を正しい向きで読み込むため、原稿の上部の向きを指示します。 [原稿セット向き]を押して、[上辺を奥向き]または[上辺を左向き]から原稿のセット向きを選択し、[OK]を選択してください。
見開き	同じ方向	左と同じ、右と同じ	原稿の同じ方向を設定します。
	原稿セット向き	上辺を奥向き	—

[ファクス送信解像度]

ファクスで送信する際の画像の細かさを設定します。数値が大きいほど、きめが細かくなりますが、ファイルサイズが大きくなり、送信時間が長くなります。

項目	詳細	
400 × 400 dpiウルトラファイン	微細な文字や線のある原稿をさらにきれいに送るとき	文字の大きさの目安:6 ポイント (サンプル:解像度 解像度)
200 × 400 dpiスーパーファイン	微細な文字や線のある原稿を送るとき	文字の大きさの目安:6 ポイント (サンプル:解像度 解像度)
200 × 200 dpiファイン	比較的小さい文字や細い線のある原稿を送るとき	文字の大きさの目安:8 ポイント (サンプル:解像度 解像度)
200 × 100 dpiノーマル	普通の大きさの文字の原稿を送るとき	文字の大きさの目安:10.5 ポイント (サンプル:解像度 解像度)



参考

工場出荷時は[200 × 100 dpiノーマル]に設定されています。解像度を高くすると画像は鮮明になりますが、ファクスの送信時間は長くなります。

[濃度]

濃度を全体的にこく、またはうすくします。

[-4]～[+4](うすく～こく)を選択して、濃度を設定してください。

[原稿の画質]

原稿の画質に合わせて、画像を処理します。

設定項目	説明
文字+写真	文字と写真が混在する原稿に適しています。
写真	カメラで撮った写真などの原稿に適しています。
文字	文字の多い原稿に適しています。
うすい文字/細線	えんぴつなどで書かれたうすい文字や、地図原稿や図表の細線をくっきりと再現します。
文字(OCR用)	OCR処理に適した画像で読み込みます。

[連続読み込み]

原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。[読み込み終了]を選択するまで、原稿を読み込み続けます。

(設定値: [設定しない]/[設定する])

[ジョブ終了通知]

ジョブが終了したことをメールで通知します。

離れた席にいてもジョブの終了を知ることができるため、終わるまで本機の近くで待機する必要がありません。



参考

あらかじめパソコンで、メールを使用できるようにしてください。詳細は、次を参照してください。

▶ 本体の使用説明書

メールを送る宛先は1件です。

通知メールに画像を添付することができます。

▶ [終了通知設定 \(8-5\)](#)

[文書名入力]

文書に名前を付けます。

ジョブ番号、日時の付加情報も設定できます。ここで付けた名前、日時、ジョブ番号を使用して、ジョブの履歴やステータスの確認ができます。

文書名を32文字以内で入力し、[次へ]を選択してください。

日時を付加する場合は[日時]を、ジョブ番号を付加する場合は[ジョブ番号]を選択してください。両方付加する場合は[ジョブ番号&日時]または[日時&ジョブ番号]を選択してください。

[長尺原稿]

原稿送り装置を使用し、長尺サイズの原稿を読み込みます。

(設定値: [設定しない]/[設定する])



参考

長尺原稿は、片面しか読み込むことができません。

1,600 mmまでの原稿を読み込むことができます。

[ファクスタイマー送信]

送信する時刻を指定します。同報送信などの機能と併用することができます。

設定		詳細
設定しない		タイマー送信しません。
設定する		タイマー送信します。
	開始時刻	時刻は、00:00～23:59までの1分単位で指定できます。

 重要

タッチパネル上に表示されている現在時刻が合っていないと、指定時刻に正しく通信できません。表示されている現在時刻が合っていないときは正しく調整してください。

➡ [日付と時刻を設定する \(2-9\)](#)

 参考

ダイレクト送信は選択できません。
タイマー送信は、30件まで宛先を指定できます。
指定時刻が同じタイマー送信が2つ以上ある場合、指定された順に通信が開始されます。ただし指定順が逆でも、同じ宛先へは、異なる宛先よりも先に送信されます。
タイマー送信は、指定時刻の前にキャンセルできます。また、指定時刻の前に送信することもできます。

➡ [タイマー送信\(待機中\)を中止する \(5-6\)](#)

一括送信機能とは

タイマー送信を使用して、同じ宛先のファクスを同じ送信開始時刻にセットすると、10件までを一度にまとめて送信します。同じ宛先に通信を繰り返すといったムダがなくなり、通信コストの削減につながります。

 参考

ダイレクト送信は一括送信されません。
同報送信を使用して同じ送信開始時刻のファクスを2件以上セットしたときに、それぞれの宛先の中に同じ相手先番号がある場合は一括送信されません。
送信開始時刻に、同じ相手先に対してリダイヤル待機中のファクスがある場合は、リダイヤル待機原稿もあわせて一括送信されます。
部門管理を有効にしているときは、同じ部門コードでタイマー送信を使用した原稿だけが一括送信されます。

[タイマー送信ジョブの設定のしかた]

タイマー送信ジョブを中止または即時送信できます。

タイマー送信(待機中)を中止する

- 1 画面を表示する
- [状況確認/ジョブ中止]キー > [予約ジョブ]
- 2 ジョブを中止する
- 中止するジョブを選択し、[中止] > [はい]
- ジョブを中止します。

即時送信する

1 画面を表示する

[状況確認/ジョブ中止]キー > [予約ジョブ]

2 送信する

即時送信するジョブを選択し、[メニュー] > [今すぐ開始] > [はい]

送信を開始します。

[ファクスダイレクト送信]

原稿をメモリーに読み込まずに直接送信します。相手先と回線がつながってから原稿の読み込みを開始しますので、ファクスが確実に送信されているか確認したい場合に使用します。

ダイレクト送信設定	詳細
設定する	ダイレクト送信します。 相手先にダイヤルし、通信を開始してから原稿を読み込みます。
設定しない	メモリー送信します。 原稿をメモリーに読み込んでから通信を開始します。



参考

ダイレクト送信は、1回の送信で指定できる宛先は1件です。

ファクスの基本画面で[ダイレクト]を選択すると、タッチパネル上のキー表示が反転され、ダイレクト送信が設定されます。

ダイレクト送信を中止する

ダイレクト送信で、送信中に中止するときは、操作パネルの[ストップ]キー、またはタッチパネルの[中止]を選択してください。読み込み中の原稿を排出し、送信の初期画面に戻ります。原稿送り装置に原稿が残っているときは、原稿送り装置から取り出してください。



参考

[ストップ]キーまたは[中止]を選択しても送信される場合があります。

[ファクスポーリング受信]

受信側からダイヤルして、送信側に保存されている原稿を自動的に送信させる機能です。

(設定値:[設定しない]/[設定する])



参考

ポーリング受信の設定方法は、次を参照してください。

▶ [ポーリング受信する \(5-28\)](#)

受信で設定できる機能

受信方法やファクスの印刷方法を設定できます。

やりたいこと	参照ページ
使用する用紙の種類を限定したい	[用紙種類] (5-9)
受信サイズが用紙サイズよりも大きい場合、縮小して印刷できます	縮小受信 (8-11)
受信した日時や情報などを印刷したい	受信日時記録 (8-11)
受信した原稿を両面に印刷したい	両面印刷 (8-11)
2枚の原稿を1枚にまとめて受信したい	2in1印刷 (8-11)
受信した原稿を一括で印刷したい	一括印刷 (8-11)
ファクス通信網(Fネット)を使用したい	Fネット無鳴動受信 (8-11)
ダイヤルインサービスを使用したい	ダイヤルイン (8-12)
受信した原稿を別のファクスやパソコンに転送したい	メモリー転送 (5-12)
受信した原稿を出力せずにファクス内に保存したい	Fコード通信とは (5-23)
受信側の操作で通信を開始したい	ポーリング通信とは (5-26)
原稿を暗号化して安全に通信したい	暗号通信 (5-33)

[用紙種類]

ファクスが印刷されるときに使用する用紙を、用紙の種類で限定できます。

設定方法は、次を参照してください。

➡ [用紙種類 \(8-11\)](#)

ファクス受信出力をするカセットを設定する

用紙種類を限定することで、用紙種類を設定した該当のカセットからファクス受信が可能となります。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [カセット/手差しトレイ設定] > 「カセット1～3」

ファクス受信で使用するカセットを選択してください。

2 用紙サイズを設定する

[用紙サイズ] > [自動] > [A系/B系]

 **重要**

- ・ファクス受信で使用する用紙サイズは、次の設定にしてください。[自動]>[A系/B系]
- ・用紙サイズを固定すると、ファクス受信印刷できません。

3 用紙種類を設定する

1 「用紙種類」を選択します。

2 用紙種類を選択します。

4 受信用紙種類を設定する

ファクスの受信用紙の設定を行います。用紙種類の選択では手順3で選択したものと同一用紙種類を選択してください。

設定方法は、次を参照してください。

➡ [用紙種類 \(8-11\)](#)

[縮小受信]

受信サイズが用紙サイズよりも大きい場合、縮小して印刷できます。

設定しない	受信データを100%のまま、複数枚の用紙に分割して印刷します。
設定する	用紙サイズに合わせて、受信データを縮小して印刷します。

設定方法は、次を参照してください。

➡ [縮小受信 \(8-11\)](#)

[受信日時記録]

受信日時記録は、ファクスが印刷されるときに、受信した日時、相手先の情報、ページ数を本機側で付加し、各ページの先頭に印刷する機能です。時差がある地域から送られてきた原稿を、いつこちらが受信したか確認できます。



参考

受信データが複数ページに分割されるときは、最初の1ページに受信日時記録が印刷され、次のページ以降には印刷されません。メモリー転送時に、転送された受信データには、受信日時記録は付加されません。

設定する	受信日時記録を印刷する。
設定しない	受信日時記録を印刷しない。

設定方法は、次を参照してください。

→ [受信日時記録 \(8-11\)](#)

[両面印刷]

複数ページの受信データが、すべて同じ幅であるとき、受信データと同じ幅の用紙に両面で印刷します。

設定する	両面で印刷する。
設定しない	両面で印刷しない。

設定方法は、次を参照してください。

→ [両面印刷 \(8-11\)](#)

[2in1印刷]

A5サイズで複数ページの原稿を受信したときに、2ページをA4の用紙1枚にまとめて印刷します。2in1印刷と両面印刷を両方設定すると2in1印刷は機能しません。

設定する	2in1印刷する。
設定しない	2in1印刷しない。

設定方法は、次を参照してください。

→ [2in1印刷 \(8-11\)](#)

[一括印刷]

受信した原稿が複数枚あるときに、全てのページの受信が完了してから一括で出力します。

設定する	全てのページの受信が完了してから一括で出力します。
設定しない	受信したページごとに出力します。

設定方法は、次を参照してください。

→ [一括印刷 \(8-11\)](#)

[Fネット無鳴動受信]

電気通信事業社が提供するファクス通信網(Fネット)に接続してファクス通信をする場合は、「Fネット無鳴動受信」を[設定する]にしてください。

設定方法は、次を参照してください。

➡[Fネット無鳴動受信 \(8-11\)](#)

[ダイヤルイン]

電気通信事業社のダイヤルインサービスを利用することにより、1回線で電話とファクスとの併用を可能にする機能です。

ダイヤルインサービスでは、契約時に電気通信事業社から電話用とファクス用の2つの番号が与えられます。相手先に対して、電話用とファクス用にそれぞれ別の番号を伝えておけば、相手側では、電話をかけるときは電話用の番号を使い、ファクスを送るときはファクス用の番号を使います。

本機側では、それらの番号を事前に電話用とファクス用に登録しておくため、電話かファクスかを区別して受信することができます。



参考

ダイヤルインサービスのサービス内容や契約方法については、電気通信事業社の営業窓口にお問い合わせください。また、サービスをお受けになるときは、ダイヤルイン番号を4桁送付でお申し込みください。ファクス/電話自動切替受信やファクス/留守番電話自動切替受信との併用はできません。電話を受けるためには、電話機(市販品)を接続することが必要です。

受信の流れ

ファクス		電話	
相手先がファクス用の番号にかけてきた場合		相手先が電話用の番号にかけてきた場合	
▼		▽	
電気通信事業社			
▼		▽	
ファクス用の番号にダイヤルされ、相手先からの原稿を自動的に受信します。(本機は自動受信モードの状態になります)		電話用の番号にダイヤルされ、外付けの電話機の呼び出し音が鳴ります。(本機は手動受信モードの状態になります)	
設定する	ダイヤルインを設定します。 電話番号として使用する番号(4桁)を登録してください。		
設定しない	ダイヤルインを設定しない。		

設定方法は、次を参照してください。

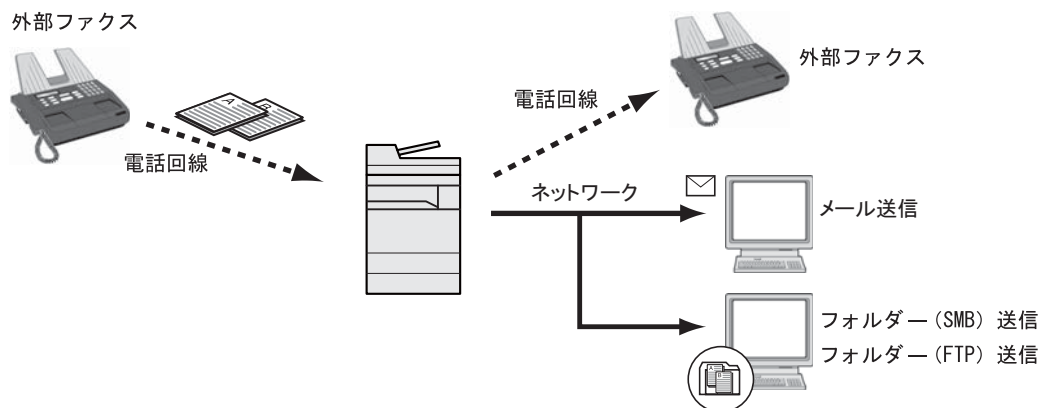
➡[ダイヤルイン \(8-12\)](#)

メモリー転送

ファクスを受信したとき、受信画像を他のファクスやコンピューターに転送したり、印刷部数を設定したりできます。

転送先の種類

他のファクス、メール送信、フォルダー（SMB）送信、フォルダー（FTP）送信に転送することができます。



転送設定

ファクスを受信したとき、受信画像を他のファクスやコンピューターに転送したり、印刷を設定したりできます。

転送先の種類

転送先に指定できるのは1件です。転送を[設定する]に設定すると、受信したすべての原稿を指定先に転送します。

他のファクス、メール送信、フォルダー(SMB)送信、フォルダー(FTP)送信に転送することができます。

転送を設定する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [転送設定] > [転送]

2 転送先を設定する

転送する場合は[設定する]を選択します。



参考

転送を設定しない場合は[設定しない]を選択します。

転送先を登録する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [転送設定] > [転送先]

2 設定する

1 [+]を選択します。

宛先の追加画面を表示し、以下の手順で転送先を登録してください。登録できる転送先は1件です。

転送先をアドレス帳から選択するとき

1 [アドレス帳]または[拡張アドレス帳]を選択してください。

2 転送する宛先(個人)を選択してください。

転送先を直接入力するとき

1 [アドレス入力(ファクス)]、[アドレス入力(メール)]または[アドレス入力(フォルダー)]を選択してください。

2 転送先に登録するアドレスを入力してください。

転送先に[アドレス入力(メール)]または[アドレス入力(フォルダー)]を選択した場合は、アドレスを入力してください。

➡ [本体の使用説明書](#)



参考

文字の入力方法は、次を参照してください。

➡ [文字の入力方法 \(11-2\)](#)

3 [終了]を選択する

登録内容を変更する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [転送設定] > [転送先]

2 変更する

[

3 [終了]を選択する

登録内容を削除する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [転送設定] > [転送先]

2 削除する

転送先を選択して、[

3 [終了]を選択する

転送詳細設定

[ファイル形式]

メール送信、フォルダー（SMB）送信、またはフォルダー（FTP）送信する場合に、ファイル形式をPDF、TIFF、XPSまたはOpenXPSから選択します。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [転送設定] > [ファイル形式]

2 設定する

[PDF]、[TIFF]、[XPS]または[OpenXPS]を選択します。



参考

ファイル形式で[PDF]を選択した場合、PDF暗号化機能を使用することができます。

➡ 本体の使用説明書

[ファイル分割]

メール送信、フォルダー（SMB）送信、またはフォルダー（FTP）送信する場合に、ページ分割するかどうか設定します。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [転送設定] > [ファイル分割]

2 設定する

[設定しない]または[ページごと]を選択します。

ページごとにファイルを作成する場合は、[ページごと]を選択します。

[メール件名付加情報]

メールの件名に情報を付加するかどうか設定します。情報を付加する場合は、送信元名または送信元ファクス番号から選択します。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [転送設定] > [メール件名付加情報]

2 設定する

[設定しない]、[送信元名]、または[送信元ファクス番号]を選択します。

[FTP暗号送信]

転送するときにFTP暗号送信をするかどうか設定します。



参考

FTP暗号送信機能を使用する場合、セキュアプロトコル設定の「SSL」の設定を[使用する]にしてください。

➡ 本体の使用説明書

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [転送設定] > [FTP暗号送信]

2 設定する

[設定しない]または[設定する]を選択します。

[印刷]

転送するときに本機で印刷するかどうか設定します。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [転送設定] > [印刷]

2 設定する

[設定しない]または[設定する]を選択します。

[有効時間]

転送が有効になる開始時刻と終了時刻を登録します。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [転送設定] > [有効時間]

2 設定する

- 1 [終日]または[時間指定]を選択してください。[時間指定]を選んだ場合は開始時間と終了時間を入力してください。
- 2 開始時間を設定して、[次へ]を選択します。



参考

時刻は24 時間制で入力してください。

- 3 終了時間を設定して、[OK]を選択します。

[文書名]

転送時に作成するファイルの文書名を設定します。その他、日時やジョブ番号、またはファクス番号の情報も付加できます。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [転送設定] > [文書名]

2 設定する

- 1 ファイル名を入力します。



参考

文字の入力方法は、次を参照してください。

▶ [文字の入力方法 \(11-2\)](#)

付加情報を入れていない場合、ファイル名が同じになり、フォルダー(SMB)送信やフォルダー(FTP)送信で転送するとファイルを上書きしますので注意してください。

- 2 [次へ]を選択します。
- 3 文書名に付加情報を入れるときは、[ジョブ番号]、[日時]、[番号/アドレスを前に付ける]または[番号/アドレスを後ろに付ける]を選択します。

文書名のサンプル

例) doc00352720140826181723.pdf

doc(ファイル名) + ジョブ番号6ケタ + 年月日時分秒 + ファイル形式(工場出荷初期値は.pdf)

Command Center RX からのメモリー転送設定(転送設定)

本機にネットワーク接続されたコンピューターからCommand Center RX を使ってメモリー転送の設定を行えます。
ネットワークの設定については、次を参照してください。

➡ 本体の使用説明書

Command Center RXへのアクセス

1 Command Center RXの表示



- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに本機のIPアドレスを入力します。
例) 192.168.48.21/
本機およびCommand Center RX に関する一般情報と現在の状態が、Web ページに表示されます。

2 Command Center RXで設定する

画面左のナビゲーションバーから項目を選択します。項目によっては、別途、設定が必要になります。

Command Center RX に制限がかけられている場合、スタートページ以外のページにアクセスするためには、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

➡ Command Center RX 操作手順書

Fコードボックスとは

受信原稿を保存するボックスをFコードボックスと呼びます。Fコード通信機能を使って、受信した原稿をFコードボックスに保存することができます。

Fコードボックスの操作方法是、次の項目を参照してください。

➡ [Fコードボックスを登録する \(5-18\)](#)

➡ [Fコードボックスを変更する \(5-19\)](#)

➡ [Fコードボックスを削除する \(5-20\)](#)

Fコードボックスに保存されている受信原稿の操作方法是、次の項目を参照してください。

➡ [Fコードボックスから印刷する \(5-20\)](#)

➡ [Fコードボックスの詳細情報を確認する \(5-21\)](#)

➡ [Fコードボックスから印刷後の原稿を自動的に削除する \(5-21\)](#)

➡ [Fコードボックスから原稿を削除する \(5-22\)](#)

➡ [Fコードボックスリストを印刷する \(5-22\)](#)

Fコードボックスに送信する方法は、次の項目を参照してください。

➡ [Fコード送信する \(5-24\)](#)

Fコードボックスに受信する方法は、次の項目を参照してください。

➡ [Fコード受信のしかた \(5-25\)](#)

Fコードボックスを登録する

Fコードボックスは20個まで登録することができます。



参考

ユーザー管理が有効の場合は、管理者の権限でログインしてください。
システムメニューでも、Fコードボックスを登録することができます。

1 画面を表示する

ホーム画面の[Fコードボックス] > [メニュー]

2 設定する

1 [新規登録]を選択します。

2 それぞれの情報を入力して[OK]を選択します。

設定する項目は次のとおりです。

項目	説明
ボックス番号	[+],[-]またはテンキーを選択して、ボックス番号を入力してください。ボックス番号は01～20の範囲で入力できます。同じ番号を複数のボックスにつけることはできません。00を入力すると、空いている番号のうち最も小さい番号が自動でつけられます。
所有者 ^{*1}	ボックスの所有者を設定します。表示されるユーザーリストから所有者を選択してください。
ボックス名	ボックスの名前を32文字以下で入力してください。 ▶ 文字の入力方法 (11-2)
Fコード	サブアドレスを設定します。 ▶ Fコード通信とは (5-23)
ボックスパスワード	ボックスにパスワードをつけて、アクセスできるユーザーを制限することができます。必要に応じて入力してください。[パスワード]と[パスワード(確認)]それぞれ同じパスワードを16文字以下で入力してください。
共有設定 ^{*1}	ボックスを共有するかどうかを設定します。
印刷後削除	印刷が終了すると、文書をボックス内から自動的に削除します。文書を削除する場合、[設定する]を選択してください。文書を削除しない場合は[設定しない]を選択してください。

^{*1} ユーザー管理が有効の場合に表示されます。

3 内容を確認し、[登録]を選択する

ボックスが作成されます。

Fコードボックスを変更する



参考

システムメニューでも、Fコードボックスを変更することができます。

1 画面を表示する

ホーム画面の[Fコードボックス] > [メニュー] > [編集]

2 変更する

変更するボックスを選択して、設定を変更してください。
設定する項目は次のとおりです。

項目	説明
ボックス名	ボックスの名前を32文字以下で入力してください。 ▶ 文字の入力方法 (11-2)
ボックス番号	[+]、[-]またはテンキーを選択して、ボックス番号を入力してください。ボックス番号は01～20の範囲で入力できます。同じ番号を複数のボックスにつけることはできません。00を入力すると、空いている番号のうち最も小さい番号が自動でつけられます。
Fコード	サブアドレスを設定します。 ▶ Fコード通信とは (5-23)
所有者*1	ボックスの所有者を設定します。表示されるユーザーリストから所有者を選択してください。
共有設定*1	ボックスを共有するかどうかを設定します。
ボックスパスワード	ボックスにパスワードをつけて、アクセスできるユーザーを制限することができます。必要に応じて入力してください。[パスワード]と[パスワード(確認)]それぞれ同じパスワードを16文字以下で入力してください。
印刷後削除	印刷が終了すると、文書をボックス内から自動的に削除します。文書を削除する場合、[設定する]を選択してください。文書を削除しない場合は[設定しない]を選択してください。

*1 ユーザー管理が有効の場合に表示されます。

3 内容を確認し、[登録] > [はい]を選択します。

Fコードボックスを削除する

 **参考**

システムメニューでも、Fコードボックスを変更することができます。

1 画面を表示する

ホーム画面の[Fコードボックス] > [メニュー] > [削除]

2 削除する

- 1 削除するボックスを選択します。
- 2 [はい]を選択します。
ボックスを削除します。

Fコードボックスから印刷する

Fコードボックスへ送られた原稿は、次の操作を行って印刷してください。

1 ホーム画面の[Fコードボックス]を選択する

2 ファイルを選択する

- 1 印刷したい文書が入っているボックスを選択 > [開く]



参考

Fコードボックスにパスワードが設定されているときに、次の場合はパスワードの入力が必要です。

- ユーザー管理が無効の場合
- ユーザー管理が有効でユーザー権限でログインしているときに、別の所有者のFコードボックスを選択した場合

- 2 印刷したい文書を選択します。

- 3 [印刷]を選択します。

3 印刷する

- 1 印刷後に原稿データをFコードボックスから消去するか選択します。消去するときは[印刷後削除] > [設定する]を選択します。

- 2 [スタート]を選択します。

印刷を開始します。

Fコードボックスの詳細情報を確認する

Fコードボックスへ送られた原稿の詳細情報を確認できます。

1 ホーム画面の[Fコードボックス]を選択する

2 ファイルを選択する

- 1 確認したい文書が入っているボックスを選択します。

- 2 詳細情報を確認する原稿の[🔍]を選択してください。

選択した原稿の詳細情報が表示されます。

Fコードボックスから印刷後の原稿を自動的に削除する

Fコードボックスに送信された原稿を、印刷後に自動的に削除できます。次の操作を行ってください。

1 ホーム画面の[Fコードボックス]を選択する

2 ファイルを選択する

- 1 印刷したい文書が入っているボックスを選択します。

- 2 印刷したい文書を選択します。

- 3 [印刷]を選択します。

3 設定する

印刷後に原稿データをFコードボックスから消去するか選択します。消去するときは[印刷後削除] > [設定する]を選択します。

4 印刷する

[スタート]を選択します。
印刷後原稿は削除されます。

Fコードボックスから原稿を削除する

Fコードボックスへ送られた原稿を削除するときは、次の操作を行ってください。

1 ホーム画面の[Fコードボックス]を選択する

2 削除する

- 1 削除したい文書が入っているボックスを選択します。
- 2 削除したい文書を選択して、[🗑]を選択します。
- 3 [はい]を選択します。
削除されます。

Fコードボックスリストを印刷する

登録されているFコードボックスのボックス番号、ボックス名の一覧が記載されたFコードボックスリストを印刷することができます。また、Fコードボックスに原稿がある場合はそのページ数が表示されます。



参考

ユーザー管理が有効の場合は、管理者がログインしたときに印刷できます。

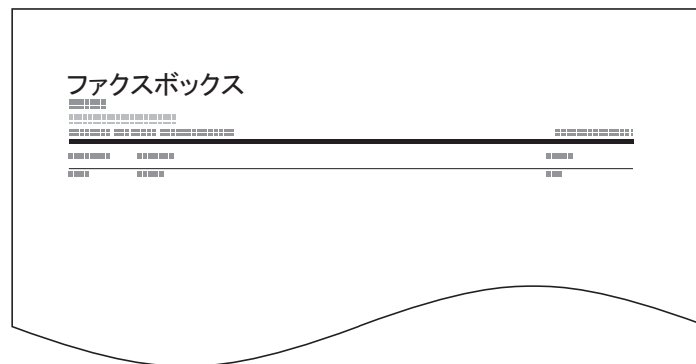
1 画面を表示する

[システムメニュー] > [文書ボックス]

2 印刷する

[Fコードボックス] > [リストの印刷] > [はい]

リストが印刷されます。



Fコード通信とは

Fコード通信とは、ITU-T(国際電気通信連合)の勧告に準拠したサブアドレスやパスワードを付加して送/受信する通信をいいます。Fコードを使用することにより、本来弊社機間でしかできなかった親展通信(受信側機に設けられた原稿受け渡しボックスに送る通信)やポーリング通信(受信側から操作して送信側の原稿を受信する通信)などの通信が他社機との間でも可能になります。本機では、Fコード通信を使って、受信した原稿をFコードボックスに保存するなど、高度な通信ができます。



参考

Fコード通信を行うためには、相手機にも同様のFコード通信機能が備わっている必要があります。

Fコードを使った通信は、各種機能通信とも併用することができます。また、FコードサブアドレスやFコードパスワードをアドレス帳やワンタッチキーに登録しておけば、送信時に入力を省略することができます。詳しくは、各通信方法や登録方法の手順内の記述を参照してください。

Fコードについて

本機では、FコードサブアドレスとFコードパスワードがFコードにあたります。

Fコードサブアドレス

Fコードサブアドレスは0～9までの数字とスペース、「#」、「*」を使って20桁まで入力することができます。本機で受信する場合、FコードサブアドレスはFコードボックスの指定に使用します。

Fコードパスワード

Fコードパスワードは0～9までの数字とスペース、「#」、「*」の文字を使って20桁まで入力することができます。本機で受信する場合はFコードパスワードを使用しません。

Fコード通信の操作方法は、次を参照してください。

➡ [Fコード送信する \(5-24\)](#)

➡ [Fコード受信のしかた \(5-25\)](#)

Fコード送信する



参考

Fコード送信を行う場合は、あらかじめ受信側に設定されているFコードサブアドレスとFコードパスワードを確認してください。

Fコード送信時は、暗号送信を行うことができません。

本機で受信する場合の設定方法は、次を参照してください。

➡[Fコードボックスを登録する \(5-18\)](#)

1 ホーム画面の[ファクス]を選択する

2 原稿をセットする

3 宛先を選択します

[新規宛先]を選択して、相手先のファクス番号を入力してください。



参考

アドレス帳の宛先にFコードを登録している場合には、その宛先が使用できます。また、アドレス帳でFコードを登録している宛先をワンタッチキーに使用している場合はそれらも使用できます。

4 設定する

1 [Fコード] >

2 [サブアドレス]を選択して、テンキーでサブアドレスを入力します。

サブアドレスは、0～9の数字とスペース、「#」、「*」の文字を使って、20桁まで入力できます。

3 [パスワード]を選択して、テンキーでFコードパスワードを入力します。

Fコードパスワードは0～9の数字とスペース、「#」、「*」の文字を使って、20桁まで入力できます。



参考

本機で受信する場合はFコードパスワードを使用しません。

4 [OK] > [OK]

5 送信する

送信先を確認して、[スタート]キーを押します。



参考

「送信前の宛先確認」を「設定する」に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。

➡[宛先確認画面を表示する \(7-10\)](#)

Fコード受信のしかた

送信側のFコードが、受信側で設定したFコードと一致するとファクスを受信します。また、受信した原稿をFコードボックスに保存することができます。

Fコードを使って受信を行うときは、あらかじめ送信側に本機のFコードサブアドレスとFコードパスワードを伝えておく必要があります。

Fコードを使う受信方法は、次を参照してください。

- ➡ [Fコードボックスから印刷する \(5-20\)](#)
- ➡ [Fコードボックスの詳細情報を確認する \(5-21\)](#)
- ➡ [Fコードボックスから印刷後の原稿を自動的に削除する \(5-21\)](#)
- ➡ [Fコードボックスから原稿を削除する \(5-22\)](#)
- ➡ [Fコードボックスリストを印刷する \(5-22\)](#)
- ➡ [Fコード掲示板受信 \(5-28\)](#)

重要

Fコード受信の機能については、事前に設定が必要です。詳しくは次を参照してください。

- ➡ [Fコードボックスを登録する \(5-18\)](#)
- ➡ [Fコードボックスを変更する \(5-19\)](#)
- ➡ [Fコードボックスを削除する \(5-20\)](#)

ポーリング通信とは

ポーリング通信とは、受信側から操作して送信側の原稿を受信する通信方法です。受信側は自分の都合に合わせて原稿を受け取ることができます。本機では、ポーリング送信とポーリング受信ができます。



重要

この通信は、受信側から送信側にダイヤルする操作を行うため、電話料金は通常受信側の負担になります。

ポーリング送信とは

ポーリング送信用として原稿をポーリングボックスに保存します。相手先からのポーリング受信要求があると自動的に送信します。

相手先に送信されたポーリング送信用の原稿は自動的に削除されますが、送信済み文書削除を[設定しない]にしておけば、原稿は削除するまでポーリングボックスに保存されます。同じ原稿を何度でもポーリング送信することができます。



参考

ポーリング送信用の原稿は10件まで保存できます。

相手先からポーリング受信要求があるまでは、送信する原稿を後から追加、上書きすることができます。

➡ [上書き保存許可を設定する \(5-26\)](#)

ポーリング送信後の原稿を削除する

相手先に送信されたポーリング送信用の原稿を自動的に削除します。同じ原稿を複数の相手先にポーリング送信する場合は、[設定しない]にしてください。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [文書ボックス] > 「ポーリングボックス」

2 設定する

「送信済み文書削除」> [設定しない]または[設定する] > [OK]

上書き保存許可を設定する

上書き保存するときは[許可する]にしてください。

ポーリングボックスに保存された文書で、同じ文書名を付けた場合、上書き保存できます。

[禁止する]を設定した場合、同じ文書名を付けても、上書き保存されません。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [文書ボックス] > 「ポーリングボックス」

2 設定する

「上書き保存許可」> [許可する]または[禁止する] > [OK]

ポーリング送信する

- 1 ホーム画面の[ポーリングボックス]を選択する
- 2 原稿をセットする
- 3 画面を表示する
[文書保存]を選択します。
- 4 必要に応じて、原稿の種類や読み込み濃度などを設定する

設定できる機能は次のとおりです。

機能	説明
両面/見開き原稿	原稿に合わせて、原稿の種類と同じ方向を選択します。
濃度	原稿の読み込み濃度を調整します。
読み込み解像度	原稿をどの程度細かく読み込むかを選択します。
文書名入力	読み込む原稿のファイル名を変更できます。ジョブ番号や日付も付加できます。

機能一覧	説明
原稿サイズ	原稿の読み込みサイズを選択します。不定形サイズの原稿を使用する場合は、必ず原稿サイズを選択してください。
原稿セット向き	原稿を正しい向きに保存するため、原稿の上部の向きを指示します。次の機能を使用する場合は、原稿のセット向きを選択する必要があります。 ・ 両面/見開き原稿
保存サイズ	保存する画像のサイズを選択します
原稿の画質	原稿の種類に合わせて、画質を選択します。
白紙ページスキップ	読み込んだ原稿の中に白紙のページがある場合、白紙のページを飛ばして、白紙以外の原稿を読み込みます。
連続読み込み	原稿を数回に分けて読み込み、一括して処理します。
長尺原稿	原稿送り装置を使用して、長尺原稿（給紙される方向に長い原稿）を読み込むことができます。
ジョブ終了通知	ジョブが終了すると、メールで知らせることができます。

各機能については、次を参照してください。

➡ [ファクス各機能の詳細設定 5-1](#)

➡ 本体の使用説明書

5 保存する

[スタート]キーを押してください。原稿を読み込み、ポーリングボックスに保存します。

ポーリング送信を中止する

ポーリング送信を中止するには、ポーリングボックス内に保存されているポーリング送信用原稿を削除してください。削除方法は、次を参照してください。

➡ [ポーリング送信後の原稿を削除する \(5-26\)](#)

ポーリング受信とは

受信側からダイヤルして、送信側に保存されている原稿を自動的に送信させる機能です。



参考

ポーリング受信は、複数の相手先を指定できません。暗号通信が登録されている宛先を指定した場合、暗号通信を無効にしてポーリング受信をします。

ポーリング受信を行うためには、相手先があらかじめポーリング送信を準備している必要があります。

さらに、Fコードを使用すると、次のような通信が可能になります。

Fコード掲示板受信

Fコードを使用することによって、相手先が他社機であっても、Fコード掲示板送信機能を備えていれば通信することができます。(本機ではFコードサブアドレスとFコードパスワードです。)



重要

相手先が、Fコード掲示板送信機能を備えていることが必要です。ファクスによっては、原稿を保存できなかったり、ポーリング送信ができなかったりする場合があります。それぞれの状況に合わせた機能が備わっていることを、送信側と受信側であらかじめ確認してください。

相手先に設定されているFコードサブアドレスとFコードパスワードをあらかじめ確認してください。



参考

Fコードについての詳細は、次を参照してください。

▶ [Fコードボックスを登録する \(5-18\)](#)

Fコード掲示板通信での受信方法は、次を参照してください。

▶ [Fコードを使用してポーリング受信する \(5-29\)](#)

ポーリング受信する



参考

相手先がFコードを使用しているときは、次のFコードを使用するポーリング受信のしかたを参照してください。

1 ホーム画面の[ファクス]を選択する

2 ポーリング受信を設定する

[機能一覧] > [ファクスポーリング受信] > [設定する]

3 宛先を選択する

宛先の選択方法は、次を参照してください。

▶ [相手先の入力方法 \(3-7\)](#)

4 [スタート]キーを押す

受信のための動作を開始します。

参考

「送信前の宛先確認」を「設定する」に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。

➡ [宛先確認画面を表示する \(7-10\)](#)

Fコードを使用してポーリング受信する

ポーリング受信時に、相手先で設定されているFコード（本機ではFコードサブアドレスとFコードパスワード）を入力します。相手先が他社機であっても、同様のFコード通信機能を備えていれば通信が可能です。

重要

相手先に設定されているFコードをあらかじめ確認してください。

1 ホーム画面の[ファクス]を選択する

2 ポーリング受信を設定する

ポーリング受信の設定方法は、次を参照してください。

➡ [ポーリング受信する \(5-28\)](#)

3 宛先を選択し、Fコード設定する

Fコードの設定方法は、次を参照してください。

➡ [Fコード送信する \(5-24\)](#)

宛先の選択方法は、次を参照してください。

➡ [相手先の入力方法 \(3-7\)](#)

参考

宛先は、テンキー入力、Fコードが登録されているアドレス帳およびワンタッチキーを組み合わせで選択することができます。

4 [スタート]キーを押す

受信のための動作を開始します。

参考

「送信前の宛先確認」を「設定する」に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。

➡ [宛先確認画面を表示する \(7-10\)](#)

ポーリングボックスから印刷する

ポーリングボックスに保存されている原稿を印刷できます。

1 ホーム画面の[ポーリングボックス]を選択する

2 ファイルを選択する

印刷したい文書を選択します。

[メニュー] > [印刷]



参考

選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消してください。
ポーリングボックス内の一覧の操作については、次を参照してください。

▶ [本体の使用説明書](#)

3 [スタート]キーを押す

印刷を開始します。

ポーリングボックスの詳細情報を確認する

ポーリングボックスに保存されている原稿の詳細情報を確認できます。

1 ホーム画面の[ポーリングボックス]を選択する

2 ファイルを選択する

1 確認したい文書を選択します。

2 []を選択します。選択した原稿の詳細情報が表示されます。

ポーリングボックスから原稿を削除する

ポーリングボックスに保存されている原稿を削除します。



参考

「送信済み文書削除」を[設定する]にしている場合は、ポーリング送信後の原稿は自動的に削除されます。

▶ [ポーリング送信後の原稿を削除する \(5-26\)](#)

1 ホーム画面の[ポーリングボックス]を選択する

2 削除する

1 削除したい原稿を選択して[]を選択します。

2 [はい]を選択します。

削除されます。

ファクスメモリー受信ボックス

受信したファクスデータをファクスメモリー受信ボックスに保存し、内容を確認後に必要なファクスだけを印刷できます。

重要

ファクスメモリー受信ボックスに保存したデータは必ず印刷してください。ボックスがいっぱいになると、以降のデータは印刷されません。

参考

ファクスメモリー受信ボックスを使用するには、「ファクスメモリー受信」を[使用する]にしてください。設定方法は、次を参照してください。

➡ [「ファクスメモリー受信ボックス」\(8-8\)](#)

ファクスメモリー受信ボックスからの印刷のしかた

ファクスメモリー受信ボックスへ送られたデータは、次の操作を行って印刷してください。

1 ホーム画面の[ファクスメモリー受信ボックス]を選択する

2 受信データを選択する

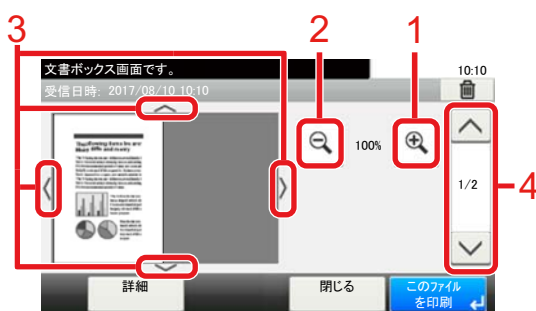
選択したデータにはチェックマークがつきます。

参考

- ・ 選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消してください。
- ・ [サムネイル]を選択すると、データ画像のサムネイルが表示されます。
- ・ [リスト]を選択すると、データ画像のリストが表示されます。
- ・ [詳細]を選択すると、受信データの詳細情報が表示されます。

3 [プレビュー] > 受信データの内容を確認する

プレビュー画面が表示されます。



- 1 拡大します。
- 2 縮小します。
- 3 拡大したとき、表示する範囲を移動できます。
- 4 複数ページあるときは、ページを切り替えることができます。

4 [このファイルを印刷]を選択する

印刷を開始します。

参考

プレビューを使用しない場合は、印刷したい受信データを選択 > [印刷]の順に選択してください。

ファクスメモリー受信ボックスからの削除のしかた

ファクスメモリー受信ボックスへ送られた不要なデータは、次の操作を行って削除してください。

1 ホーム画面の[ファクスメモリー受信ボックス]を選択する

2 受信データを選択する

選択したデータにはチェックマークがつきます。

参考

- 選択を解除するときは、チェックボックスを選択してチェックマークを消してください。
- [サムネイル]を選択すると、データ画像のサムネイルが表示されます。
- [リスト]を選択すると、データ画像のリストが表示されます。
- [詳細]を選択すると、受信データの詳細情報が表示されます。

3 [プレビュー] > 受信データの内容を確認する

プレビュー画面が表示されます。

4 削除する

1 [削除]を選択します。

2 [はい]を選択します。

データが削除されます。

参考

プレビューを使用しない場合は、削除したい受信データを選択 > [削除] > [はい]の順に選択してください。

暗号通信

送信側で原稿を暗号化して通信する方法です。したがって、通信途中にある送信原稿を第三者が何らかの方法により盗み見ようとした場合でも、本当の原稿の内容を知ることはできません。送られた原稿は受信側で元の原稿に戻して(平文化されて)印刷されます。第三者には絶対に知られてはならないような極秘の機密文書などを送る際に非常に有効な通信方法です。



重要

暗号通信を行うためには、相手機が同方式の暗号通信機能を備えた弊社機であることが必要です。

暗号通信では、原稿の暗号化、平文化を行うために、送信側と受信側で同じ16桁の暗号鍵を使用しますが、その暗号鍵が送信側と受信側で合致しない場合、暗号通信は成立しません。したがって、送信側と受信側であらかじめ取り決めを行い、両方で同じ暗号鍵を2桁の鍵番号と一緒に登録しておく必要があります。



送信・受信側での設定内容

設定内容	送信側	受信側	参照ページ
暗号鍵番号	(A)2桁	(B)2 桁	5-33
暗号鍵	(C)16桁	(C)16 桁	5-33
アドレス帳(または直接ダイヤル入力時)の鍵番号	(A)2 桁	—	5-35
送信先暗号ボックス番号 ^{*1}	(D)4 桁	—	5-35
暗号ボックス番号 ^{*1}	—	(D)4桁	—
受信設定での鍵番号	—	(B)2 桁	5-36

^{*1} 本機で受信する場合は、暗号ボックスを使用しません。



参考

アルファベットが同じものは同じ文字列を設定してください。例えば、暗号鍵(C)は送信、受信側で同じ文字列です。

暗号鍵を登録する

暗号鍵は、送信側では暗号通信用として使用するアドレス帳を登録する(または直接テンキーで相手先を入力する)ときに、受信側では暗号受信設定をするときに必要になります。

暗号鍵の作成には、0～9までの数字とアルファベットのA～Fの文字を使用し、それらを任意に16個ならべたものが暗号鍵となります。作成した暗号鍵には、01～20の2桁の鍵番号をつけて登録します。



参考

暗号鍵は20個まで登録することができます。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [送受信共通設定] > [暗号鍵登録]

2 設定する

- 1 未登録の暗号鍵の[アイコン]を選択します。
- 2 [暗号鍵] > 暗号鍵(16桁)を入力 > [OK]



参考

暗号鍵は、数字(0～9)とアルファベット(A～F)を使って登録してください。

- 3 他の暗号鍵を登録するときは手順2の1～2を繰り返してください。

3 登録を終了する

[終了]を選択します。

暗号鍵の登録内容を変更する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [送受信共通設定] > [暗号鍵登録]

2 変更する

- 1 変更する暗号鍵の[>]を選択します。
- 2 [暗号鍵] > 暗号鍵(16桁)を入力 > [OK] > [はい]
- 3 その他の暗号鍵を変更するときは、手順2-1～2-2を行います。

3 変更を終了する

[終了]を選択します。

暗号鍵の登録内容を削除する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [送受信共通設定] > [暗号鍵登録]

2 削除する

- 1 削除する暗号鍵を選択します。
- 2 [>]を選択します。
- 3 [はい]を選択します。
登録が削除されます。

3 削除を終了する

[終了]を選択します。

暗号送信する

暗号送信を行う場合は、暗号通信用として登録したアドレス帳を使用します。または、直接テンキーでダイヤルするときに暗号送信を設定して送信してください。



参考

暗号送信は、同報送信でも行うことができます。暗号通信時は、Fコード送信を行うことができません。

1 事前に暗号鍵を登録しておく

受信側と取り決めた暗号鍵を登録してください。

暗号鍵の登録のしかたは、次を参照してください。

➡ [暗号鍵を登録する \(5-33\)](#)

2 ホーム画面の[ファクス]を選択する

3 原稿をセットする

4 宛先を選択する

[新規宛先]を選択して、相手先のファクス番号を入力してください。



参考

アドレス帳またはワンタッチキーの宛先に暗号送信の設定がされている場合には、その宛先が使用できます。

5 暗号送信を設定する

1 [詳細設定] > [暗号送信] > [暗号化] > [設定する] > [暗号鍵番号]

2 受信側と取り決めた暗号鍵を登録した暗号鍵番号を選択してください。

暗号鍵の登録のしかたは、次を参照してください。

➡ [暗号鍵を登録する \(5-33\)](#)

6 暗号ボックスの選択

暗号ボックスの選択が必要な場合は、次の手順を行います。

1 [暗号ボックス] > [設定する] > [暗号ボックス番号]

2 テンキーで暗号ボックス番号(0000～9999)を入力します。

3 [OK]を選択します。

7 暗号送信の設定を完了する

[OK] > [OK] > [OK]

8 送信する

[スタート]キーを押します。

送信を開始します。



参考

「送信前の宛先確認」を「設定する」に設定している場合は、[スタート]キーを押したときに、宛先確認画面が表示されます。

➡ [宛先確認画面を表示する \(7-10\)](#)

暗号受信を設定する

暗号通信を行う場合、受信側では次の手順にしたがって操作を行ってください。

1 事前に暗号鍵を登録しておく

送信側と取り決めた暗号鍵を登録してください。

暗号鍵の登録のしかたは、次を参照してください。

▶ [暗号鍵を登録する \(5-33\)](#)

2 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [受信設定]

3 暗号受信を設定する

1 [暗号受信] > [設定する]

2 送信側と取り決めた暗号鍵を登録した暗号鍵番号を選択します。

3 [OK]を選択します。

相手先から暗号送信を受信することができます。

6 パソコンからのファクス送信

この章では、次の項目について説明します。

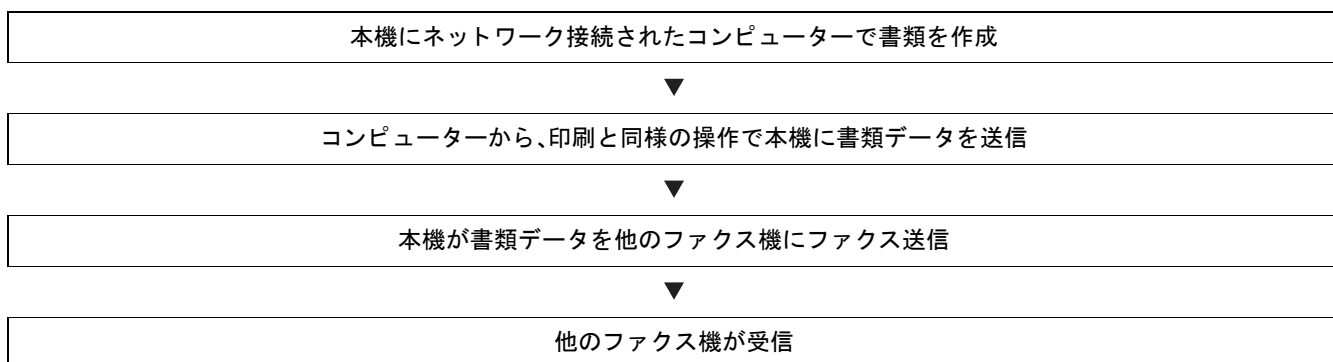
Network FAXの送信の流れ	6-2
Network FAXの受信の流れ	6-2
Network FAXのセットアップ	6-3
Network FAX ドライバーをダウンロードする	6-4
Network FAXドライバーをインストールする	6-6
FAXドライバーをアンインストールする	6-8
ドライバーの初期設定をする	6-9
初期設定ダイアログボックスを開く	6-10
基本的な方法で送信する	6-13
送信設定の変更	6-16
アドレス帳から送信先を選択する	6-16
Fコード通信する場合	6-18
送付状を設定する場合	6-19
オプションを設定する	6-19
送信元情報を変更する	6-20
送付状の使用方法	6-21
送付状について	6-21
送付状を付けて送信する	6-22
送付状の登録(初期設定)	6-26
Network FAXの送信状況を確認する	6-31

Network FAXとは、本機に接続されたコンピューターでファクスの送/受信をする機能です。主な特徴は次のとおりです。

- コンピューターで作成した書類を、印刷することなくファクス送/受信が可能
- 宛先指定にアドレス帳(本体内/コンピューター内)を利用可能
- 送付状の添付
- 送信と同時に印刷も可能
- 送信結果のメール通知
- Fコード通信対応
- 印刷と同じ簡単操作

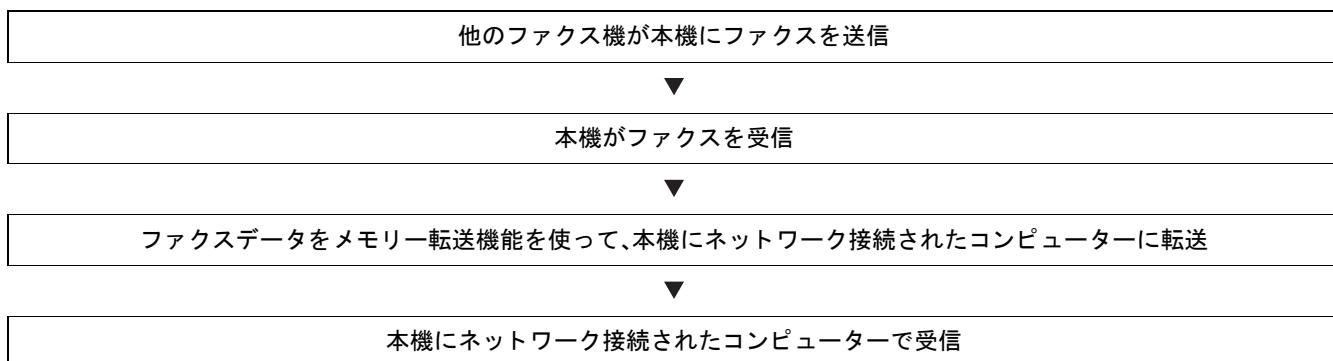
Network FAXの送信の流れ

Network FAXの送信は次の流れで行います。



Network FAXの受信の流れ

Network FAXの受信は次の流れで行われます。



参考

メモリー転送では、ネットワーク上のコンピューターで受信する以外にも、受信したファクスをメールで転送したり、他のファクスに転送したりできます。

Network FAXのセットアップ

Network FAX を使用するためには、次の準備が必要です。

コンピューターとの接続

ネットワークケーブルで本体とコンピューターをネットワークに接続します。

➡ [本体の使用説明書](#)

本体の登録

メモリー転送機能で受信先コンピューターやファイル形式を選択します。



参考

メモリー転送機能では、コンピューターへの転送や、受信したファクスをメールの添付ファイルにして転送することもできます。

➡ [メモリー転送 \(5-12\)](#)

Network FAX ドライバーをダウンロードする

Network FAX ドライバーを弊社のホームページからダウンロードする手順について説明します。

- 1 Web ブラウザーを起動してください。
- 2 アドレスバーまたはロケーションバーに弊社のホームページで以下を入力してください。
<http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp/download/>
ダウンロードページが表示されます。
- 3 お使いのモデル名を入力し、モデル名をクリックしてください。

HOME 製品情報 ソリューション サポート&ダウンロード 会社案内 イベント情報 販売

HOME > サポート&ダウンロード > ドライバー・ユーティリティー

ドライバー・ユーティリティー

利用している機種に応じたドライバー・ソフトウェアを探す

STEP 1 該当する機種を選択してください。

複合機やプリンターの製品名の一部を入力し、候補のリストから選択してください。
KMシリーズ、Creageシリーズ、その他候補リストに表示されないモデルにつきましては、過去の製品一覧へお進みください

機種番号を入力

- 4 該当するOSを選択してください。
- 5 [ネットワークファクス]の[FAX ドライバー]をクリックしてください。

【ネットワークファクス】

ファイル名	Read me	バージョン	サイズ	掲載日
FAXドライバー (32bit/64bit)	詳しくはこちら	Ver 6.3.2205	32,476KB	2017.1.23

- 6 使用許諾契約書の使用条件に同意いただけましたら、[契約書に同意してダウンロード]をクリックしてください。

【使用許諾契約書】

第1条（使用権）
1. 京セラドキュメントソリューションズ株式会社（以下、当社といいます）は、ダウンロードしたデバイス・ドライバー及びソフトウェア（以下併せて、本ソフトウェアといいます）に関する非独占的且つ譲渡不能な使用権を、本使用許諾契約の条件の下、お客様に許諾致します。
使用権とは、お客様が本ソフトウェアを保持し、読み込み、インストールし、実行させ又は表示させる権利を意味します。
2. お客様は、以下の行為を行ってはならないものとします。
a. 本ソフトウェアの改変、翻訳、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、派生物の作成又は複製（バックアップコピーは除く）を行うこと。
b. 当社の同意なく、本ソフトウェアを第三者に貸与、譲渡又はその本ソフトウェアに関する権利の許諾を行うこと。
c. 本ソフトウェア上の権利表示を取り除くこと。
d. 本ソフトウェアを、電子掲示板、ウェブサイト、FTP サイトを含むがそれに限定されない、一級に電子的なアクセスが可能な場所へ置くこと。
3. この使用権はお客様に販売されたものではありません。本ソフトウェア及びお客様が作成した複製物に関する著作権等の権利は、当社又は当社が使用許諾を受けているライセンスに帰属します。

契約書に同意してダウンロード

7 画面にしたがって、FAX ドライバーをお使いのパソコンにダウンロードしてください。

参考

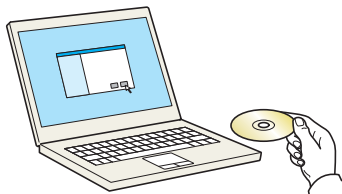
ダウンロード後のインストール方法については、Read Me の[詳しくはこちら]をクリックし、表示されるインストール方法を参照してください。

[ネットワークファクス]			
ファイル名	Read me	バージョン	サイズ
FAXドライバー (32bit/64bit)	詳しくはこちら	Ver 6.3.2205	32,476KB

Network FAXドライバーをインストールする

Network FAXを使用するコンピューターにFAXドライバーをインストールします。(画面はWindows 8.1です。)

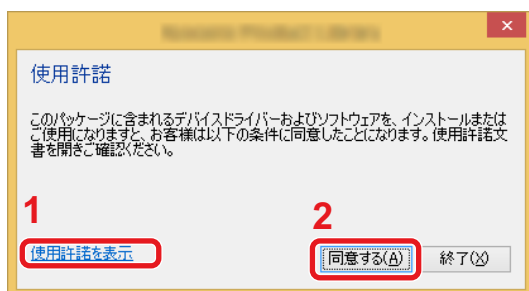
1 DVDを挿入する



参考

ソフトウェアをインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。
「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示された場合、[キャンセル]をクリックしてください。
自動再生画面が表示されたら、[setup.exeの実行]をクリックしてください。
ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、[はい]([許可])をクリックしてください。

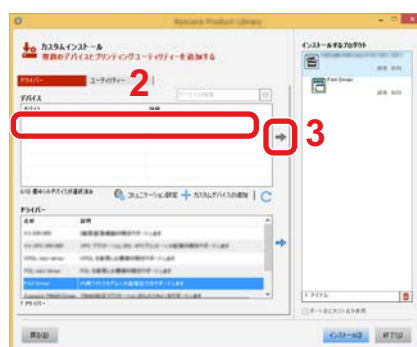
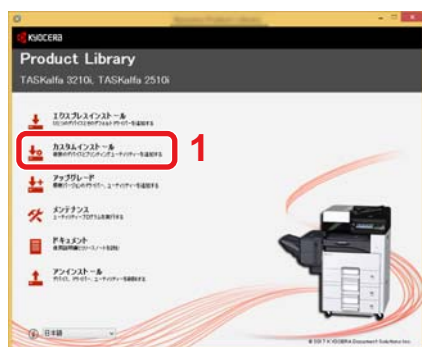
2 画面を表示する



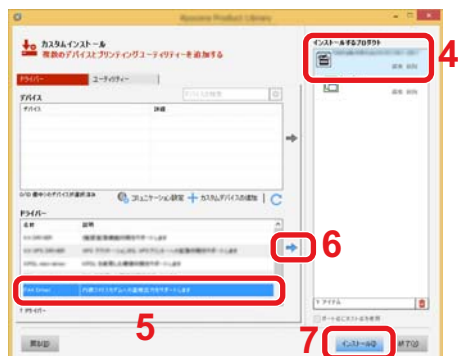
- 1 [使用許諾を表示]をクリックして、使用許諾契約をお読みください。
- 2 [同意する]をクリックします。

3 FAX Driverを選択する

- 1 [カスタムインストール]を選択します。
- 2 インストールするデバイスを選択します。
- 3 [➡]をクリックします。



- 4 インストールするプロダクトが表示されていることを確認します。
- 5 [FAX Driver]を選択します。
- 6 [➡]をクリックします。
- 7 [インストール]をクリックします。



参考

本機の電源が切れている場合、本機は検索されません。本機が検索されない場合、本機とパソコンがネットワークで接続され、本機の電源が入っていることを確認して、C(更新)をクリックしてください。

Windowsセキュリティ画面が表示された場合、[このドライバーソフトウェアをインストールします]をクリックしてください。

4 インストールを終了する

画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これでFAXドライバーのインストール作業は終了です。

FAXドライバーをアンインストールする

FAXドライバーを削除するときは、以下の手順で行ってください。



参考

ソフトウェアをアンインストールするときは、管理権限でログオンする必要があります。

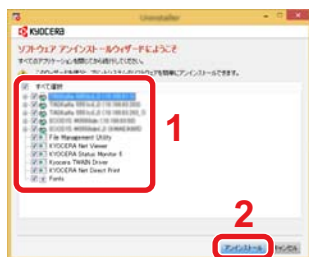
1 画面を表示する

Windowsの[スタート]ボタン > [すべてのプログラム] > [Kyocera] > [プロダクトライブラリーのアンインストール]

ソフトウェアアンインストールウィザードが表示されます。

2 アンインストールする

削除するソフトウェアのチェックボックスにチェックを入れ、[アンインストール]をクリックします。



3 アンインストールを終了する

画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動してください。これでソフトウェアのアンインストール作業は終了です。



参考

ソフトウェアのアンインストールはProduct Libraryを使って行うことも可能です。

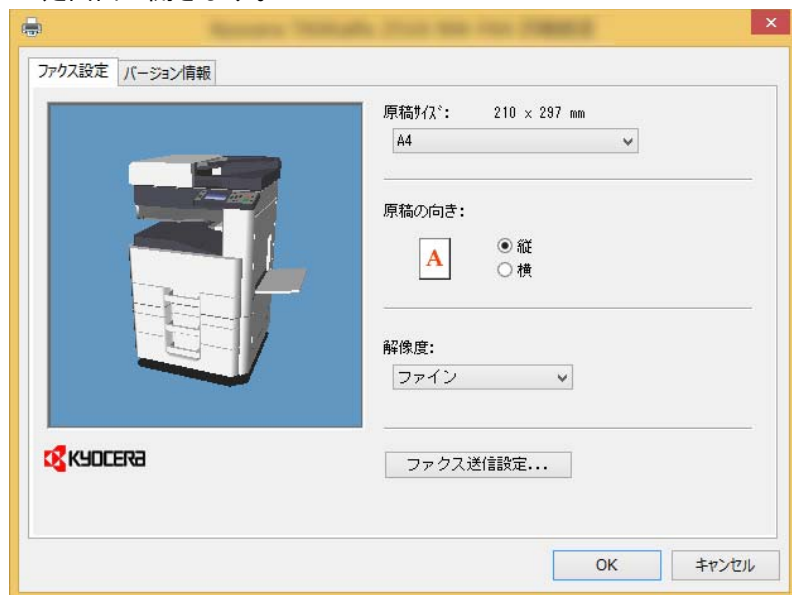
Product Libraryの画面でアンインストールを選択し、画面の表示に従ってソフトウェアをアンインストールします。

ドライバーの初期設定をする

印刷設定画面のファクス設定タブで原稿サイズなど送信条件をここで設定してください。

1 画面を表示する

- 1 スタートボタンから[コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [デバイスとプリンター]の順にクリックしてください。
- 2 使用する本体の製品名を右クリックし、ドロップダウンメニューから[印刷設定]を選択してください。印刷設定画面が開きます。



2 設定する

次の項目が設定できます。

項目	詳細
原稿サイズ	ドロップダウンリストから送信する原稿サイズを選択してください。 設定値: A3、A4、A5、Folio、B4、B5(JIS)、Ledger(11x17)、Letter、Legal、Statement
原稿の向き	チェックボックスで原稿の出力向きを縦または横のどちらか選択してください。 設定値: 縦、横
解像度	ドロップダウンリストから送信する原稿の解像度を選択してください。 設定値: 100x200dpi ノーマル、200x200dpi ファイン、400x400dpi ウルトラファイン
ファクス送信設定	送信条件の初期設定をするときは[ファクス送信設定]をクリックしてください。初期設定画面が表示されます。

初期設定ダイアログボックスを開く

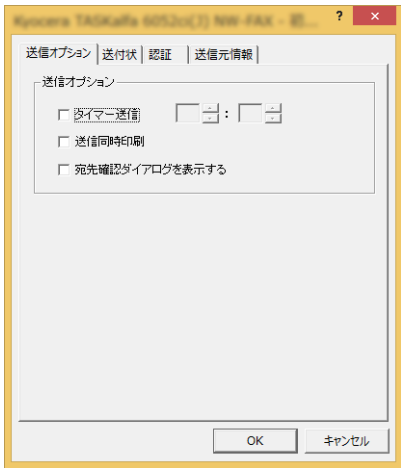
基本的に使用する送信条件を設定しておく、通信毎に設定する手間が省けます。

1 画面を表示する

- 1 スタートボタンから[コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [デバイスとプリンター]の表示の順にクリックしてください。
- 2 使用する本体の製品名を右クリックし、ドロップダウンメニューから[印刷設定]を選択してください。[印刷設定]ダイアログボックスで[ファクス送信設定]ボタンをクリックしてください。

2 設定する

(1)送信オプションタブ



項目	詳細
タイマー送信	チェックボックスにチェックを入れると、右側の時刻表示エディットボックスが有効となり、送信原稿に対して送信する時刻の指定を行うことができます。キーボードからの入力と▲▼ボタンをクリックして入力ができます。  重要 本体の操作部に表示されている現在時刻表示が合っていないと、指定時刻に正しく通信されません。表示されている現在時刻が合っていないときは正しく調整してください。  参考 本体に設定されている時刻より前の時刻を指定して送信した場合、翌日の指定時刻に送信を行います。本体で設定されている時刻を確認してください。 設定値: 00:00~23:59
送信同時印刷	チェックボックスにチェックを入れると、送信とともに本体からも出力します。
宛先確認ダイアログを表示する	チェックボックスにチェックを入れると、送信前に宛先確認画面を表示し、宛先を確認してから送信することができます。

(2) 送付状タブ

項目	詳細
送付状を添付する	チェックボックスにチェックを入れると、送付状を添付してファクスを送信します。



参考

送付状の登録方法は、次を参照してください。

➡ [送付状の登録\(初期設定\) \(6-26\)](#)

(3) 認証タブ

項目	詳細
ユーザー管理	本体でユーザー管理を設定している場合に選択し、特定のログインユーザー名を使用または送信時にログインユーザー名を入力を選択してください。 特定のログインユーザー名を使用: ログインユーザー名とパスワードを入力してください。入力されたログインユーザー名とパスワードで送信を行います。 送信時にログインユーザー名を入力: 送信時にログインユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。送信を行うごとにログインユーザー名とパスワードを入力する必要があります。
部門管理	本体で部門管理を設定している場合に選択し、特定のコードを使用または送信時にコードを入力を選択してください。 特定のコードを使用: コードを入力してください。入力されたコードで送信を行います。 送信時にコードを入力: 送信時にコードを入力する画面が表示されます。送信を行うごとにコードを入力する必要があります。

(4)送信元情報タブ

送付状を添付する際、以下の送信元情報を入力してください。

項目	詳細
会社名	最大全角32 文字(半角64 文字)まで入力できます。
部署名	最大全角32 文字(半角64 文字)まで入力できます。
名称(個人名など)	最大全角16 文字(半角32 文字)まで入力できます。
電話番号	最大半角20 文字(入力可能文字0 ～ 9、#、*、-、(、) +、およびスペース)まで入力できます。
ファクス番号	最大半角20 文字(入力可能文字0 ～ 9、#、*、-、(、) +、およびスペース)まで入力できます。
メールアドレス	最大半角128 文字まで入力できます。 入力可能文字: 記号 (!、#、\$、%、&、'、*、+、-、.、/、=、@、[、]、^、_、`、{、}) 英数字 (0-9、A-Z、a-z)



参考

メールアドレスを入力すると、送信結果レポートをE メールで受信することができます。本体でEメールの設定が必要です。

➡ [本体の使用説明書](#)

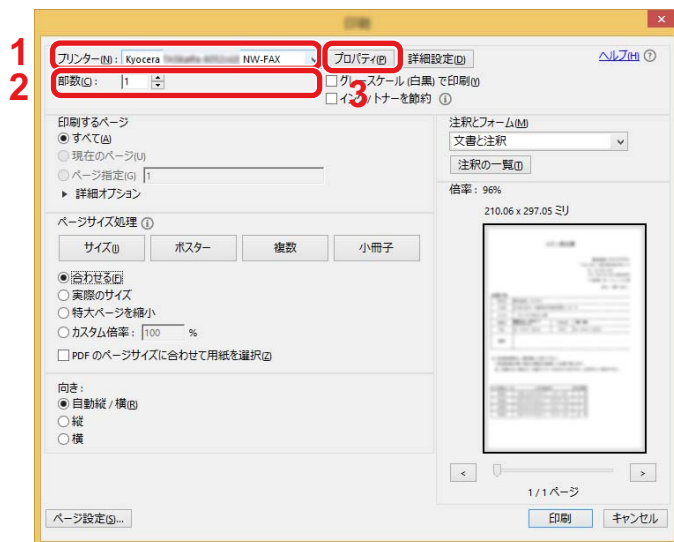
基本的な方法で送信する

Network FAXを使用した基本的な送信方法を説明します。ここでは、Adobe Acrobat文書を送信する例で説明します。

1 送信する原稿を作成する

- 1 コンピューター上で任意のアプリケーションで送信する原稿を作成してください。
- 2 原稿サイズや向きを設定してください。
- 3 ファイルメニューから[印刷]を選択してください。使用されているアプリケーションの印刷画面が開きます。

2 印刷画面で設定する



- 1 プリンター名リストで使用する本体の製品名(Kyocera XXX NW-FAX)を選択してください。
- 2 印刷ページなどの設定を行ってください。

参考

印刷部数は1部になっていることを確認してください。以下の画面はご使用のアプリケーションによって異なります。

- 3 [プロパティ]をクリックしてください。プロパティウインドウが開きます。

3 ファクス設定タブで設定する

- 1 ファクス設定タブが開いている状態で、原稿サイズなど各種送信設定を行い、[OK]をクリックしてください。



設定方法は、次を参照してください。

→ [ドライバーの初期設定をする \(6-9\)](#)

- 2 アプリケーションの印刷画面に戻ります。[印刷]をクリックしてください。送信設定画面が表示されます。

4 送信設定画面で設定する

送信設定画面では、送信時刻を設定したり、Fコードの設定などができます。

詳しい設定については、次を参照してください。

→ [送信設定の変更 \(6-16\)](#)

5 送付状を設定する

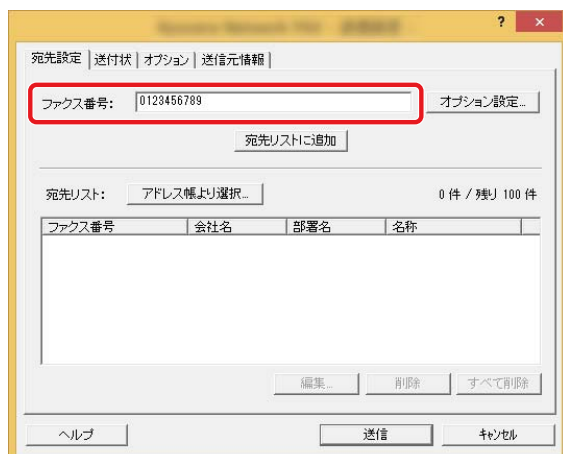
送付状を使用するときは、[送付状]タブで設定を行ってください。

詳しい設定については、次を参照してください。

→ [送付状の使用方法 \(6-21\)](#)

6 送信先を設定する

- 1 [宛先設定]タブで送信先のファクス番号をキーボードより入力してください。
- 2 [宛先リストに追加]をクリックしてください。送信先の情報が宛先リストに表示されます。複数の相手先に送るときは、操作を繰り返し行ってください。
- 3 アドレス帳を使用するときは、[アドレス帳より選択]をクリックして、送信先を選択してください。



7 [送信]をクリックしてください。送信を開始します。

送信設定の変更

送信時に送信設定を変更することができます。

アドレス帳から送信先を選択する

アドレス帳は、本体のアドレス帳、Windows 標準のアドレス帳から相手先を選択することができます。

参考

アドレス帳 for Network FAX をお持ちの方は、アドレス帳 for Network FAX データファイル(.fdt)から選択することができます。

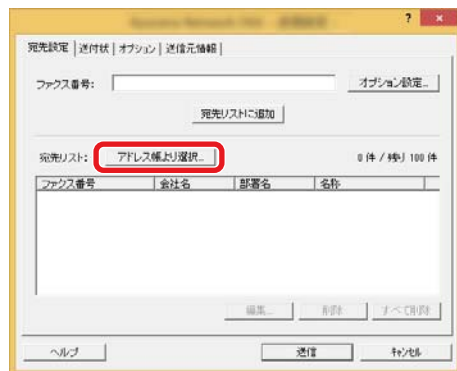
本体のアドレス帳を使用するときは、本体のアドレス帳に相手先が登録されている必要があります。

詳しい設定については、次を参照してください。

➡ [宛先を登録する \(2-10\)](#)

1 [アドレス帳より選択]ボタンをクリックする

宛先の選択ダイアログボックスが開きます。

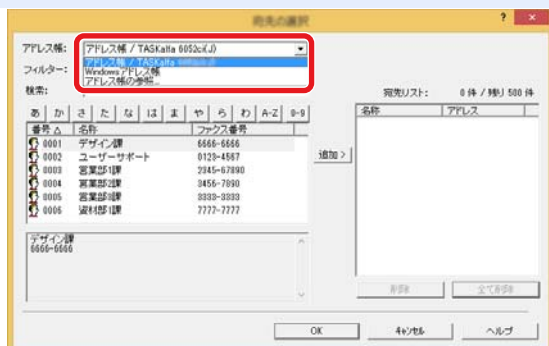


2 アドレス帳を選択する

本体に登録しているアドレス帳を使用する場合、[アドレス帳]のドロップダウンメニューから[アドレス帳/ 機種名]を選択してください。

参考

Windows 標準のアドレス帳を使用する場合は、Windows アドレス帳を選択してください。

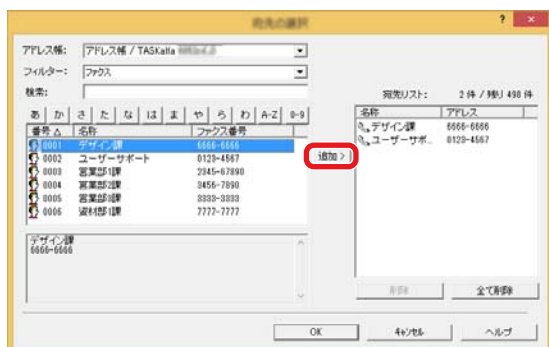


アドレス帳 for Network FAX データファイル(.fdt)を追加する場合は、[アドレス帳の参照]を選択して、[追加]をクリックし、アドレス帳データファイルを選択してください。

3 宛先を選択する

アドレス帳に登録されている宛先が左側のリストに表示されます。宛先をグループで選択する場合は、[フィルター]のドロップダウンメニューで[グループ]を選択してください。

送信する宛先を選択して[追加>]ボタンをクリックしてください。送信する宛先が宛先リスト(右側のリスト)に登録されます。



参考

- リストは並び替え(ソート)することができます。リストの項目(番号、宛先名称、ファクス番号)をクリックしてください。ソートしている項目に△または▽が表示されます。また、検索に検索文字列を入力すると、ソートしている項目で該当する宛先を選択します。
- 相手先を選択するとリストの下フィールドに相手先の詳細情報が表示されます。また、グループを選択した場合はリストの下フィールドにメンバーが表示されます。

宛先リストに表示されている宛先より削除するときは、削除する宛先を選択し[削除]ボタンをクリックしてください。また、すべての宛先を削除するときは、[すべて削除]ボタンをクリックしてください。

4 [OK]ボタンをクリックする

送信設定ダイアログボックスに戻り、宛先リストに登録した宛先を表示します。

Fコード通信する場合

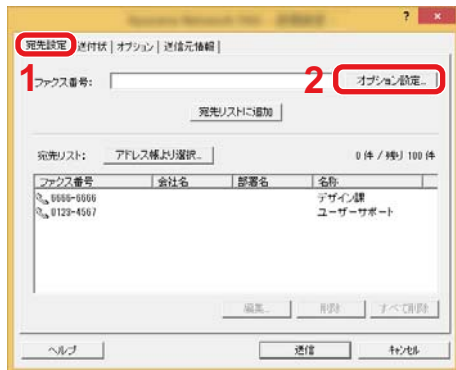


参考

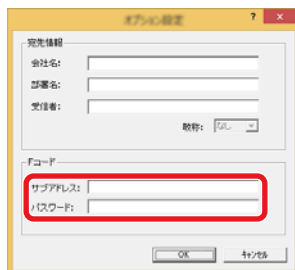
Fコード通信を行うためには、相手機にも同様のFコード通信機能が備わっている必要があります。

1 オプション設定ダイアログボックスを開く

[送信設定]ダイアログボックスの[宛先設定]タブで[オプション設定]ボタンをクリックしてください。



2 相手側のサブアドレスとパスワードの入力をする



- 入力可能文字数: 半角20文字
- 入力可能文字: 0～9、#、*、スペース (先頭のスペースは不可)

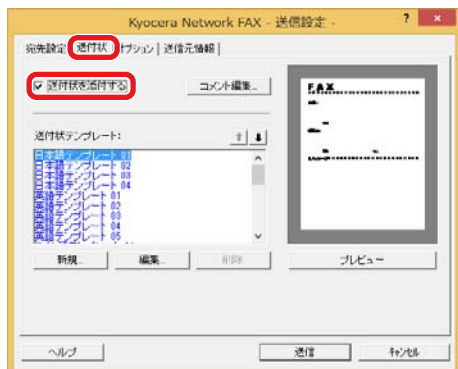
3 [OK]ボタンをクリックする

送信設定ダイアログボックスに戻ります。

送付状を設定する場合

ファクスの1枚目に送付状を付けて送信できます。送付状は標準のテンプレート以外に、オリジナルのテンプレートを作成し使用することもできます。

送付状を付けて送信する場合は、[送付状]タブで[送付状を添付する]チェックボックスにチェックを入れてください。

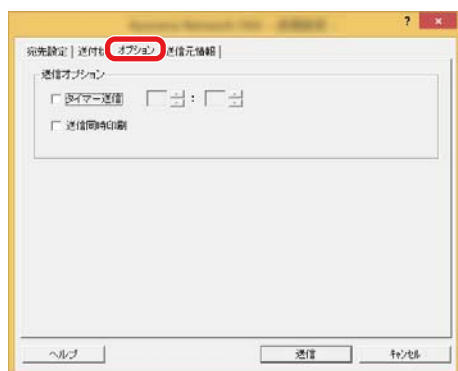


送付状の使用方法は、次を参照してください

➡ [送付状の使用方法 \(6-21\)](#)

オプションを設定する

[オプション]タブをクリックすると「(1)送信オプションタブ」で設定した内容を変更できます。

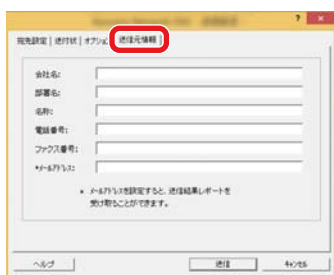


設定の方法は、次を参照してください。

➡ [\(1\)送信オプションタブ \(6-10\)](#)

送信元情報を変更する

[送信元情報] タブをクリックすると「(4)送信元情報タブ」で設定した内容を変更できます。



設定の方法は、次を参照してください。

➡ [\(4\)送信元情報タブ \(6-12\)](#)

送付状の使用法

送付状について

ファクスの1枚目に送付状を付けて送信します。

送付状について

送付状はテンプレートから選択できます。送付状には次のような宛先情報や送信元情報が記載されます。

日本語テンプレート01のサンプル

The image shows a sample of a Japanese fax cover sheet (送付状) with the following fields and labels:

- 1: 宛先: ○○○株式会社 (Destination: ○○○ Co., Ltd.)
- 2: ユーザーサポート (User Support)
- 3: 山手 宛 (Yamate no Kaeru)
- 4: FAX: 0122-4567 (Fax Number)
- 5: 送信元: 高橋 (Sender: Takahashi)
- 6: ○○○株式会社 (Sender Company Name)
- 7: 品質保証管理課 (Quality Assurance Management Section)
- 8: FAX: 9999-9999 (Sender Fax Number)
- 9: TEL: 9999-9999 (Sender Telephone Number)
- 10: *メッセージ (Message)
- 11: お電話になっております。資料をお送りいたします。宜しくお願いいたします。(We are on the phone. We will send you the materials. Thank you for your cooperation.)

番号	項目
1	宛先会社名
2	宛先部署名
3	宛先名称
4	敬称
5	宛先のファクス番号
6	送信元名称
7	送信元会社名
8	送信元部署名
9	送信元ファクス番号
10	送信元電話番号
11	コメント

送付状を付けて送信する

送付状を付けて送信する手順は次のとおりです。

1 送信設定ダイアログボックスを開く

「基本的な送信の方法」の手順1～6を行い、送信設定ダイアログボックスを開きます。

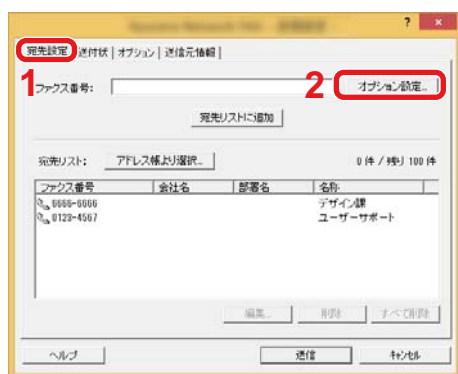
➡ [ドライバーの初期設定をする \(6-9\)](#)

相手先をアドレス帳から選択する場合は、相手先を選択し、手順4に進んでください。

➡ [アドレス帳から送信先を選択する \(6-16\)](#)

2 ファクス番号を入力する

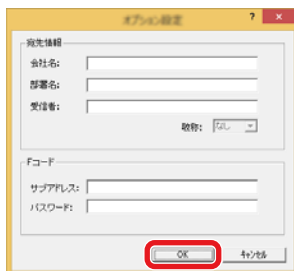
[宛先設定] タブで相手先のファクス番号を入力し、[オプション設定] ボタンをクリックしてください。



項目	詳細
ファクス番号	最大半角64文字まで入力できます。

3 宛先情報を入力する

入力後、[OK] ボタンをクリックしてください。



項目	詳細
会社名	最大32文字まで入力できます。
部署名	最大32文字まで入力できます。
宛先名称	最大32文字まで入力できます。
敬称	なし、様、殿、御中の中から選択できます。

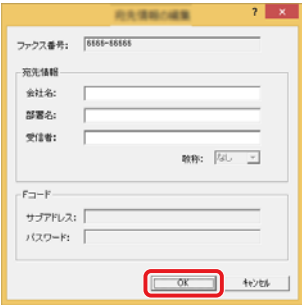


参考

送付状タブの[送付状を添付する]が設定されていない場合、送付状の確認画面が表示されます。送付状を添付するときは、[送付状を添付する]ボタンをクリックしてください。

4 宛先を宛先リストに追加する

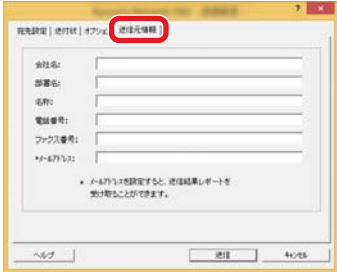
- 1 [宛先リストに追加]ボタンをクリックして、[宛先リスト]に追加してください。
- 2 [宛先リスト]に追加した相手先の宛先情報を変更するときは、変更する相手先を選択して、[編集]をクリックしてください。宛先情報を修正し、[OK]ボタンをクリックしてください。



項目	詳細
ファクス番号	ファクス番号は変更できません。
会社名	最大32文字まで入力できます。
部署名	最大32文字まで入力できます。
宛先名称	最大32文字まで入力できます。
敬称	なし、様、殿、御中の中から選択できます。

- 3 送信元情報を初期設定ダイアログで設定していない場合には、[送信元情報]タブをクリックして、送信元情報を設定してください。

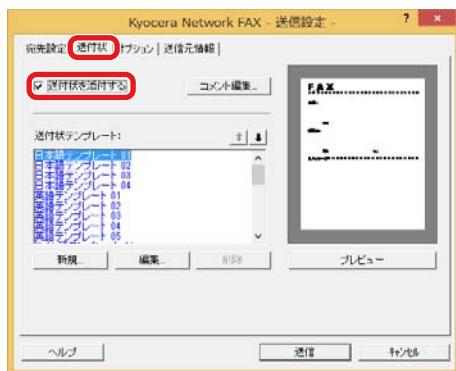
➡ (4)送信元情報タブ (6-12)



項目	詳細
会社名	最大全角32文字(半角64文字)まで入力できます。
部署名	最大全角32文字(半角64文字)まで入力できます。
名称	最大全角16文字(半角32文字)まで入力できます。
電話番号	最大半角20文字(入力可能文字0~9、#、*、-、(、) +、およびスペース)まで入力できます。
ファクス番号	最大半角20文字(入力可能文字0~9、#、*、-、(、) +、およびスペース)まで入力できます。
メールアドレス	最大半角128 文字まで入力できます。 入力可能文字: 記号(!、#、\$、%、&、'、*、+、-、.、/、=、@、[、\、^、_、`、{、}) 英数字(0-9、A-Z、a-z)

5 送付状を添付する

[送付状]タブをクリックし、[送付状を添付する]チェックボックスにチェックを入れてください。



6 添付する送付状を選択する

送付状テンプレートリストから送付状のテンプレートを選択してください。



参考

初期設定で送付状を登録しておけば、送信ごとに送付状を選択する作業を省くことができます。

➡ [送付状の登録\(初期設定\) \(6-26\)](#)

オリジナルの送付状テンプレートを作成することができます。

➡ [送付状テンプレートを新規作成する \(6-28\)](#)

7 送付状の内容を確認する

1 [プレビュー]ボタンをクリックしてください。現在選択しているテンプレートのプレビューを表示します。



別のテンプレートを表示するときは、ダイアログボックス上部のドロップダウンメニューまたは、◀または▶ボタンをクリックしてください。テンプレートの表示倍率もドロップダウンメニューで25～250%の範囲で変更できます。



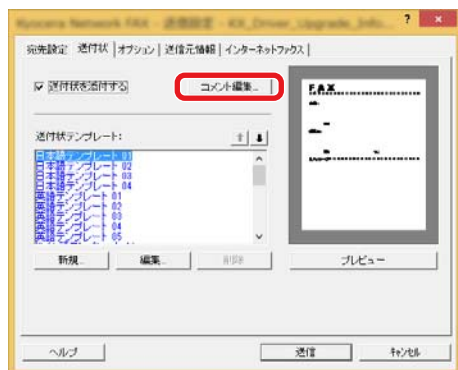
重要

送信する前に必ずプレビュー画面で宛先の名称や会社名などがすべて表示されているか確認してください。宛先名称など、自動的に挿入される情報の文字数が多い場合、枠に入りきらない文字は正しく印刷されません。文字が正しく表示されていない場合は、宛先情報や送信元情報の文字数を減らすか、使用するテンプレートを編集してください。

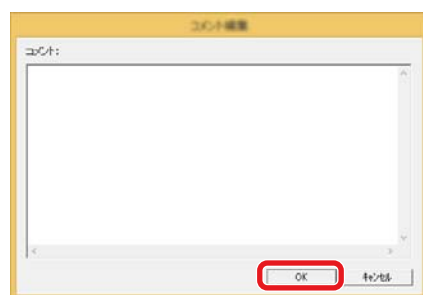
- 2 [閉じる]ボタンをクリックしてください。

8 コメントを編集する

- 1 [コメント編集]ボタンをクリックしてください。



- 2 送付状に記載するコメントを入力して、[OK]ボタンをクリックしてください。



項目	詳細
コメント	全角で最大500文字(半角で最大1,000文字)まで入力できます。

9 送信する

[送信]ボタンをクリックしてください。送信を開始します。

送付状の登録(初期設定)

初期設定で送付状を登録しておけば、送信ごとに送付状を選択する作業を省くことができます。

送付状テンプレートを選択する

初期設定に登録する送信状のテンプレートを選択します。登録方法は次のとおりです。

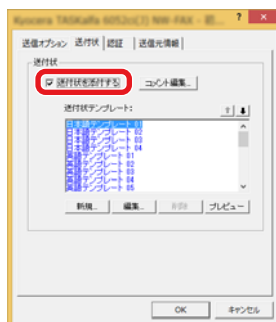
1 初期設定ダイアログボックスを開く

「初期設定ダイアログボックス」の手順を行い、初期設定ダイアログボックスを開きます。

➡ [初期設定ダイアログボックスを開く \(6-10\)](#)

2 送付状を添付する

[送付状] タブをクリックし、[送付状を添付する] チェックボックスにチェックを入れてください。



3 添付する送付状を選択する

送付状テンプレートリストから送付状のテンプレートを選択してください。



参考

オリジナルの送付状テンプレートを作成することができます。

➡ [送付状テンプレートを新規作成する \(6-28\)](#)

4 送付状の内容を確認する

- 1 [プレビュー]ボタンをクリックしてください。現在選択しているテンプレートのプレビューを表示します。

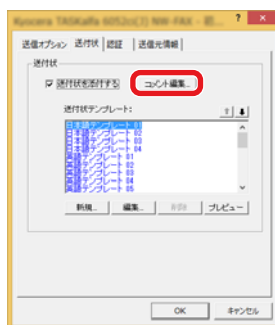


別のテンプレートを表示するときは、ダイアログボックス上部のドロップダウンメニューまたは、◀または▶ボタンをクリックしてください。テンプレートの表示倍率もドロップダウンメニューで25～250%の範囲で変更できます。

- 2 [閉じる]ボタンをクリックしてください。

5 コメントを編集する

- 1 [コメント編集]ボタンをクリックしてください。



- 2 送付状に記載するコメントを入力して、[OK]ボタンをクリックしてください。全角で最大500文字(半角で最大1,000文字)まで入力できます。

6 [OK]ボタンをクリックする

送信元情報を登録する

送付状に記載される送信元情報を登録してください。



参考

登録方法は、次を参照してください。

➡ [\(4\)送信元情報タブ \(6-12\)](#)

送付状テンプレートを新規作成する

オリジナルの送付状テンプレートを作成する場合は、次の手順を行ってください。

1 初期設定ダイアログボックスを開く

「初期設定ダイアログボックス」の手順を行い、初期設定ダイアログボックスを開きます。

➡ [初期設定ダイアログボックスを開く \(6-10\)](#)

2 送付状テンプレートを編集する

- 1 [送付状を添付する]チェックボックスにチェックを入れ、[新規]をクリックしてください。送付状テンプレート編集画面が表示されます。

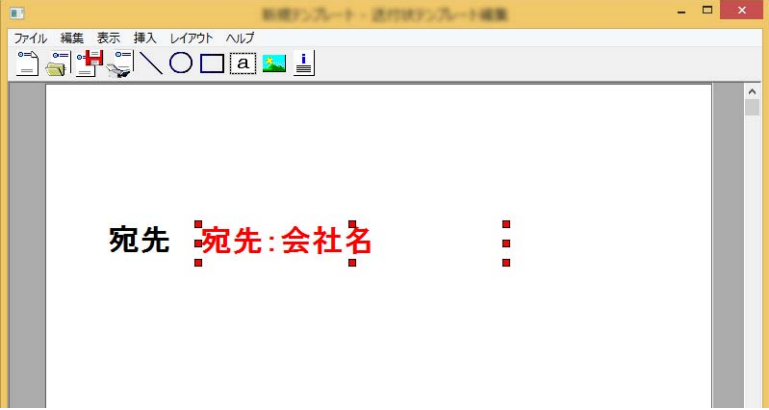
2 文字を入力します。

メニューバーの[挿入]、[テキストボックス]を順にクリックし、テキストボックスを配置して、文字を入力してください。



3 差込枠を配置します。

メニューバーの[挿入]メニューから配置する差込枠を選んでください。



重要

宛先の名称や会社名など、挿入する情報の文字数が多くなると、差込枠内に入りきらずに文字が切れてしまうことがあります。差込枠を配置するときは、挿入する情報が入るように枠の大きさと文字のポイントを調整してください。

参考

差込枠は、ファクス送信時に初期設定や宛先設定で入力された情報が自動的に挿入されます。

次の差込枠が使用できます。必要に応じて配置してください。

メニュー項目		テンプレートの表示	挿入する情報
宛先	会社名	宛先:会社名	宛先情報の会社名
	部署名	宛先:部署名	宛先情報の部署名
	名称	宛先:名称	宛先情報の宛先名称
	アドレス	宛先:アドレス	宛先のファクス番号

メニュー項目		テンプレートの表示	挿入する情報
送信元	会社名	送信元:会社名	送信元情報の会社名
	部署名	送信元:部署名	送信元情報の部署名
	名称	送信元:名称	送信元情報の名称
	FAX番号	送信元:FAX番号	送信元情報のファクス番号
	TEL番号	送信元:電話番号	送信元情報の電話番号
コメント		コメント	送付状タブで入力したコメント

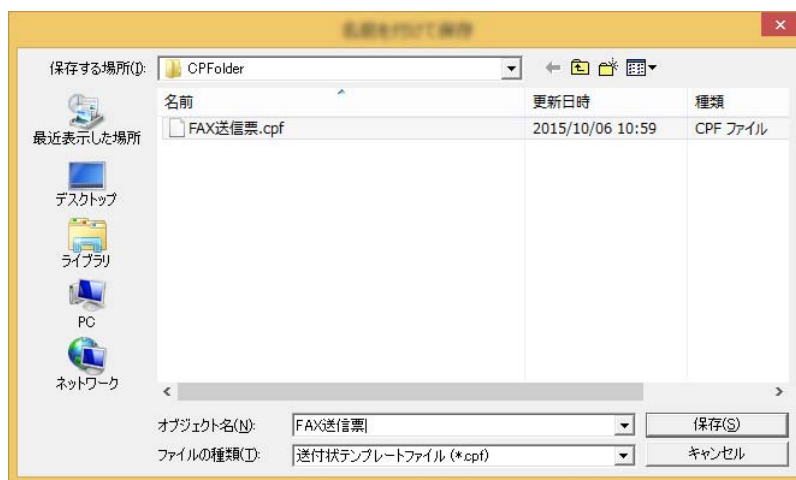
- 4 図形やテキストボックスなどを配置して、送付状を作成してください。



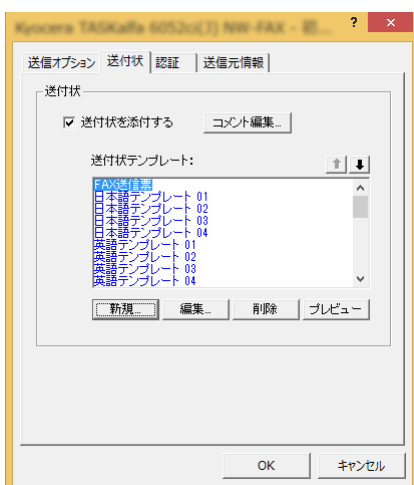
参考

操作方式はヘルプを参照してください。

- 5 メニューバーの[ファイル]、[名前を付けて保存]を順にクリックし、ファイル名を入力して、[保存]をクリックしてください。



- 6 テンプレートの編集画面を閉じてください。
- 7 新しいテンプレートがリストの1番上に登録されテンプレートを選択できるようになります。



Network FAXの送信状況を確認する

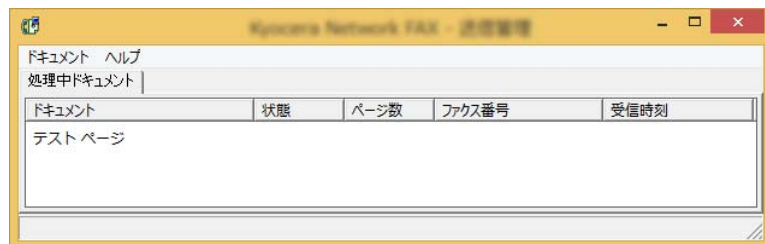
以下の方法で、コンピューターから現在処理中の状況を確認したり、ファクスへのデータの送信を中止させることができます。

データの送信を行うと、タスクバーに送信管理アイコンが表示されます。



1 送信管理のアイコンをダブルクリックする

現在の送信状況をお知らせする送信管理ダイアログボックスが開きます。



ファクスへのデータの送信を中止させるときは、ドキュメントメニューから[キャンセル]を選択してください。

送信管理を終了する

送信管理のアイコンを右クリックし、[終了]を選択してください。



7 ジョブの管理

この章では、次の項目について説明します。

通信結果や登録した内容を確認する	7-2
ファクスジョブの送信/受信履歴を確認する	7-3
履歴画面を表示する	7-3
管理レポートの印刷(結果通知設定)	7-4
送信結果レポートを印刷する	7-4
ネットワークファクス送信時の添付画像	7-4
送信前に中止されたジョブのレポートを印刷する	7-5
宛先の表示形式を変更する	7-5
受信結果レポートを印刷する	7-6
通信管理レポート(ファクス発信レポート/ファクス着信レポート)	7-7
通信管理レポートを印刷する	7-7
通信管理レポートを自動的に印刷する	7-7
ステータスページを印刷する	7-8
ファクスの受信結果をメールで知らせる	7-9
宛先確認画面を表示する	7-10

通信結果や登録した内容を確認する

ファクスの通信結果や登録内容は次の方法で確認できます。

確認方法	表示場所	確認できる内容	確認のタイミング	参照ページ
ファクスジョブの履歴確認	タッチパネル	最新の送/受信およびファクス保存16件の履歴	任意	7-3
送信結果レポート/受信結果レポート	レポートを印刷	直前の送信または受信の結果	送/受信のたびに自動印刷(印刷なし/エラー時のみも選択可)	7-4
通信管理レポート	レポートを印刷	最新の送/受信50件の結果	任意、および送/受信50件ごとに自動印刷(印刷なしも選択可)	7-7
ステータスページ	レポートを印刷	自局ファクス番号、自局名称、回線などの登録状況	任意	7-8
受信結果のメール通知	コンピューター	ファクスの受信	ファクスを受信するとメール通知	7-9

ファクスジョブの送信/受信履歴を確認する

最新の送/受信それぞれ16件までをタッチパネルに表示させ、確認することができます。

参考

部門管理が有効である場合でも、部門コードに関係なく、送信結果、受信結果それぞれ16件が表示されます。
ジョブの履歴確認についてさらに詳しくは、次を参照してください。

➡ [本体の使用説明書](#)

履歴画面を表示する

1 画面を表示する

- 1 [状況確認／ジョブ中止]キー > [ファクスジョブ履歴]
- 2 送信結果を確認するときは[ファクス発信履歴]、受信結果を確認するときは[ファクス着信履歴]を選択します。

2 確認する

- 1 リストから確認したいジョブの[]を選択すると、詳細画面が表示されます。



- 2 終了するときは[閉じる]を選択します。

管理レポートの印刷(結果通知設定)

さまざまな管理レポートを印刷して、通信結果やファクス機能の設定状況などを確認することができます。

送信結果レポートを印刷する

送信するごとにレポートを印刷させて、正常に送信されたかを確認することができます。また、送信結果レポートに送信した画像を印刷できます。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [レポート] > [結果通知設定] > [送信結果レポート] > [ファクス]

2 設定する

- 1 [設定しない](常に印刷しない)、[設定する](常に印刷する)、[エラー時のみ]、または[ジョブごとに指定]を選択します。

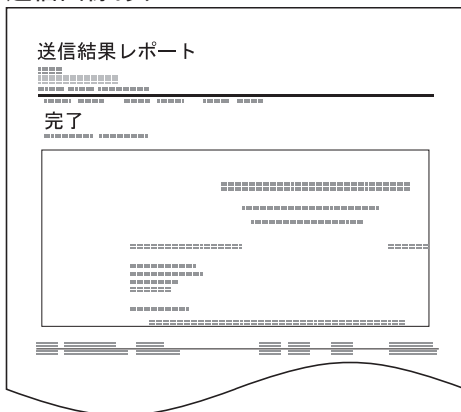


参考

[ジョブごとに指定]を選択したときは、送信時に送信結果レポートを設定することができます。

- 2 [設定する]、[エラー時のみ]、または[ジョブごとに指定]を選択した場合は、送信画像の添付について、[設定しない](送信画像を印刷しない)、[一部を添付](送信画像の一部を等倍で印刷する)、または[全体を添付](送信画像を縮小して全体を印刷する)を選択します。

送信画像あり



送信画像なし



ネットワークファクス送信時の添付画像

ネットワークファクス送信時に、送信結果レポートに添付する画像を[本文]にするか[送付状]にするかを選択します。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [レポート] > [結果通知設定] > [送信結果レポート] > [ネットワークファクス送信時の添付画像]

2 設定する

[本文]または[送付状]を選択します。

送信前に中止されたジョブのレポートを印刷する

送信を開始する前にジョブを中止したときに、送信結果レポートを印刷します。

参考

「送信結果レポート」で「メール/フォルダー」と「ファクス」の両方が[設定しない]に設定されている場合は表示されません。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [レポート] > [結果通知設定] > [送信結果レポート] > [送信前の中止レポート]

2 設定する

[設定しない]または[設定する]を選択します。

宛先の表示形式を変更する

送信結果レポートに表示される宛先の表示形式を設定します。

名前と宛先は、アドレス帳の登録情報を参照し、送信結果レポートに表示されます。

[名前または宛先]を選択すると、アドレス帳に登録された名前(宛先名)または宛先(ファクス番号)を表示します。アドレス帳に名前と宛先の両方が登録されている場合は、名前を優先して表示します。

[名前と宛先]を選択すると、名前(宛先名)と宛先(ファクス番号)の両方を表示します。

例えば、宛先(ファクス番号)を直接入力した場合などは、宛先(ファクス番号)のみ表示します。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [レポート] > [結果通知設定] > [送信結果レポート] > [宛先の表示形式]

2 設定する

[名前または宛先]または[名前と宛先]を選択します。

受信結果レポートを印刷する

受信するごとにレポートを印刷させて、正常に受信できたかを確認することができます。



参考

受信結果レポートの代わりに、受信をメールで通知するように変更できます。

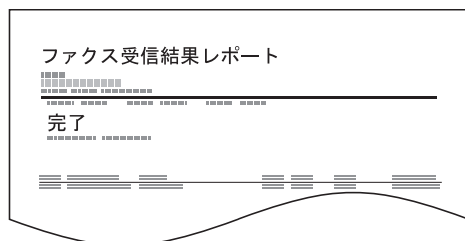
➡ [ファクスの受信結果をメールで知らせる \(7-9\)](#)

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [レポート] > [結果通知設定] > [ファクス受信結果通知] > [ファクス]

2 設定する

[設定しない](常に印刷しない)、[設定する](常に印刷する)または[エラー/Fコード]を選択します。



通信管理レポート(ファクス発信レポート/ファクス着信レポート)

通信管理レポートには、ファクス発信管理レポートとファクス着信管理レポートがあり、それぞれ最新の発信または着信50件の情報を確認できます。自動印刷にすると、発信50件または着信50件ごとに、自動的にレポートが印刷されます。

通信管理レポートを印刷する

最新の発信または着信50件の情報をレポートにして印刷します。

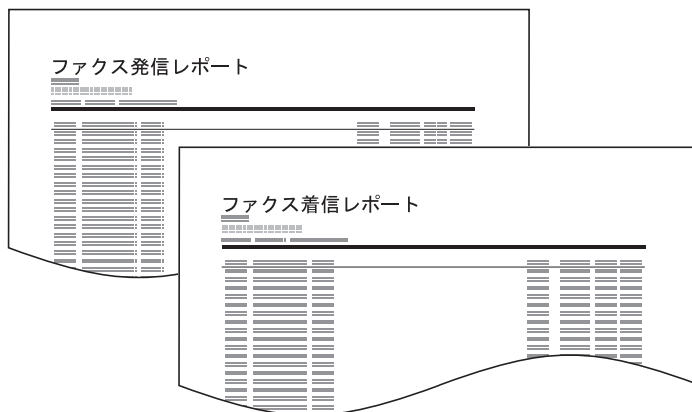
1 画面を表示する

[状況確認/ジョブ中止]キー > [ファクスジョブ履歴]

2 印刷する

1 ファクス発信管理レポートを印刷する場合は[ファクス発信レポート]を、ファクス着信管理レポートを印刷する場合は[ファクス着信レポート]を選択します。

2 [はい]を選択します。
レポートが印刷されます。



参考

表示されているファクスジョブを選択して、[詳細]を選択すると、各ジョブの詳細情報を確認できます。

通信管理レポートを自動的に印刷する

発信50件または着信50件ごとに、自動的に通信管理レポートが印刷されます。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [レポート] > [管理レポート設定] > [ファクス発信レポート]または[ファクス着信レポート]

2 設定する

[設定しない](印刷しない)または[設定する](印刷する)を選択

ステータスページを印刷する

ステータスページには、ユーザーが本機に設定したさまざまな項目が記載されています。ファクス関連では、自局ファクス番号、自局名、回線設定などがあります。必要に応じて印刷してください。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [レポート] > [レポート印刷]

2 印刷する

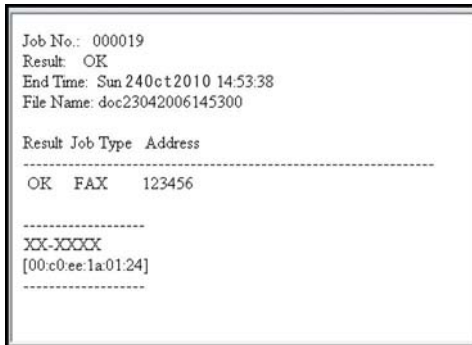
[ステータスページ] > [はい]

ステータスページが印刷されます。



ファクスの受信結果をメールで知らせる

ファクスを受信したときに、受信結果レポートを印刷する代わりに、メールで知らせることができます。



```
Job No.: 000019
Result: OK
End Time: Sun 24 Oct 2010 14:53:38
File Name: doc23042006145300

Result Job Type Address
-----
OK FAX 123456

-----
XX-XXXX
[00:c0:ee:1a:01:24]
-----
```

参考

この設定は、「ファクス受信結果通知」が[設定する]または[エラー/Fコード]であるときに表示されます。

➡ [受信結果レポートを印刷する \(7-6\)](#)

[エラー/Fコード]の場合は、エラーが起こったとき、または受信原稿がFコード受信したときにメール通知されます。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [レポート] > [結果通知設定] > [ファクス受信結果通知] > [受信通知結果方法]

2 宛先を選択する

アドレス帳から選択する

- 1 [メール] > [+] > [アドレス帳]
- 2 アドレス帳から宛先を選択して、[OK]を選択します。

参考

アドレス帳で送信先を選択する手順は次を参照してください。

➡ [アドレス帳から宛先を選ぶ \(3-9\)](#)

メールアドレスは1件しか入力できません。

新規メールアドレスを入力する

- 1 [メール] > [+] > [アドレス入力]
- 2 宛先のアドレスを入力して、[OK]を選択します。
文字の入力方法は、次を参照してください。

➡ [文字の入力方法 \(11-2\)](#)

宛先確認画面を表示する

送信前の宛先確認を[設定する]に設定している場合は、[スタート]キーを押すと、宛先を確認するための宛先確認画面が表示されます。

▶ 本体の使用説明書

宛先確認画面の操作手順は、次のとおりです。

1 全ての送り先を確認する

[✓][へ]を選択して、全ての送り先を確認してください。[🔍]を選択すると、選択した送り先の詳しい情報が参照できます。

参考

必ずすべての送り先をタッチパネルに表示して確認してください。すべての送り先を表示しないと[確認完了]は機能しません。

2 送り先を修正する

送り先を削除する

1 送り先を削除するときは、削除する送り先を選択して、[🗑]を選択します。

2 [はい]を選択します。

送り先が削除されます。

送り先を追加する

送り先を追加するときは、[キャンセル]を選択して元の画面に戻ってください。

3 [確認完了]を選択する

全ての送り先の確認が完了すれば、[確認完了]を選択してください。

4 [スタート]キーを押す

送信が開始されます。

8 ファクスの初期設定[システムメニュー]

この章では、次の項目について説明します。

システムメニューの操作方法	8-2
ファクス初期設定	8-2
システムメニューの項目	8-3
[レポート]	8-5
[カセット/手差しトレイ設定]	8-6
[共通設定]	8-7
[ファクス設定]	8-8
送受信制限	8-14
許可ファクス番号を登録する	8-15
許可ファクス番号を変更する	8-16
許可ファクス番号を削除する	8-16
拒否ファクス番号を登録する	8-17
拒否ファクス番号を変更する	8-17
拒否ファクス番号を削除する	8-17
許可ID番号を登録する	8-18
許可ID番号を変更する	8-18
許可ID番号を削除する	8-18
送信制限を設定する	8-19
受信制限を設定する	8-19
番号不明受信の処理方法を設定する	8-19
使用禁止時間を設定する	8-20
管理機能について	8-22

システムメニューの操作方法

システムメニューのファクスの設定について説明します。

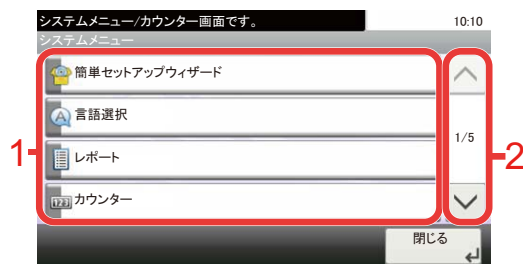
ファクス初期設定

システムメニューの操作方法是、次のとおりです。

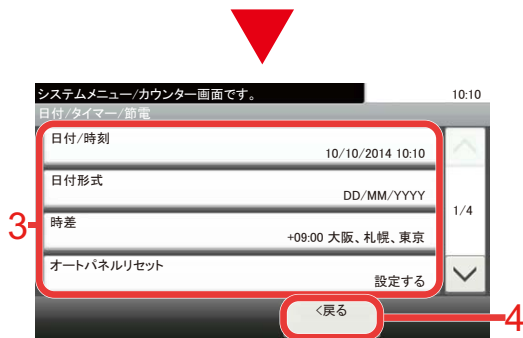
1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キーを選択します。

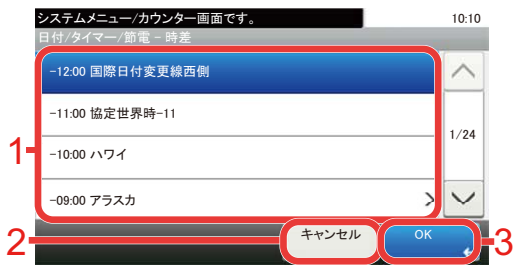
2 選択する



- 1 システムメニューの項目を表示します。
- 2 画面をスクロールして、表示されていない項目を表示します。
- 3 設定項目を表示します。
各項目のキーを選択して設定画面を表示します。
- 4 前の画面に戻ります。



3 設定する



- 1 設定項目を選択すると、設定が確定します。
- 2 設定を変更せずに前の画面に戻ります。
- 3 設定を確定して終了します。



参考

管理者権限が必要な機能を設定する場合、管理者の権限でログインする必要があります。ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

機能初期値を変更した場合、各機能の画面で[リセット]キーを選択すると設定がすぐに切り替わります。

次のシステムメニューの項目を参照して、必要な設定を行ってください。

システムメニューの項目

システムメニューのファクス機能の設定項目は次のとおりです。



参考

ファクス以外の設定項目については、次を参照してください。

➡ 本体の使用説明書

設定	説明	参照ページ
簡単セットアップウィザード	ウィザード形式で本機の設定を行います。	—
ファクスのセットアップ	ウィザード形式でファクスの設定を行います。	2-7
レポート	本機の設定や状態を確認するため、各種レポートを印刷します。また、送信結果レポートの印刷のしかたを選択できます。	8-5
カセット/手差しトレイ設定	カセットと手差しトレイの用紙サイズ・用紙種類について設定します。	8-6
共通設定	本機全般について設定します。	8-7

文書ボックス	Fコードボックスに関する設定を行います。 Fコードボックスの詳細は、次を参照してください。 ➡ Fコードボックスとは (5-18)	—
	ポーリングボックスに関する設定を行います。 ポーリングボックスの詳細は、次を参照してください。 ➡ ポーリング通信とは (5-26)	—
	ファクスメモリー受信ボックスに関する設定を行います。 ファクスメモリー受信ボックスの詳細は、次を参照してください。 ➡ ファクスメモリー受信ボックス (5-31)	8-8
ファクス	ファクス機能に関する設定を行います。	8-8
アドレス帳/ワンタッチ	アドレス帳とワンタッチキーの設定を行います。 アドレス帳の詳細は、次を参照してください。 ➡ アドレス帳に新しい宛先を登録する (2-10) ワンタッチキーの詳細は、次を参照してください。 ➡ ワンタッチキーの登録 (2-15)	—
日付/タイマー/節電	日付と時刻の設定をします。日付と時刻の詳細は、次を参照してください。 ➡ 日付と時刻を設定する (2-9) 受信したファクスの印刷を禁止する時間帯を設定します。使用禁止時間の詳細は、次を参照してください。 ➡ 使用禁止時間を設定する (8-20)	—

[レポート]

本機の設定や状態を確認するため、各種レポートを印刷します。また、送信結果レポートの印刷のしかたを選択できます。

[レポート印刷]

項目	説明
ステータスページ	ステータスページには、ユーザーが本機に設定したさまざまな項目が記載されています。ファクス関連では、自局ファクス番号、自局名、回線設定などがあります。必要に応じて印刷してください。 ➡ ステータスページを印刷する (7-8)
Fコードボックスリスト	Fコードボックスのリストを印刷します。 ➡ Fコードボックスリストを印刷する (5-22)
ファクスリスト(見出し)	アドレス帳に登録している宛先のリストを出力できます。リストは、宛先の見出し順とアドレス番号順から選択できます。 ➡ アドレス帳リストを出力する (2-14)
ファクスリスト(番号)	アドレス帳に登録している宛先のリストを出力できます。リストは、宛先の見出し順とアドレス番号順から選択できます。 ➡ アドレス帳リストを出力する (2-14)
ファクス発信レポート	最新の発信50件の情報をレポートにして印刷します。
ファクス着信レポート	最新の着信50件の情報をレポートにして印刷します。

[管理レポート設定]

項目	説明
ファクス発信レポート	発信50件ごとに、自動的に通信管理レポートが印刷されます。 設定値: 設定しない、設定する ➡ 通信管理レポート(ファクス発信レポート/ファクス着信レポート) (7-7)
ファクス着信レポート	着信50件ごとに、自動的に通信管理レポートが印刷されます。 設定値: 設定しない、設定する ➡ 通信管理レポート(ファクス発信レポート/ファクス着信レポート) (7-7)

[結果通知設定]

項目	説明
送信結果レポート	送信が終了したときに、送信結果レポートを自動的に印刷します。 ➡ 送信結果レポートを印刷する (7-4)
ファクス受信結果通知	ファクスを受信したときに、受信結果レポートを印刷できます。 ➡ 受信結果レポートを印刷する (7-6)
終了通知設定	ジョブ終了通知に画像を添付することができます。 設定値: 画像を添付しない、画像を添付する

[カセット/手差しトレイ設定]

カセットの用紙サイズ・用紙種類について設定します。

[カセット1(～3)]

項目	説明
用紙サイズ	カセット1、オプションのペーパーフィーダー(カセット2～3)に補給する用紙のサイズを設定します。  重要 ファクス受信で利用できる用紙サイズは、次の設定にしてください。 [自動] > [A系/B系]
用紙種類	カセット1、オプションのペーパーフィーダー(カセット2～3)に補給する用紙の種類を設定します。 設定値: 普通紙、薄紙、再生紙、プレプリント ^{*1} 、ボンド紙、カラー紙、パンチ済み紙 ^{*1} 、レターヘッド ^{*1} 、封筒 ^{*1} 、厚紙、上質紙、カスタム1～8

^{*1} ファクス受信に使用できません。

[手差しトレイ]

手差しトレイからはファクス受信できません。

[共通設定]

本機全般について設定します。

[音設定]

項目	説明
ブザー	本機の操作中に鳴る報知音について設定します。
正常終了音	ジョブの処理が正常に終了したときに鳴る音です。 設定値: 使用しない、使用する、ファクス受信時のみ
ファクススピーカー音量	本機のスピーカー音のボリュームを調整できます。 スピーカー音量は[オンフック]を選択して電話回線を接続したときに、内蔵スピーカーから聞こえる音量です。 設定値: [1] (小)、[2]、[3] (中)、[4]、[5] (大)、[0] (消音)
ファクスモニター音量	本機のモニター音のボリュームを調整できます。 モニター音量はメモリー送信などで[オンフック]を選択せずに電話回線を接続したときに、内蔵スピーカーから聞こえる音量です。 設定値: [1] (小)、[2]、[3] (中)、[4]、[5] (大)、[0] (消音)

[機能初期値]

項目	説明
ファクス送信解像度	原稿を読み込むときの解像度の初期値を設定します。 設定値: 400×400 dpi ウルトラファイン、200×400 dpi スーパーファイン、200×200 dpi ファイン、200×100 dpi ノーマル
連続読み込み(ファクス)	連続読み込みの初期値を設定します。 設定値: 設定しない、設定する

[排紙先]



参考

オプションのフィニッシャーを装着している場合に表示されます。

項目	説明
排紙先	ファクスを受信したときの印刷用紙の排紙先を設定します。 設定値 ジョブセパレーター装着時 - 内部トレイ: 本体の内部トレイに排紙します。 - ジョブセパレータートレイ: 内部ジョブセパレーターに排紙します。 フィニッシャー装着時 - ジョブセパレータートレイ: 内部ジョブセパレーターに排紙します。 - フィニッシャートレイ: フィニッシャーのトレイに排紙します。

[状況/履歴の表示]

項目	説明
ファクス通信履歴の表示	状況/履歴の表示を設定します。 設定値: すべて表示、表示しない

[機能キーの使用]

項目	説明
ファクスキー	操作パネルの[ファクス]キーのそれぞれを有効にするかどうかを設定します。 設定値: 無効にする、有効にする

[電源オフ時の確認]

項目	説明
電源オフ時の確認	電源オフ時に確認メッセージを表示するかどうかの設定をします。 設定値: 設定しない、設定する

[文書ボックス]

ファクスメモリー受信ボックスに関する設定を行います。

[ファクスメモリー受信ボックス]

[システムメニュー/カウンター]キー > [文書ボックス] > [ファクスメモリー受信ボックス]

項目	説明
ファクスメモリー受信	ファクスメモリー受信ボックスを使用して、受信したファクスをいったん保存するかどうかの設定をします。 設定値: 使用しない、使用する

[ファクス設定]

ファクス機能に関する設定を行います。

[送受信共通設定]

項目	説明
暗号鍵登録	暗号通信で使用する暗号鍵を登録します。 ▶ 暗号通信 (5-33)
ファクスリモート診断	本機で問題が発生したときにサービス実施店等に連絡をいただくと、弊社サービスセンターのコンピューターから電話回線を介して本機にアクセスし、その状況や問題点などを確認することができます。  参考 リモート診断機能を使用するときは、あらかじめサービス実施店と契約の上、決められたIDを本機に登録する必要があります。詳しくは弊社サービス実施店またはお買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。 設定値: 設定する、設定しない
リモート診断ID	リモート診断を設定するを選択した場合は、あらかじめ指定されたIDを入力してください。 設定値: 0000 ~ 9999

[送信設定]

項目	説明
自局名登録	発信元記録に印刷する発信元の名前を登録します。
自局名登録(フリガナ)	相手先に通知するフリガナを登録します。 この項目は簡単設定に含まれています。 ▶ 簡単セットアップウィザードを使って設定する (2-7)
自局ファクスID	自局ファクスID を登録します。 ▶ 簡単セットアップウィザードを使って設定する (2-7)  参考 自局ファクスID は送受信制限で使用します。 ▶ 送受信制限 (8-14)
自局ファクス番号	発信元記録に印刷する発信元の自局ファクス番号を登録します。 登録されている場合は、現在の登録番号が表示されます。 この項目は簡単設定に含まれています。 ▶ 簡単セットアップウィザードを使って設定する (2-7)
発信元記録	送信したファクスに印刷される発信元記録の印刷位置を設定します。 発信元記録とは、相手先で受信したファクスに印刷されるこちら側(発信元)の情報のことで、送信日時や送信ページ数、名前、ファクス番号などがあります。本機では、発信元記録を受信側で印刷させるかどうかを選択することができます。印刷させる場合の位置も、送信ページ画像の内側、外側を選択できます。 設定値: 設定しない、原稿外側、原稿内側  参考 通常、発信元記録には自局名称が印刷されますが、部門管理が有効であるときに部門コードを入力して送信を行った場合は、部門名称が印刷されます。 この項目は簡単設定に含まれています。 ▶ 簡単セットアップウィザードを使って設定する (2-7)
部門名の使用	自局名に部門名を使用するかどうかを設定します。 設定値: 設定しない、設定する
回線種類	契約している電話回線の種類に合わせて選択してください。この選択を誤ると、ファクスの送信ができませんのでご注意ください。 設定値: プッシュ回線(DTMF)、ダイヤル回線(10PPS)、ダイヤル回線(20PPS) この項目は簡単設定に含まれています。 ▶ 簡単セットアップウィザードを使って設定する (2-7)
リダイヤル回数	リダイヤルする回数を変更できます。 設定値: 0～14回 この項目は簡単設定に含まれています。 ▶ 簡単セットアップウィザードを使って設定する (2-7)
ECM送信	ECM送信を行うかどうかを設定します。 ECMはITU-T(国際電気通信連合)で定められた誤り再送方式の通信です。ECM機能を持つファクス間の通信では、送信したデータに誤りがないことを確認しながら通信しますので、電話回線の雑音などによる画像の乱れを防いで通信することができます。 設定値: 設定しない、設定する  参考 電話回線の雑音が多い場合は、[設定しない]を選択したときに比べて通信時間が若干長くなることがあります。

項目	説明
送信開始速度	送信開始速度を設定します。 通信状態が悪いとファクスを正しく送信できないことがあります。そのときは、送信開始速度を低く設定してください。 設定値: 9600bps、14400bps、33600bps  参考 通常は設定値を変更しないで使用してください。

[受信設定]

項目	説明
用紙種類	ファクスが印刷されるときに使用する用紙を、用紙の種類で限定できます。 設定値: 全用紙種類、普通紙、薄紙、再生紙、ボンド紙、カラー紙、厚紙、上質紙、カスタム1～8 ➡ [用紙種類] (5-9)
縮小受信	受信サイズが用紙サイズよりも大きい場合、縮小して印刷できます。 設定値: 使用しない、使用する ➡ [縮小受信] (5-9)
受信日時記録	受信日時記録は、ファクスが印刷されるときに、受信した日時、相手先の情報、ページ数を本機側で付加し、各ページの先頭に印刷する機能です。時差がある地域から送られてきた原稿を、いつこちらが受信したか確認できて便利です。 設定値: 設定しない、設定する ➡ [受信日時記録] (5-10)
両面印刷	複数ページの受信データが、すべて同じ幅であるとき、受信データと同じ幅の用紙に両面で印刷します。 設定値: 設定しない、設定する ➡ [両面印刷] (5-10)
2in1印刷	A5サイズで複数ページの原稿を受信したときに、2ページをA4の用紙1枚にまとめて印刷します。 設定値: 設定しない、設定する ➡ [2in1印刷] (5-10)
一括印刷	受信した原稿が複数枚あるときに、すべてのページの受信が完了してから一括で出力します。 設定値: 設定しない、設定する ➡ [一括印刷] (5-10)
ベル回数(普通)	受信方式がファクス専用自動受信の場合に、相手先からの呼び出しに応答するまでのベル回数を、必要に応じて変更することができます。 設定値: 1～15
ベル回数(留守番電話)	受信方式がファクス/留守番電話自動切替受信の場合に、相手先からの呼び出しに応答するまでのベル回数を、必要に応じて変更することができます。 設定値: 1～15
ベル回数 (ファクス/電話切替)	受信方式がファクス/電話自動切替受信の場合に、相手先からの呼び出しに応答するまでのベル回数を、必要に応じて変更することができます。 設定値: 0～15
受信設定	本機の受信方式を設定します。 設定値: 自動(普通)、自動(ファクス/電話)、自動(留守番電話)、手動 ➡ ファクス受信 (4-1) ➡ 手動受信する (4-4)
リモート切り替え ダイヤル	接続された電話機からの操作で、ファクスの受信を開始させることができます。 設定値: 00～99(2桁) ➡ リモートで切り替える (9-10)
Fネット無鳴動受信	電気通信事業社が提供するファクス通信網(Fネット)に接続してファクス通信をする場合に設定します。 設定値: 設定しない、設定する ➡ [Fネット無鳴動受信] (5-11)

項目		説明
ダイヤルイン		電気通信事業社のダイヤルインサービスを利用する場合に設定します。 設定値: 設定しない、設定する 設定するを選択した場合は、電話番号として使用する番号(4桁)とファクス番号として使用する番号(4桁)を登録してください。 ➡ [ダイヤルイン] (5-11)
	ダイヤルイン 電話番号	ダイヤルインを設定するを選択した場合に、電話番号として使用する番号(4桁)を登録してください。 設定値: 0000～9999
	ファクス番号	ダイヤルインを設定するを選択した場合に、ファクス番号として使用する番号(4桁)を登録してください。 設定値: 0000～9999
暗号受信		暗号通信で受信を設定します。 設定値: 設定しない、設定する 設定するを選択した場合は、暗号鍵を選択してください。 ➡ 暗号通信 (5-33)
ナンバーディスプレイ		本機はナンバーディスプレイ表示に対応していないため、ナンバーディスプレイサービスはご利用いただけません。また受信が正常に行えないことがあります。一時的な回避方法として、[契約している]を設定すると、受信できる場合があります。 設定値: 契約していない、契約している  参考 本機能の設定にかかわらず、相手先の番号は表示されません。 この項目は簡単設定に含まれています。 ➡ 簡単セットアップウィザードを使って設定する (2-7)
ECM受信		ECM受信を行うかどうかを設定します。 ECMはITU-T(国際電気通信連合)で定められた誤り再送方式の通信です。ECM機能を持つファクス間の通信では、送信したデータに誤りがないことを確認しながら通信しますので、電話回線の雑音などによる画像の乱れを防いで通信することができます。 設定値: 設定しない、設定する  参考 電話回線の雑音が多い場合は、[設定しない]を選択したときに比べて通信時間が若干長くなる場合があります。
受信開始速度		受信開始速度を変更します。 通信状態が悪いとファクスを正しく受信できないことがあります。そのときは、受信開始速度を低く設定してください。 設定値: 9600bps、14400bps、33600bps  参考 通常は設定値を変更しないで使用してください。

[通信制限設定]

通信条件を満たすときだけ送/受信できるように設定します。

➡ [送受信制限 \(8-14\)](#)

[転送設定]

ファクスを受信したとき、受信画像を他のファクスやコンピューターに転送したり、印刷したりできます。

➡ [メモリー転送 \(5-12\)](#)

[新規宛先の入力(ファクス)]

項目	説明
新規宛先の入力(ファクス)	宛先の直接入力を許可するかどうかを設定します。[禁止する]に設定すると宛先の直接入力できません。 設定値 : 許可する、禁止する

送受信制限

通信条件を満たすときだけ送/受信を可能にする機能です。この機能を使うと、通信する相手先を限定することができます。

具体的には、あらかじめ通信条件(許可ファクス番号/許可ID番号)を登録し、送受信制限を設定しておきます。送/受信時は、この機能についての特別な操作の必要はなく、通常の操作を行います。そして、実際に送/受信が開始されたとき、通信条件を満たす送/受信は正常に行われますが、条件を満たさない送/受信はエラーとなります。また、受信制限を[拒否リスト]に設定すると、拒否ファクス番号に登録した相手先と自局ファクス番号を登録していない相手先からの受信を拒否することができます。(自局ファクス番号を登録していない相手先からの受信を許可するか、しないかは、「番号不明受信の処理」で選択することができます。)

➡ 番号不明受信の処理方法を設定する (8-19)



参考

送受信制限は、下記の前提条件、通信成立条件、および受信拒否条件をよくお読みになり、送信や受信を可能にする相手先とあらかじめよく打ち合わせた上で行うようにしてください。

	前提条件	通信成立条件
送信制限	- 許可ファクス番号または許可ID 番号を登録する。^{*1} ➡ 許可ファクス番号を登録する (8-15) ➡ 許可ID番号を登録する (8-18) - 通信制限設定で、送信制限を[許可リスト+アドレス帳]に設定する。 ➡ 送信制限を設定する (8-19) - 相手先で自局ファクス番号または自局ファクスIDを登録する。	- 相手先の自局ファクス番号と本機に登録されている許可ファクス番号が一致する。 - 相手先の自局ファクスIDと本機に登録されている許可ID番号が一致する。 - アドレス帳、ワンタッチキーを使ってダイヤルした場合、ダイヤルした番号の下4桁と相手先の自局ファクス番号の下4桁が一致する。(手動送信時を除く)
受信制限	- 許可ファクス番号または許可ID 番号を登録する。^{*2} ➡ 許可ファクス番号を登録する (8-15) ➡ 許可ID番号を登録する (8-18) - 通信制限設定で、受信制限を[許可リスト+アドレス帳]に設定する。 ➡ 受信制限を設定する (8-19) - 相手先で自局ファクス番号または自局ファクスIDを登録する。	- 相手先の自局ファクス番号と本機に登録されている許可ファクス番号が一致する。 - 相手先の自局ファクスIDと本機に登録されている許可ID番号が一致する。 - 相手先の自局ファクス番号の下4桁と一致するファクス番号が、本機のアドレス帳に登録されている。

*1 許可ファクス番号と許可ID番号の両方が未登録の場合は、送信制限しません。

*2 許可ファクス番号と許可ID番号の両方が未登録の場合は、受信制限しません。

	前提条件	受信拒否条件
受信拒否	- 拒否ファクス番号を登録する。^{*1} ➡ 拒否ファクス番号を登録する (8-17) - 受信制限設定で、受信制限を[拒否リスト]に設定する。 ➡ 受信制限を設定する (8-19)	- 相手先が自局ファクス番号を登録していない。 - 相手先の自局ファクス番号と本機に登録されている拒否ファクス番号が一致する。

*1 拒否ファクス番号を登録していない場合、自局ファクス番号(実際の回線番号ではなく、ファクスの自局登録情報を指します。)を登録していない相手先のみ拒否します。

許可ファクス番号を登録する



最大25件の許可ファクス番号を登録することができます。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [通信制限設定] > [通信許可番号リスト]

2 許可ファクス番号を追加する

- 1 [＋]を選択します。
- 2 テンキーを使って許可ファクス番号(20桁まで)を入力します。



[ポーズ] を選択すると、番号の間にポーズ(-)が入力されます。

[スペース] を選択すると、半角スペースが入力されます。

[<] または[>] を選択すると、カーソルが移動します。

[バックスペース] を選択すると、カーソルの前の一文字が削除されます。

- 3 [OK]を選択します。

3 その他の許可ファクス番号を登録するときは手順2の1～3を繰り返してください。

許可ファクス番号を変更する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [通信制限設定] > [通信許可番号リスト]

2 変更する

- 1 変更する許可ファクス番号の[



参考

番号の入力方法は、次を参照してください。

▶ [許可ファクス番号を登録する \(8-15\)](#)

- 2 [OK] > [はい]
登録が変更されます。

許可ファクス番号を削除する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [通信制限設定] > [通信許可番号リスト]

2 削除する

- 1 削除する許可ファクス番号を選択し、[- 2 [はい]を選択します。
削除されます。

拒否ファクス番号を登録する



参考

最大25個の拒否ファクス番号を登録することができます。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [通信制限設定] > [通信拒否番号リスト]

2 拒否ファクス番号を追加する

- 1 [＋]を選択します。
- 2 テンキーを使って拒否ファクス番号(20桁まで)を入力します。



参考

[ポーズ] を選択すると、番号の間にポーズ(-)が入力されます。

[スペース] を選択すると、半角スペースが入力されます。

[<] または[>] を選択すると、カーソルが移動します。

[バックスペース] を選択すると、カーソルの前の一文字が削除されます。

- 3 [OK]を選択します。

3 その他の拒否ファクス番号を登録するときは手順2の1～3を繰り返してください。

拒否ファクス番号を変更する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [通信制限設定] > [通信拒否番号リスト]

2 変更する

- 1 変更する拒否ファクス番号の[- 2 番号を入力しなおしてください。



参考

番号の入力方法は、次を参照してください。

➡ [拒否ファクス番号を登録する \(8-17\)](#)

- 3 [OK] > [はい]
登録が変更されます。

拒否ファクス番号を削除する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [通信制限設定] > [通信拒否番号リスト]

2 削除する

- 1 削除する拒否ファクス番号を選択し、[

- 2 [はい]を選択します。
削除されます。

許可ID番号を登録する



参考

最大10個の許可ID番号を登録することができます。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [通信制限設定] > [通信許可IDリスト]

2 許可ID番号を追加する

- 1 [＋]を選択します。
- 2 [＋][－]または、テンキーを使って許可ID番号(0000～9999)を入力します。
- 3 [OK]を選択します。

3 その他の許可ID番号を登録するときは手順2の1～3を繰り返してください。

許可ID番号を変更する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [通信制限設定] > [通信許可IDリスト]

2 変更する

- 1 変更する許可ID番号の[- 2 番号を入力しなおしてください。



参考

番号の入力方法は、次を参照してください。

➡ [許可ID番号を登録する \(8-18\)](#)

- 3 [OK] > [はい]
登録が変更されます。

許可ID番号を削除する

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [通信制限設定] > [通信許可IDリスト]

2 削除する

- 1 削除する許可ID番号を選択し、[- 2 [はい]を選択します。
削除されます。

送信制限を設定する

送信する相手先を、許可ファクス番号と許可ID番号に登録されている相手先、およびアドレス帳に登録されている相手先だけに制限できます。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [通信制限設定] > [送信制限]

2 設定する

送信制限を行わない場合は、[制限しない]を選択します。

許可ファクス番号と許可ID番号に登録されている相手先、およびアドレス帳に登録されている相手先だけに制限するときは、[許可リスト+アドレス帳]を選択します。

受信制限を設定する

受信する相手先を、許可ファクス番号と許可ID番号に登録されている相手先、およびアドレス帳に登録されている相手先だけに制限できます。また、受信制限を[拒否リスト]に設定すると、拒否ファクス番号に登録した相手先と自局ファクス番号に登録していない相手先からの受信を拒否することができます。(自局ファクス番号に登録していない相手先からの受信を許可するか、しないかは、「番号不明受信の処理」で選択することができます。)

➡ [番号不明受信の処理方法を設定する \(8-19\)](#)

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [通信制限設定] > [受信制限]

2 設定する

受信制限を行わない場合

[制限しない]

許可ファクス番号と許可ID番号に登録されている相手先、およびアドレス帳に登録されている相手先だけに制限する場合

[許可リスト+アドレス帳]

拒否ファクス番号に登録した相手先からの受信を拒否する場合

[拒否リスト]

番号不明受信の処理方法を設定する

受信制限が[拒否リスト]に設定されているとき、ファクス番号を通知してこない相手先からの受信を許可するか、拒否するか設定できます。ファクス番号を通知してこない相手先から、受信制限を変更する場合は次の手順で行ってください。

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [ファクス] > [通信制限設定] > [番号不明受信の処理]

2 設定する

受信を許可する場合

[許可する]

受信を拒否する場合

[拒否する]

使用禁止時間を設定する

受信したファクスの印刷を禁止する時間帯を設定します。

重要

使用禁止時間を設定すると、禁止時間中はファクスの印刷以外にも、コピー印刷、プリンター印刷、USB メモリーからの印刷など、すべての印刷が禁止されます。

禁止時間中に受信したファクス受信や印刷ジョブは、使用禁止時間の終了後、または使用禁止時間を一時解除したときに印刷されます。

参考

管理者権限が必要な機能を設定する場合、管理者の権限でログインする必要があります。

ログインユーザー名とログインパスワードの工場出荷時の値は下記が設定されています。

ログインユーザー名

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

ログインパスワード

TASKalfa 2510i:2500、TASKalfa 2520i:2500

TASKalfa 2460ci:2400、TASKalfa 2470ci:2400

1 画面を表示する

[システムメニュー/カウンター]キー > [日付/タイマー/節電] > [使用禁止時間]

2 設定する

使用禁止時刻の設定

1 [設定する] > [使用禁止時間]

2 開始時刻を入力します。

3 [次へ>]

4 終了時刻を入力します。

参考

開始時刻と終了時刻を同じ時刻に設定すると、終日の設定になります。

5 [OK] > [OK]

解除コードの設定

禁止時間中に一時的に使用するための解除コードを設定します。

1 [解除コード]を選択します。

2 テンキーで、解除コード(0000~9999)を入力します。

3 [OK] > [OK]

参考

禁止時間中に一時的に使用する場合は、使用禁止時間のメッセージ画面で解除コードを入力し、[ログイン]を選択してください。

管理機能について

管理機能は、本機を使用できるユーザーを特定するユーザー管理と部門別の使用量を管理する部門管理に分かれます。ユーザー管理ではユーザー名とパスワードによって100人までのユーザーを管理できます。部門管理では部門コードを入力してから送信や通信予約を行うことによって、100部門までのファクスの使用状況を部門ごとに把握することができます。各管理方法については、次を参照してください。

➡ 本体の使用説明書

ユーザー管理または部門管理が有効になっている場合、ログインが必要になります。

ログインのしかたについては、次を参照してください。

➡ [本機へのログイン/ログアウト \(3-13\)](#)

ユーザー管理の内容

項目	内容
ユーザーの登録	ユーザーの権限、ユーザー名やパスワードなどを登録します。
ユーザー管理の有効/無効	ユーザー管理を有効にします。



参考

➡ 本体の使用説明書

部門管理の内容

項目	内容
部門の登録	部門名や部門コード(最大8桁)を登録します。
部門管理の有効/無効	部門管理を有効にします。
ファクス送信制限	ファクスの送信枚数を制限します。使用の禁止や制限をなくすこともできます。
使用枚数の集計	全部門または部門別に、ファクスの送信ページ数やファクスの送信に使用した時間を参照しリセットできます。
部門レポートの印刷	全部門で集計された印刷や送信のページ数を印刷できます。



参考

➡ 本体の使用説明書

部門管理の対象となる通信形態

- 通常送信
- タイマー送信
- 同報送信
- Fコード送信
- 暗号送信
- 本機より相手先へダイヤルした場合の手動送信
- ポーリング受信
- Network FAX送信

使用機能の制限

部門管理を有効にすると、次の操作を行うときには部門コードの入力が必要となります。

- 通常送信
- タイマー送信
- 同報送信
- Fコード送信
- Fコードボックスからの印刷
- 暗号送信
- 本機より相手先へダイヤルした場合の手動送信
- ポーリング受信
- Network FAX送信



重要

「接続された電話で電話をかける」、「Fコードボックスの履歴確認」、「通信管理レポート印刷」は、部門コードや管理者番号の入力なしでも行うことができます。

部門管理が有効であるとき、一括送信機能は部門コードが同一のものについてのみ働きます。部門コードが異なる通信は一括送信されません。

通常、発信元記録には自局名称が印刷されますが、部門管理が有効であるときに部門コードを入力して送信を行った場合は、部門名または自局名称から選択したものが印刷されるように設定できます。

➡ [部門名の使用 \(8-9\)](#)

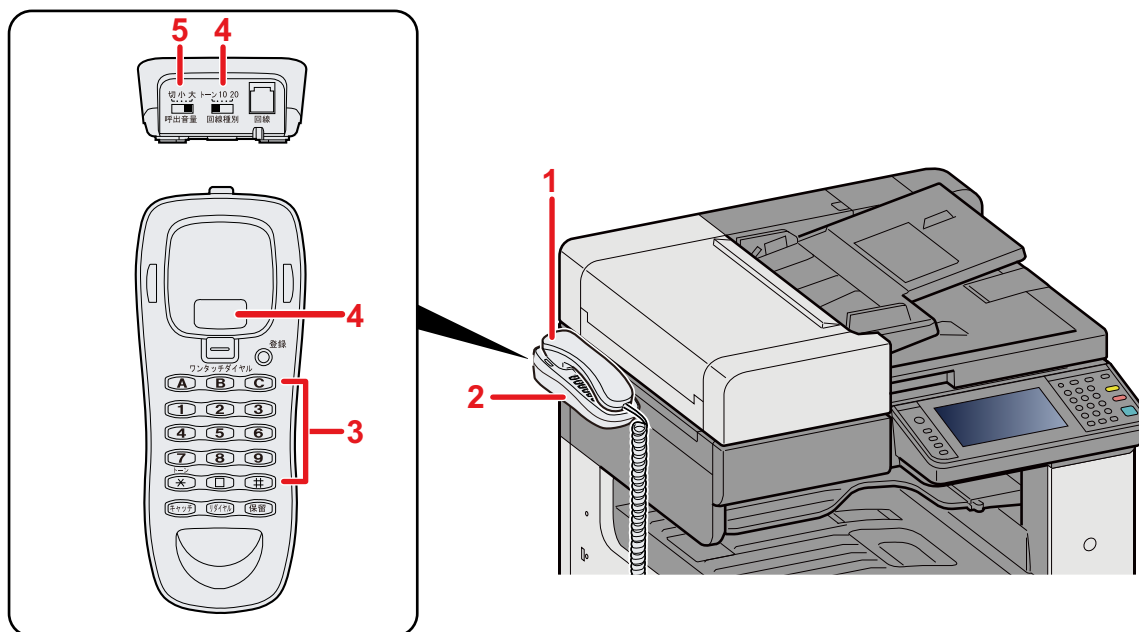
9 オプションについて

この章では、ファクスキットで利用できるオプション機器を紹介します。

ハンドセット	9-2
電話のかけかた	9-3
外付け電話機を使用する	9-4
ファクス/電話を自動切替で受信する	9-4
ファクス/留守番電話を自動切替で受信する	9-6
手動で送信する	9-8
手動で受信する	9-9
リモートで切り替える	9-10

ハンドセット

本機で音声通話ができるようになります。また、手動での送/受信の際にも使用します。



1 ハンドセット...会話や手動送/受信を行うときに使用します。

2 ハンドセット台...ハンドセットを置く台です。

3 ダイヤルボタン...相手先の電話番号を入力します。

4 フックボタン...回線を切るときやダイヤルしなおすときに押してください。

5 回線種別切替スイッチ...電話回線の種類を切り替えます。契約している電話回線の種別に合わせて次の3種類から選択してください。

- 20:ダイヤル(パルス)回線の20PPS
- 10:ダイヤル(パルス)回線の10PPS
- トーン:プッシュ(トーン)回線

参考

回線種別を誤って選択すると、電話をかけたり、原稿の送信ができなくなりますのでご注意ください。

6 呼び出し音量調節スイッチ...呼び出し音の音量を切り替えます。

- 大:音量大
- 小:音量小
- 切:呼び出し音は鳴りません

電話のかけかた

電話の受けかたは、次を参照してください。

➡ [手動受信する \(4-4\)](#)

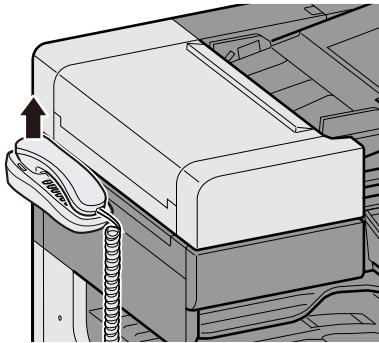
1 ファクスの送/受信が行われていないことを確認します。



参考

処理中ランプが消灯しているのを確認してください。

2 ハンドセットを上げます。



参考

ハンドセットを上げずに、タッチパネルの[オンフック]を選択することも可能です。このとき、音声は本体側のスピーカーから聞こえます。

3 ハンドセットのダイヤルボタンまたは本体操作パネルのテンキーを使って、相手先の番号を入力します。

4 相手先が応答したら会話をします。



参考

手順2で[オンフック]を選択したときは、相手の声が本体側のスピーカーから聞こえます。ハンドセットを上げてください。相手と話ができます。[オンフック]を選択し、本体操作パネルのテンキー、ワンタッチキーまたはアドレス帳などで相手先の番号を入力した場合は、相手の声が聞こえてからハンドセットを上げてください。

5 会話が終わったら、ハンドセットをハンドセット台に置きます。

外付け電話機を使用する

本機にオプションのハンドセットまたは電話機(市販品)を接続していろいろな機能を使用することができます。

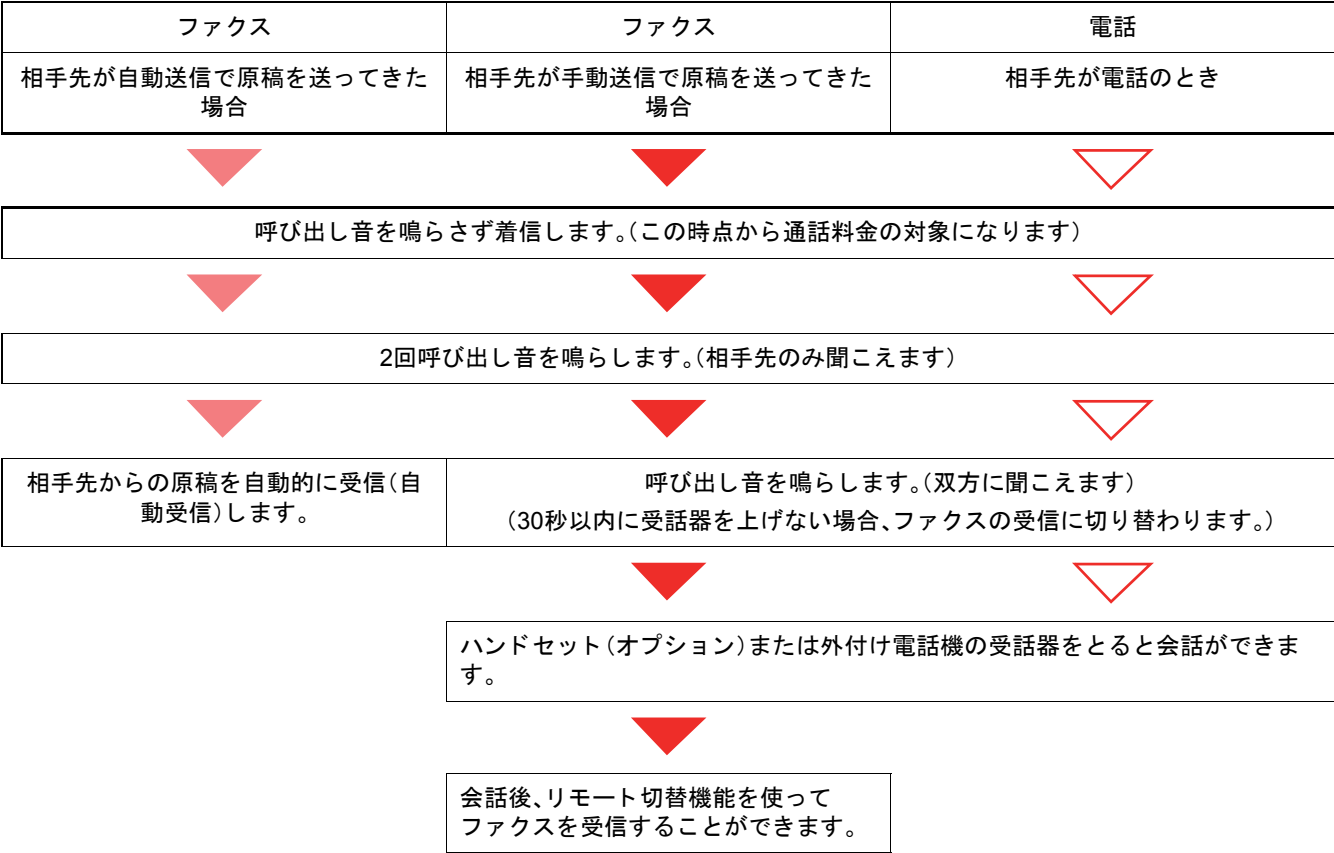
ファクス/電話を自動切替で受信する

1回線で電話とファクスの両方を使用するときに便利な受信方法です。ファクス原稿が送られてくれば自動的に受信し、相手先が電話のときは本機に接続された電話機(市販品)で呼び出し音が鳴り、応答を促します。

 **重要**

ファクス/電話自動切替受信するためには、本機にオプションのハンドセットまたは電話機(市販品)を接続することが必要です。
電話機で呼び出し音が設定回数分鳴った後は、受信側が応答しない場合でも発信側に電話料金がかかります。

受信の流れ



 **参考**

会話終了後にリモート切替機能でファクスを受信することもできます。
➡ [リモートで切り替える \(9-10\)](#)

準備事項

ファクス受信方法を[自動(ファクス/電話)]に設定する。

➡ [\[ファクス設定\] \(8-8\)](#)

1 相手先からの呼び出し



まず接続された電話機(またはオプションのハンドセット)で呼び出し音が鳴ります。ただし、呼び出し音が鳴る回数(ファクス/電話自動切替用)が「0」に設定されている場合は呼び出し音が鳴りません。

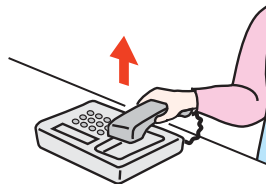
参考

呼び出し音が鳴る回数は変更することができます。

➡ [ベル回数\(ファクス/電話切替\)\(8-11\)](#)

2 応答します

相手先が電話のとき



- 1 本機に接続された電話機(市販品)で呼び出し音が鳴り、応答を促します。30秒間以内に電話の受話器を上げてください。

参考

30秒間以内に受話器を上げない場合、ファクスの受信に切り替わります。

- 2 会話をしてください。

参考

会話終了後にリモート切替機能でファクスを受信することもできます。

➡ [リモートで切り替える\(9-10\)](#)

相手先がファクスのとき

ファクスの受信を開始します。

ファクス/留守番電話を自動切替で受信する

留守番電話機とファクスを併用するときには便利な方法です。ファクス原稿が送られてくれば自動的に受信し、相手先が電話のときは接続された留守番電話機の機能に従うため、不在の場合には相手先からのメッセージを留守番電話に残すことができます。

 重要

ファクス/留守番電話自動切替受信機能の使用時、相手先からの電話がつながってから、1 分間経過するまでの間に30 秒以上無音状態が続くと、本機の無音検出機能が働き、ファクス受信に切り替わります。

 参考

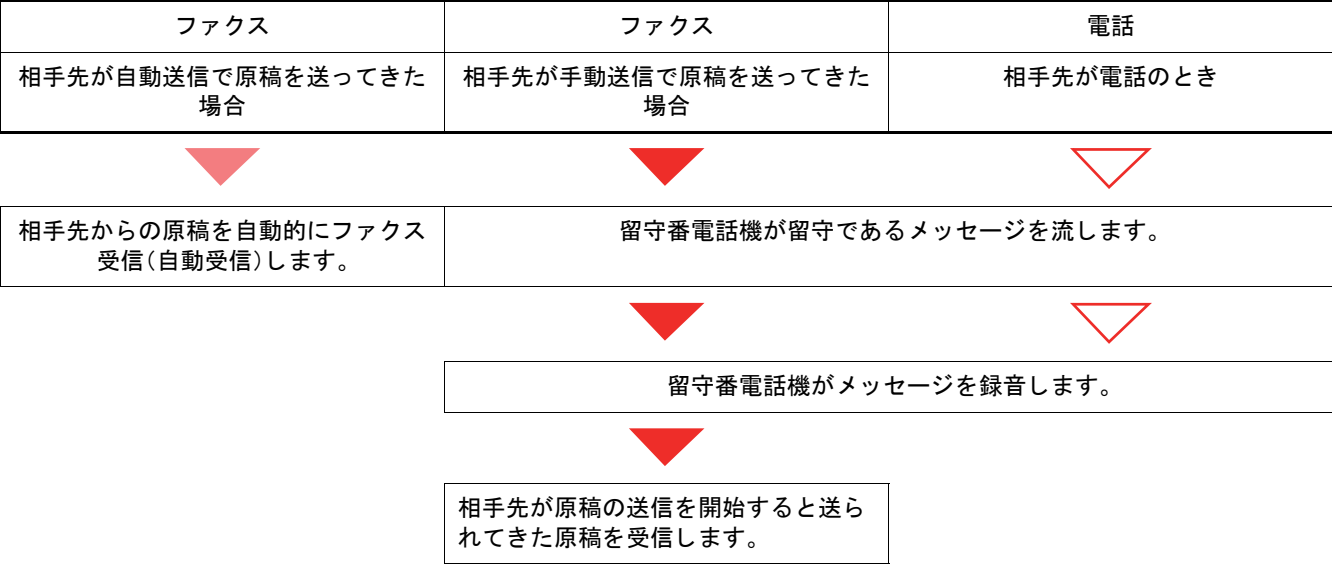
ファクス/留守番電話自動切替受信をするためには、本機に留守番機能付電話機(市販品)を接続することが必要です。

応答メッセージ等は、各留守番電話機の使用説明書を参照してください。

本機の呼び出しベルの回数は、留守番電話の呼び出しベルの回数よりも多くしてください。

➡ [ベル回数\(留守番電話\) \(8-11\)](#)

受信の流れ



準備事項

ファクス受信方法を[自動(留守番電話)]に設定する。

➡ [\[ファクス設定\] \(8-8\)](#)

1 相手先からの呼び出し



接続された電話機で設定された回数の呼び出し音が鳴ります。

参考

電話機で呼び出し音が鳴っているときに受話器を上げた場合は、手動受信のときと同じ状態になります。

➡ [手動で受信する \(9-9\)](#)

2 留守番電話が応答します

相手先は電話だが不在のとき

留守番電話機から応答メッセージが流れ、用件の録音を開始します。

参考

録音中に無音状態が30秒間続くとファクスの受信に切り替わります。

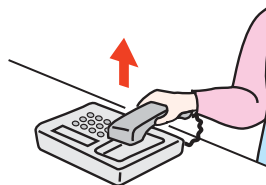
相手先がファクスのとき

ファクスの受信を開始します。

手動で送信する

原稿を送信する前に相手と電話で話したいときや、相手先機がファクスへの切り替えを必要とするときは、この方法で送信してください。

- 1 原稿をセットする
- 2 相手先にダイヤルする



オプションのハンドセットまたは電話の受話器を上げて、相手先にダイヤルしてください。

- 3 相手先のファクスとつながったかどうか確認する

相手先がファクスの場合は、「ピー」という音が聞こえます。相手先の話し声が聞こえた場合は、そのまま会話することができます。

- 4 ホーム画面の[ファクス] > [オンフック]

- 5 [スタート]キーを押す

送信を開始します。

- 6 受話器を戻す

送信が開始したら（操作パネルの[処理中]ランプが点滅したら）、ハンドセットまたは受話器を元に戻してください。

手動で受信する

相手先との回線がつながったことを確認してから受信できます。



参考

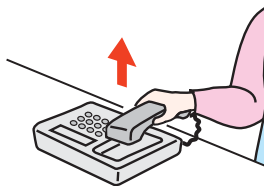
手動受信を使用するには、受信方法を[手動受信]に設定する必要があります。

▶ [\[受信設定\] \(8-11\)](#)

1 相手先からの呼び出し

相手先から着信すると、接続された電話で呼び出し音が鳴ります。

2 受話器を上げる



オプションのハンドセットまたは電話の受話器を上げてください。

3 相手先のファクスとつながったかどうか確認する

相手先がファクスの場合は、「ポーッポーッ」という音が聞こえます。相手先の話し声が聞こえた場合は、そのまま会話することができます。

4 ホーム画面の[ファクス] > [オンフック] > [手動受信]

受信を開始します。



参考

トーン信号を送出できる電話機を使用している場合は、リモート切替機能で電話機から受信を開始させることができます。

▶ [リモート切り替えダイヤル \(8-11\)](#)

5 受話器を戻す

受信が開始したら（操作パネルの[処理中]ランプが点滅したら）、ハンドセットまたは受話器を元に戻してください。

リモートで切り替える

接続された電話機からの操作で、ファクスの受信を開始させることができます。本機と電話機(市販品)を離れた場所に設置して併用するときに便利な機能です。

参考

リモート切替を行うためには、トーン信号を送出できる電話機(市販品)を本機に接続することが必要です。ただし、トーン信号を発信することができる電話機でも、種類によってはこの機能をうまく使用できない場合があります。詳しくは弊社代理店またはお買い上げ店までご連絡ください。

工場出荷時では、リモート切替ダイヤル(2桁)は55です。

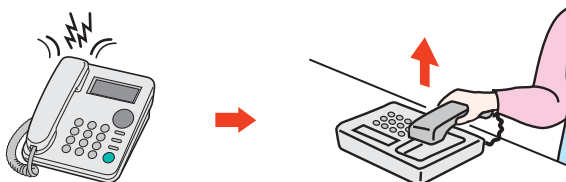
リモート切替ダイヤルの番号を変更できます。

➡ [リモート切り替えダイヤル\(8-11\)](#)

リモート切替ダイヤルの使いかた

接続された電話機からの操作でファクスの受信を開始させるときは、次の操作を行ってください。

1 接続された電話機で呼び出し音が鳴る



電話機の受話器を上げてください。

参考

呼び出し音が鳴る回数は変更することができます。

➡ [\[ファクス設定\]\(8-8\)](#)

2 リモート切替ダイヤルの番号(2桁)を押す

受話器からファクスの発信音が聞こえたら、2桁のリモート切替ダイヤルを電話機側のダイヤルボタンで入力してください。回線は本体側に切り替わり、受信が開始されます。

10 こんなときには

この章では、次の項目について説明します。

送/受信中のランプ表示について	10-2
アテンションランプが点灯または点滅したとき	10-2
こんな表示が出たら	10-3
エラーコード一覧表	10-5
一般的なトラブル	10-8
よくあるお問い合わせ	10-9

送/受信中のランプ表示について

ファクスの送/ 受信中は、[処理中]ランプ、[メモリー]ランプで状況がわかります。

- ファクスの送/ 受信中は[処理中]ランプが点滅します。
- メモリー送信などで、原稿がメモリーに記憶されるときに、[メモリー]ランプが点滅します。
- タイマー送信で、メモリーに記憶されている原稿がある場合、[メモリー]ランプが点灯します。



アテンションランプが点灯または点滅したとき

[アテンション]ランプが点灯または点滅しているときは、[状況確認/ジョブ中止]キーを選択してエラー情報を確認してください。[状況確認/ジョブ中止]キーを選択してもエラー情報が表示されない場合や、[アテンション]ランプが一時的に点滅(1.5秒間)したときは、次のことをお調べください。

現象	確認事項	処置方法	参照ページ
ファクスが送信できない。	モジュラーコードが正しく接続されていますか。	モジュラーコードの接続を確認してください。	—
	ファクスの許可ID番号または許可ファクス番号が正しく設定されていますか。	設定を確認してください。	8-14
	ファクスの通信エラーが発生していませんか。	送信/受信結果レポートや通信管理レポートのエラーコードを確認し、適切な処置を行ってください。	10-5
	宛先のファクスと回線がつながりません。	もう一度送信してください。	—
	宛先のファクスが応答しません。	もう一度送信してください。	—
	ファクスのトーン信号が検出できません。	サービス担当者にご連絡ください。	—

こんな表示が出たら

異常が発生するとタッチパネルにメッセージが表示されます。次の表を参照して対処してください。



参考

通信エラーが発生したときは、メッセージとともに送信/受信結果レポートが印刷されます。

送信/受信結果レポートに表記されるエラーコードを確認して、エラーコード一覧表で内容を参照してください。

➡ [エラーコード一覧表 \(10-5\)](#)

送信/受信結果レポートの印刷については、次を参照してください。

➡ [送信結果レポートを印刷する \(7-4\)](#)

➡ [受信結果レポートを印刷する \(7-6\)](#)

エラーコードは通信管理レポートでも確認することができます。

➡ [通信管理レポート\(ファクス発信レポート/ファクス着信レポート\) \(7-7\)](#)

メッセージ	確認事項	処置	参照ページ
カセット○に以下の用紙を補給してください。	表示されている給紙元の用紙がなくなっていますか？	用紙を補給してください。 他の給紙元の用紙で印刷する場合は、[用紙選択]を選択してください。選択した用紙で印刷する場合は、[継続]を選択してください。	—
このジョブは実行できません。	—	ユーザー認可または部門管理で使用が禁止されているため、このジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	—
ボックスの容量制限を超えました	画面に[終了]が表示されていませんか？	指定されたボックスがいっぱいのため保存できません。このジョブは中止されます。[終了]を選択してください。 ボックスの原稿を印刷または削除してから再度操作してください。	—
故障が発生しました。	—	本機内部で異常が発生しています。画面に表示されているエラーコードを書きとめて、サービス担当者にご連絡ください。	—
送信ジョブの予約制限数を超えました。	—	タイマー送信をセットできる件数を超えています。[終了]を選択してください。このジョブは中止されます。 タイマー送信が実行されるのを待つか、タイマー送信をキャンセルしてから、再度操作してください。	5-6
付属電話機の受話器がはずれています。	—	受話器を戻してください。	—
部門管理の制限を超えました。	部門管理で設定されている制限ページ数を超えていませんか？	部門管理で設定されている制限ページ数に達したため、これ以上印刷できません。 このジョブは中止されます。[終了]を選択してください。	本体使用説明書参照

ファクスポーリング受信に使用できる宛先は1件のみです。宛先を再設定してください。	ポーリング受信の相手先を複数指定していませんか？	一度に指摘できるポーリング受信の相手先は1件です。宛先を設定しなおしてください。	—
部門管理で使用が禁止されています。	—	部門管理でファクス送信が使用禁止になっているため、これ以上の操作ができません。[終了]を選択してください。 このジョブは中止されます。部門管理の設定を確認してください。	本体使用説明書参照

エラーコード一覧表

通信エラーが発生すると、送信/受信結果レポートや通信管理レポートには、次のようなエラーコードが記録されます。



参考

通信速度の設定によっては、エラーコードの「U」は「E」で表示されます。

エラーコード	原因および処置方法
話し中	設定されている回数の自動リダイヤルが行われたにもかかわらず、相手先と回線がつながりません。もう一度送信してください。
キャンセル	送信中に、送信の中止操作を行ったため、送信が中止されました。 受信中に、受信の中止操作を行ったため、受信が中止されました。
E00300 U00300	送信中に相手機側（受信側）で用紙がなくなっています。相手先を確認してください。
E00430 - E00462 U00430 - U00462	相手先からの受信の際に、回線はつながったが相手機側（送信側）と通信機能に不一致があったため、受信が中断されました。
E00601 - E00690 U00601 - U00690	本機のトラブルにより、通信が中断されました。もう一度送信または受信してください。
E00700 U00700	相手機側のトラブルにより、通信が中断されました。相手先を確認してください。
E00800 - E00811 U00800 - U00811	正しく送信できなかったページがあります。もう一度送信してください。 それでも解決しない場合は、送信開始速度を下げてもう一度送信してください。 参考 通信エラーが頻繁に発生する場合は、システムメニューで送信開始速度の初期設定を変更してください。
E00900 - E00910 U00900 - U00910	正しく受信できなかったページがあります。もう一度受信してください。 参考 通信エラーが頻繁に発生する場合は、システムメニューで受信開始速度の初期値を変更してください。
E01000 - E01097 U01000 - U01097	送信中に通信エラーが発生しました。もう一度送信してください。 それでも解決しない場合は、送信開始速度を下げてもう一度送信してください。 参考 通信エラーが頻繁に発生する場合は、システムメニューで送信開始速度の初期設定を変更してください。
E01100 - E01196 U01100 - U01196	受信中に通信エラーが発生しました。もう一度受信してください。 参考 通信エラーが頻繁に発生する場合は、システムメニューで受信開始速度の初期値を変更してください。
U01400	回線設定でプッシュ回線を選択していたときに登録された#を含むダイヤルをダイヤル（パルス）回線に変更した状態で使用したため、該当する相手先との通信ができませんでした。
E01500	高速の送信速度で送信時、通信エラーになりました。もう一度送信してください。 それでも解決しない場合は、送信開始速度を下げてもう一度送信してください。 参考 通信エラーが頻繁に発生する場合は、システムメニューで送信開始速度の初期設定を変更してください。

エラーコード	原因および処置方法
E01600	高速の送信速度で受信時、通信エラーになりました。相手先の送信速度を下げた状態で、もう一度送信してもらってください。  参考 通信エラーが頻繁に発生する場合は、システムメニューで受信開始速度の初期値を変更してください。
E01700 - E01720	高速の送信速度で送信時、通信エラーになりました。もう一度送信してください。それでも解決しない場合は、送信開始速度を下げてもう一度送信してください。  参考 通信エラーが頻繁に発生する場合は、システムメニューで送信開始速度の初期設定を変更してください。
E01721	高速の送信速度で送信時、通信エラーになりました。相手先に使用した送信速度がないかもしれません。送信開始速度を下げて、もう一度送信してください。
E01800 - E01820	高速の通信速度で受信時、通信エラーになりました。相手先の送信速度を下げた状態でもう一度送信してもらうか、システムメニューで本機の実受信開始速度の設定値を下げてください。
E01821	高速の通信速度で受信時、通信エラーになりました。通信で使用した通信速度が、本機では対応していない可能性があります。 相手先の送信速度を下げた状態でもう一度送信してもらうか、システムメニューで本機の実受信開始速度の設定値を下げてください。
E03000 U03000	ポーリング受信を行ったところ、相手先のファクスに原稿がセットされていなかったため、受信できませんでした。相手先を確認してください。
E03200 U03200	相手機が弊社機である場合に、Fコード掲示板受信を行ったところ、指定したFコード親展ボックスには何も入っていませんでした。相手先を確認してください。
E03300 U03300	次の1と2のどちらかが原因でエラーとなりました。相手先を確認してください。 1 相手機が弊社機である場合に、ポーリング受信を行ったところ、相手先で送受信制限が設定されており、パスワードが不一致であったため通信が中断されました。 2 相手機が弊社機である場合に、Fコード掲示板受信を行ったところ、相手先で送受信制限が設定されており、パスワードが不一致であったため通信が中断されました。
E03400 U03400	ポーリング受信を行ったところ、相手先で入力されたパスワードと受信側の自局ファクスIDが一致しなかったため受信が中断されました。相手先を確認してください。
E03500 U03500	相手機が弊社機である場合に、Fコード掲示板受信を行ったところ、指定したFコード親展ボックスが相手機に登録されていませんでした。相手先を確認してください。
E03600 U03600	相手機が弊社機である場合に、Fコード掲示板受信を行ったところ、指定したFコードパスワードが一致しなかったため受信が中断されました。相手先を確認してください。
E03700 U03700	Fコード掲示板受信を行ったところ、相手機にFコード掲示板通信機能がありませんでした。または、どの原稿受渡しボックス(Fコード親展ボックス)にも原稿が入っていませんでした。
E04000 U04000	相手機が弊社機である場合に、Fコード親展ボックスに原稿を送信しようとしたところ、指定したボックスが相手機に登録されていませんでした。または、転送条件のサブアドレスが一致しませんでした。
E04100 U04100	相手先の原稿受渡しボックス(Fコード親展ボックス)に原稿を送信しようとしたところ、相手機に対応する機能がありませんでした。または、転送条件のサブアドレスが一致しませんでした。
E04200 U04200	暗号送信を行ったところ、指定したボックスが登録されていなかったため、送信が中断されました。

エラーコード	原因および処置方法
E04300 U04300	暗号送信を行ったところ、相手先のファクスには暗号通信機能がなかったため、送信が中断されました。
E04400 U04400	暗号送信を行ったところ、暗号鍵が不一致であったため、送信が中断されました。
E04500 U04500	暗号受信を行ったところ、暗号鍵が不一致であったため、受信が中断されました。
E05100 U05100	送信を行ったところ、本機に送信制限が設定されており、そのために必要な通信条件を満足しなかったため、送信が中断されました。相手先を確認してください。
E05200 U05200	相手先から原稿が送信されてきましたが、本機に受信制限が設定されており、そのために必要な通信条件を満足しなかったため、受信が中断されました。
E05300 U05300	送信を行ったところ、相手先側で受信制限が設定されており、そのために必要な通信条件を満足しなかったため、相手先側から受信を拒否されました。相手先を確認してください。
E14000 U14000	ファクスボックスへの受信が行われましたが、本機のメモリーオーバーにより受信が中断されました。メモリー内に蓄積(記憶)されている原稿を印刷しメモリーに空きを作るか、ファクスボックスでの受信を中止してください。
E14100 U14100	相手機が弊社機である場合に、相手先ファクスボックスまたはFコードボックスへの送信を行ったところ、相手機のメモリーオーバーにより送信が中断されました。相手先を確認してください。
E19000 U19000	代行受信が行われましたが、本機のメモリーオーバーにより受信が中断されました。メモリー内に蓄積(記憶)されている原稿を印刷しメモリーに空きを作ってから、もう一度受信してください。
E19100 U19100	送信を行ったところ、相手先のファクスのメモリーオーバーにより送信が中断されました。相手先を確認してください。
E19300 U19300	送信中にデータに異常が発生し、送信が中断されました。もう一度送信してください。

一般的なトラブル

トラブルが発生した場合は、次のことを調べてください。それでもなお異常が見られるときには、サービス実施店またはお買い上げ店までご連絡ください。

トラブル内容	確認事項	処置方法	参照ページ
送信できない。	モジュラコードが正しく接続されていますか。	モジュラコードを正しく接続してください。	—
	「送信エラーです。」が表示されていませんか。	エラーの原因を除去した上で、もう一度送信してください。	10-5
	送信制限をしていませんか。	送信制限を解除してください。	8-14
	IP電話回線を使用していないですか。	一時的な回避方法として、送信設定の[送信開始速度]の設定値を変更すると、送信できる場合があります。	8-10
暗号通信ができない。	送信側/受信側でそれぞれ登録されている内容は正しいですか。	送信側、受信側の両方で登録内容をもう一度確認してください。	5-33
リモート切替機能が使用できない。	ダイヤル(パルス)回線を使用していないですか。	電話機によってはボタンなどでトーン信号を送出できる場合があります。電話機の使用説明書を参照してください。	—
	リモート切替番号は正しいですか。	登録内容を確認してください。(工場出荷時: 55)	8-11
	リモート切替番号を早く押していませんか。	リモート切替番号をゆっくり2回押してください。	—
受信したが、印刷されない。	メモリー転送がセットされていませんか。	転送先を確認してください。	5-12
受信できない。	モジュラコードが正しく接続されていますか。	モジュラコードを正しく接続してください。	—
	「通信エラーが発生しました。」が表示されていませんか。	エラーの原因を除去した上で、もう一度相手先から送信してもらってください。	10-5
	受信制限をしていませんか。	受信制限を解除してください。	8-14
	IP電話回線を使用していないですか。	一時的な回避方法として、受信設定の[受信開始速度]の設定値を変更すると、受信できる場合があります。	8-12
	ナンバーディスプレイサービスを契約していませんか？	本機はナンバーディスプレイ表示に対応していないため、ナンバーディスプレイサービスはご利用いただけません。一時的な回避方法として、[契約している]を設定すると、受信できる場合があります。	8-12
代行受信できない。	メモリーがいっぱいになっていませんか。	メモリーに空きができてから受信を行うか、メモリー内に空きを作ってください。	—
2in1受信ができない。	2 in 1受信と両面受信を両方とも設定していませんか。	両面受信を解除してください。	5-10

トラブル内容	確認事項	処置方法	参照ページ
Fコード送信ができない。	相手機はFコード機能を有したファクスですか。	相手機が同様のFコード機能を有していない場合、Fコード通信を行えません。	—
	入力したサブアドレスやFコードパスワードは、相手機で登録されているサブアドレスやFコードパスワードと一致していますか。	入力内容に誤りがないときは、相手先に確認してください。本機で受信する場合、Fコードパスワードは使用しません。	5-24
	相手機のメモリーがいっぱいになっていませんか。	相手先に確認してください。	—
メモリー転送ができない。	メモリー転送が[設定する]になっていますか。	メモリー転送の設定を確認してください。	5-12
Fコードボックスから印刷できない。	ボックスパスワードを設定していますか。	正しいボックスパスワードを入力してください。	5-18
ポーリング受信ができない。	相手機でポーリング送信が正しく操作されていますか。	相手先に確認してください。	—
Fコード中継同報通信ができない。	メモリーがいっぱいになっていませんか。	メモリーに空きができてから送信するか、メモリー内に空きを作ってください。	—
Fコード掲示板通信ができない。	相手機は同様のFコード掲示板通信機能を有したファクスですか。	相手機が同様のFコード掲示板通信機能を有していない場合、Fコード掲示板受信はできません。相手先に確認してください。	—
	入力したFコードサブアドレスやFコードパスワードは正しいですか。	入力内容に誤りがない場合は、相手先に確認してください。	—

よくあるお問い合わせ

ご購入後の本製品について、よくあるお問い合わせをご紹介します。

質問		回答
1	ファクス送信時に、済スタンプを付けたい。	本製品は済スタンプ機能に対応していません。
2	ファクスをカラーで送受信したい。	ファクスは送受信画像が白黒になります。

11 付録

この章では、次の項目について説明します。

文字の入力方法	11-2
入力方式を選択する	11-2
入力文字を選択する	11-3
入力画面の見かた	11-3
かな入力とローマ字入力での文字変換	11-7
区点コードでの文字変換	11-10
仕様	11-12
出荷時設定値一覧表	11-14
受信サイズと印刷用紙優先順位表	11-17
等倍優先	11-17
縮小優先	11-20

文字の入力方法

名前などを入力するときに使用する、タッチパネル上のキーボードについて説明します。

漢字の入力は、かな入力とローマ字入力の両方からできます。また、漢字変換の際には文節変換が可能です。

文字を入力するときは、まず入力方式と入力文字をそれぞれ選択してください。

入力方式を選択する

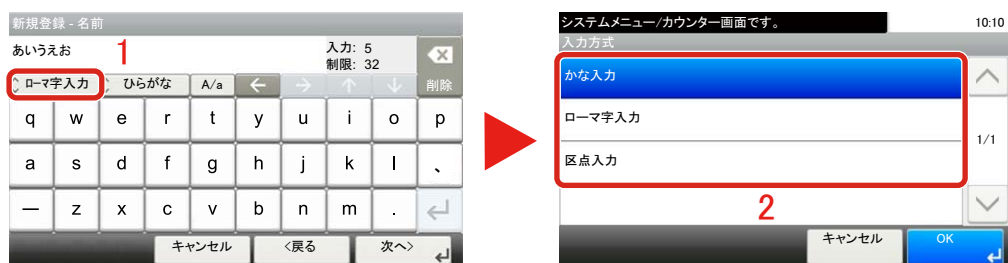
入力方式には次の3種類があります。

[かな入力]—かな入力で漢字などを入力するときに使用してください。

[ローマ字入力]—ローマ字入力(例えば、「か」と入力するとき「K」「A」と入力する)で漢字などを入力するときに使用してください。

[区点入力]—4桁の区点コードを入力して漢字などを入力するときに使用してください。

1 入力方式を切り替える



2 入力方式([かな入力]、[ローマ字入力]、[区点入力])を選択する

[かな入力]入力画面



[ローマ字入力]入力画面



[区点入力]入力画面



参考

入力方式の初期値を[ローマ字入力]に変更することができます。

▶ 本体の使用説明書

入力文字を選択する

入力文字には次の7種類があります。

[ひらがな]－漢字変換できます。無変換のときは全角ひらがなになります。

[全角カナ]－全角カタカナを入力するときに使用してください。

[半角カナ]－半角カタカナを入力するときに使用してください。

[全角英数]－無変換で全角アルファベットを入力するときに使用してください。

[半角英数]－無変換で半角アルファベットを入力するときに使用してください。

[全角記号]－無変換で全角記号、全角英数を入力するときに使用してください。

[半角記号]－無変換で半角記号、半角英数を入力するときに使用してください。

1 入力文字を選択する



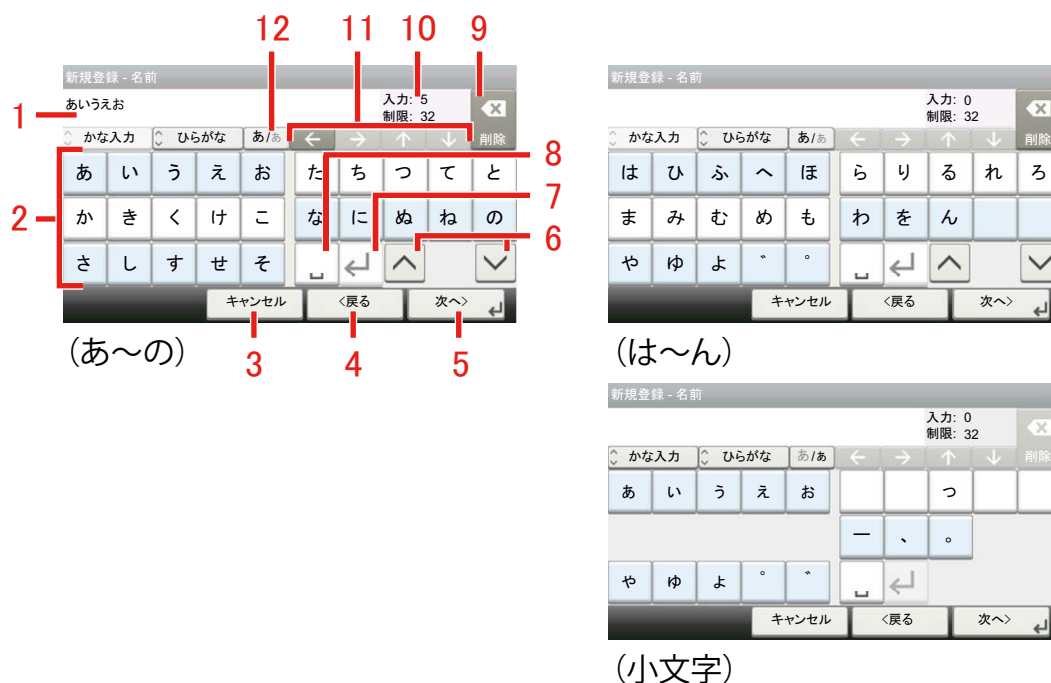
参考

入力方式として[区点入力]を選択したときは、入力文字は選択できません。

入力画面の見かた

かな入力の場合

次の画面は入力文字として[ひらがな]を選択した場合です。



番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	キーボード	入力する文字を選択してください。
3	[キャンセル]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るときに選択してください。
4	[<戻る]	前の画面に戻るときに選択してください。
5	[OK]/[次へ>]	入力した文字を確定して、次の画面に進むときに選択してください。
6	[へ][ゝ]	キーボードの(あ～の)とキーボード(は～ん)を切り替えるときに選択してください。
7	改行/確定キー	入力した文字を改行または確定するときに選択してください。
8	スペースキー	スペースを入力するときに選択してください。
9	[削除]	カーソルの左の文字を削除するときに選択してください。
10	[入力]、[制限]	変換する文字が選択されていないときに表示されます。 文字数の制限と入力している文字数を表示します。
	[変換]	変換する文字が選択されているときに表示されます。 入力した文字を漢字などに変換するときに選択してください。
11	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに選択してください。
12	[あ/ぁ]	キーを選択するごとに、全角ひらがなの大文字の入力画面と、拗音に用いる文字 (あ、い、う、え、お、つ、や、ゆ、よ)、濁点、半濁点、句点、および長音記号の入力に切り替わります。



参考

操作パネルの[クリア]キーを選択すると、文字表示部のすべての文字を削除します。入力状態が未確定の場合は、未確定文字を削除します。

ローマ字入力の場合

次の画面は入力文字として[全角ひらがな]を選択した場合です。



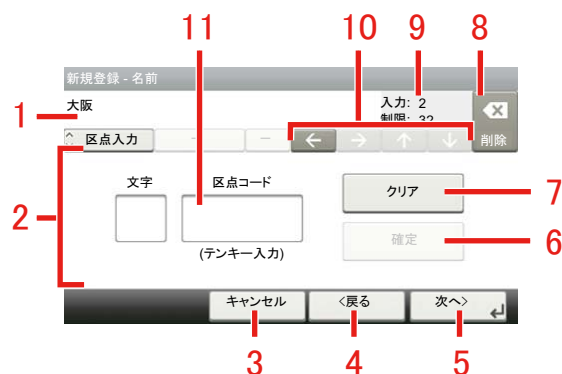
番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	キーボード	入力する文字を選択してください。
3	[キャンセル]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るときに選択してください。
4	[<戻る]	前の画面に戻るときに選択してください。
5	[OK]/[次へ>]	入力した文字を確定して、次の画面に進むときに選択してください。
6	改行/確定キー	入力した文字を改行または確定するときに選択してください。
7	[削除]	カーソルの左の文字を削除するときに選択してください。
8	[入力]、[制限]	変換する文字が選択されていないときに表示されます。 文字数の制限と入力している文字数を表示します。
	[変換]	変換する文字が選択されているときに表示されます。 入力した文字を漢字などに変換するときに選択してください。
9	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに選択してください。
10	[A/a]	キーボード(大文字)とキーボード(小文字)を切り替えるときに選択してください。

 参考

操作パネルの[クリア]キーを選択すると、文字表示部のすべての文字を削除します。入力状態が未確定の場合は、未確定文字を削除します。

区点入力の場合

次の画面は入力方式として[区点入力]を選択した場合です。



番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	入力文字表示部	区点コードに対応した文字を表示します。
3	[キャンセル]	入力した文字をキャンセルして、文字入力の前の画面に戻るときに選択してください。
4	[<戻る]	前の画面に戻るときに選択してください。
5	[OK]/[次へ>]	入力した文字を確定して、次の画面に進むときに選択してください。
6	[確定]	区点コードに対応した文字を確定するときに選択してください。
7	[クリア]	入力した区点コードを消去するときに選択してください。
8	[削除]	カーソルの左の文字を削除するときに選択してください。
9	[入力],[制限]	文字数の制限と入力している文字数を表示します。
10	カーソルキー	文字表示部のカーソルを移動させるときに選択してください。
11	区点コード表示部	入力した区点コードを表示します。

参考

各文字の区点コードは、次を参照してください。

➡ 本体の使用説明書

かな入力とローマ字入力での文字変換

かな入力、ローマ字入力のそれぞれの入力画面で変換前の文字を入力した後、[変換]を選択すると次のような文字変換画面が表示されます。



番号	表示/キー	説明
1	文字表示部	入力した文字を表示します。
2	変換候補リスト	選択中の文節に対する変換候補を表示します。
3	[取り消し]	[変換]を押す前に戻るときに選択してください。
4	[確定]	未確定文字をすべて確定するときに選択してください。
5	[^][v]	表示されている以外に変換候補がある場合、変換候補をスクロールするときに選択してください。
6	[入力]、[制限]	文字数の制限と入力している文字数を表示します。
7	[←][→]	変換対象の文節を移動させるときに選択してください。
8	[AB][AB]	変換対象文節の長さを変更するときに選択してください。

【入力例】「京都営業所」と入力するとき

入力は一文字ずつできますが、ここでは一度にひらがなを入力し文節に変換していく方法を説明します。

1 「きょうとえいぎょうしょ」と入力する



入力方式が[かな入力]の場合「きょうとえいぎょうしょ」と順にタッチパネル上で入力してください。

入力方式が[ローマ字入力]の場合、「kyoutoeigyousho」と順にタッチパネル上で入力してください。文字表示部に「きょうとえいぎょうしょ」と表示されます。

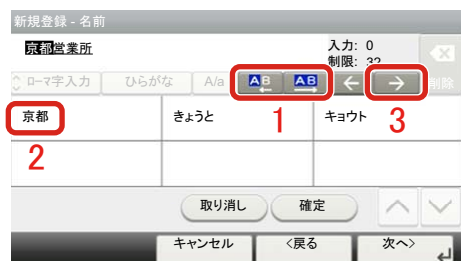
2 [変換]を選択する



文字変換画面を表示します。反転されている部分が変換する文字です。

3 文節を調整して変換する

- 1 [A/B]または[A/B]を選択して、変換する部分(この場合まず「きょうと」)を反転させてください。変換候補が表示されます。



- 2 変換候補リストから、変換する文字(この場合[京都])を選択します。

参考

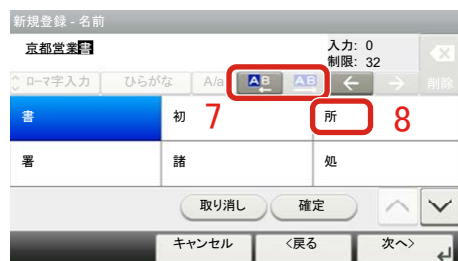
表示されている以外の変換候補がある場合、[へ]または[✓]を選択して画面をスクロールしてください。

- 3 [→]を選択します。
「京都」が決定します。

- 4 [A/B]または[A/B]を選択して、次の変換する部分(この場合「えいぎょう」)を反転させます。
変換候補が表示されます。



- 5 変換候補リストから、変換する文字(この場合[営業])を選択します。
- 6 [→]を選択します。
「営業」が決定します。
- 7 [A/B]または[A/B]を選択して、次の変換する部分(この場合「しょ」)を反転させます。
変換候補が表示されます。



- 8 変換候補リストから、変換する文字(この場合[所])を選択します。

4 変換を確定する



- 1 文字の変換が終了すれば、[確定]を選択します。
- 2 入力画面に戻ります。

区点コードでの文字変換

【入力例】「大阪」と入力する場合

この例で入力する「大」の区点コードは「3471」、「阪」の区点コードは「2669」となります。



参考

入力できる文字は全角文字に限ります。半角文字は入力できません。
各文字の区点コードは、次を参照してください。

▶ 本体の使用説明書

漢字を探すときは、音読みで探してください。

1 入力方式を[区点入力]にする

[かな入力]または[ローマ字入力]を選択して、[区点入力]を表示させてください。

2 「大」を入力する

テンキーを使って、「3」、「4」、「7」、「1」を入力すると、入力文字表示部に「大」が表示されます。[確定]を選択すると「大」が入力されます。

3 「阪」を入力する

新規登録 - 名前

大 入力: 1 制限: 32

区点入力 1

文字 区点コード クリア 確定

阪 2669 (テンキー入力)

キャンセル <戻る 次へ

新規登録 - 名前

大阪 入力: 2 制限: 32

区点入力

文字 区点コード クリア 確定

2

キャンセル <戻る 次へ

同様にして、区点コード「2669」を入力して[確定]を選択すると、「阪」の文字が「大」の後に続いて入力されます。

4 入力した文字を登録する

新規登録 - 名前

大阪 入力: 2 制限: 32

区点入力

文字 区点コード クリア 確定

(テンキー入力)

キャンセル <戻る 次へ

[次へ]を選択してください。入力した文字を登録します。

仕様



重要

仕様は性能改善のため予告なく変更することがあります。

ファクス機能

項目	仕様
相互通信	G3
適用回線	加入電話回線、Fネット
伝送時間	3秒未満(33600 bps、JBIG、ITU-T A4-R #1 chart)
伝送速度	33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/14400/12000/9600/7200/4800/2400 bps
符号化方式	JBIG/MMR/MR/MH
誤り訂正	ECM
原稿サイズ	最大原稿幅:297 mm、最大原稿長さ:1,600 mm
原稿自動給紙枚数	最大50枚(原稿送り装置使用時)
解像度	読み込み: 200 × 100 dpi ノーマル(8 dot/mm × 3.85 line/mm) 200 × 200 dpi ファイン(8 dot/mm × 7.7 line/mm) 200 × 400 dpi スーパー(スーパーファイン)(8 dot/mm × 15.4 line/mm) 400 × 400 dpi ウルトラ(ウルトラファイン)(16 dot/mm × 15.4 line/mm) 印刷:600 × 600 dpi
中間調	256 階調(誤差拡散)
ワンタッチキー	100件
同報送信	最大100宛先
代行受信	700枚以上(ITU-T A4 #1 使用時)
画像蓄積用メモリー容量	標準メモリー(12 MB)(ファクス送受信原稿用)
印刷レポート類	送信結果レポート、受信結果レポート、通信管理レポート、ステータスページ
オプション	ハンドセット

Network FAX 機能

項目	仕様
ハードウェア	IBM PC/AT 互換機
インターフェイス	10BASE-T / 100BASE-TX / 1000BASE-T
オペレーティングシステム	Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、Windows 10、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016
送信解像度	ウルトラファイン (400 × 400dpi)、ファイン (200 × 200dpi)、ノーマル (100 × 200dpi)
原稿サイズ	A3、A4、A5、B4、B5、Folio、Ledger、Letter、Legal、Statement
時刻指定送信	Network FAXドライバで時間設定 (24時間以内、1分刻みで設定可能)
同時出力	送信と同時に本体で出力可能
順次同報送信	最大100宛先
ユーザー管理/部門管理	本体で「ユーザー管理」が設定されている場合、Network FAXドライバの設定で、ログインユーザー名とパスワードを登録します。 本体で「部門管理」が設定されている場合、Network FAXドライバの設定で、アカウントIDを登録します。
送付状	Network FAXドライバでフォーマット選択およびテンプレートの作成が可能

出荷時設定値一覧表

ファクス機能の設定範囲と出荷時設定値は次のとおりです。

項目	設定範囲	出荷時設定値
ファクス発信レポート	設定しない、設定する	設定する
ファクス着信レポート	設定しない、設定する	設定する
送信結果レポート (ファクス)	設定しない、ジョブごとに指定、エラー時のみ、 設定する	エラー時のみ
画像の添付	設定しない、一部を添付、全体を添付	一部を添付
ネットワークファクス送 信時の添付画像	本文、送付状	送付状
送信前の中止レポート	設定しない、設定する	設定しない
宛先の表示形式	名前または宛先、名前と宛先	名前または宛先
ファクス受信結果通知	設定しない、エラー/Fコード、設定する	設定しない
受信結果通知方法	レポート印刷、メールアドレス帳、メールアド レス入力	レポート印刷
ファクススピーカー音量	1小、2、3中、4、5大、0消音	3中
ファクスモニター音量	1小、2、3中、4、5大、0消音	3中
連続読み込み(ファクス)	設定しない、設定する	設定しない
排紙先	内部トレイ、ジョブセパレータートレイ、フィ ニッシャートレイ ^{*1}	内部トレイ
ファクス通信履歴の表示	すべて表示、表示しない	すべて表示
機能キーの使用 (ファクス)	無効にする、有効にする	有効にする
自局名登録	最大32文字	未登録
自局名登録(フリガナ)	最大32文字	未登録
自局ファクス番号	最大20桁	未登録
自局ファクスID	4桁(0000～9999)	0000
回線種類	プッシュ回線(DTMF)、ダイヤル回線(10PPS)、 ダイヤル回線(20PPS)	プッシュ回線
受信方式	自動(普通)、自動(ファクス/電話)、自動(留守番 電話)、手動	自動(普通)
ベル回数(普通)	1～15回	2回
ベル回数(留守番電話)	1～15回	15回
ベル回数 (ファクス/電話切替)	0～15回	0回
リモート切り替えダイヤ ル	2桁(00～99)	55
ダイヤルイン	設定しない、設定する	設定しない

*1 オプションの500枚フィニッシャーを装着しているときに表示されます。

項目	設定範囲	出荷時設定値
ダイヤルイン電話番号	4桁(0000～9999)	0000
ファクス番号	4桁(0000～9999)	0000
Fネット無鳴動受信	設定しない、設定する	設定しない
暗号受信	設定する(暗号鍵番号01～20)、設定しない	設定しない
暗号鍵登録	0～9、A～Fの16桁(暗号鍵番号01～20)	未登録
発信元記録	設定しない、原稿外側、原稿内側	原稿外側
自局名に部門名を使用	設定しない、設定する	設定する ^{*1}
用紙種類	全用紙種類、普通紙、薄紙、再生紙、ボンド紙、カラー紙、厚紙、上質紙、カスタム1～8	全用紙種類
受信日時記録	設定しない、設定する	設定しない
両面印刷	設定しない、設定する	設定しない
2in1印刷	設定しない、設定する	設定しない
一括印刷	設定しない、設定する	設定しない
送信制限	制限しない、許可リスト+アドレス帳	制限しない
受信制限	制限しない、許可リスト+アドレス帳、拒否リスト	制限しない
通信許可番号リスト	最大20桁(登録件数は最大25件)	未登録
通信拒否番号リスト	最大20桁(登録件数は最大25件)	未登録
通信許可IDリスト	0000～9999(登録件数は最大10件)	0000
番号不明受信の処理	拒否する、許可する	拒否する
使用禁止時間	設定しない、設定する	設定しない
解除コード	4桁(0000～9999)	0000
リダイヤル回数	0～14回	3回
ファクスリモート診断	設定しない、設定する	設定しない
リモート診断ID	4桁(0000～9999)	0000
転送設定	設定しない、設定する	設定しない
新規宛先の入力 (ファクス)	禁止する、許可する	許可する
送信開始速度	9600 bps、14400 bps、33600 bps	33600 bps
ECM	設定しない、設定する	設定する
受信開始速度	9600 bps、14400 bps、33600 bps	33600 bps

*1 部門管理を有効にしている必要があります。

項目	設定範囲	出荷時設定値
ナンバーディスプレイ	契約していない、契約している	契約していない
暗号送信	設定しない、設定する	設定しない
送信先暗号ボックス	使用しない、使用する	使用しない
ファクス送信解像度	400×400 dpi(ウルトラファイン) 200×400 dpi(スーパーファイン) 200×200 dpi(ファイン) 200×100 dpi(ノーマル)	200×100 dpi(ノーマル)
ポーリング送信後原稿の 削除	設定しない、設定する	設定しない
上書き保存許可設定	禁止する、許可する	許可する

受信サイズと印刷用紙優先順位表

受信した原稿のサイズと、同サイズ同方向の用紙がカセットにセットされていない場合、本機が印刷の際に自動で選択する用紙の優先順位は次の表のとおりです。

等倍優先

縮小受信を[設定しない]に設定している場合に、等倍で印刷することを優先して用紙選択を行います。

➡ [\[縮小受信\] \(5-9\)](#)

		受信サイズ										
選択順位		A5 	B5 	A4-R 	A4 	Folio 	B4 	A3 	A4 長尺 ^{*1} 	Folio 長尺 ^{*2} 	B4 長尺 ^{*3} 	A3 長尺 ^{*3} 
用紙サイズ	1	A5-R ^{*5} 	B5 	A4-R 	A4 	Folio 	B4 	A3 	A3 	A3 	A3 	A3 
	2	A4-R 	B5-R ^{*5} 	A4 ^{*5} 	A4-R ^{*5} 	A4-R 	A3 	A4 	A3 	A3 	A3 	A4 
	3	Folio 	B4 	Folio 	Folio ^{*5} 	A4 ^{*5} 	B5 	A4-R ^{*5} 	B4 	B4 	B4 	A4-R ^{*5} 
	4	A5 ^{*5} 	A4 	A3 	A3 	A3 	B5-R ^{*5} 	Folio ^{*5} 	B4 	B4 	B5 	Folio ^{*5} 
	5	B5 	A4-R ^{*5} 	B4 	B4 ^{*5} 	B4 	A4 ^{*7} 	B4 ^{*5*7} 	A4-R 	Folio 	B5-R ^{*5} 	B4 ^{*5} 
	6	B5-R ^{*5} 	Folio ^{*5} 	A5-R ^{*5} 		A4-R 	A4 	B4 ^{*5} 	A4 ^{*5} 	A4-R ^{*6} 	A4 	
	7	A3 	A3 	B5 ^{*7} 		A4 ^{*5} 	A4-R ^{*5*7} 		A5-R ^{*5} 	A4-R 	A4-R ^{*5} 	
	8	B4 		B5 		A5-R ^{*5} 	A4-R ^{*5} 		B5 	A4 ^{*5*6} 	Folio ^{*5} 	
	9			B5-R ^{*5*7} 		B5 	Folio ^{*5*7} 		B5-R ^{*5} 	A4 ^{*5} 		
	10			B5-R ^{*5} 		B5-R ^{*5} 	Folio ^{*5} 			A5-R ^{*5} 		
	11									B5 		
	12									B5-R ^{*5} 		

- *1 A4長尺:A4より給紙される方向に長い原稿
- *2 Folio長尺:Folioより給紙される方向に長い原稿
- *3 B4長尺:B4より給紙される方向に長い原稿
- *4 A3長尺:A3より給紙される方向に長い原稿
- *5 受信サイズと用紙の向きが異なるため、画像を自動的に90°回転して印刷します。
- *6 受信した原稿の長さが351～380.4mmでFolioサイズを設定しているカセットの用紙がなくなっている場合、この用紙で印刷します。
- *7 受信した原稿の長さが短い場合、この用紙で印刷します。

は2枚の用紙に分割して印刷されることを示しています。



参考

「受信用紙種類」で用紙の種類を選択している場合は、用紙種類が一致する給紙元から印刷します。

▶ [\[用紙種類\] \(5-9\)](#)

「受信用紙種類」で[全用紙種類]を選択している場合でも、ファクスの印刷に使用できない用紙種類がセットされた給紙元からは印刷できません。

縮小優先

縮小受信を「設定する」に設定している場合に、縮小して1枚に印刷することを優先して用紙選択を行います。

➡ [「縮小受信」\(5-9\)](#)

		受信サイズ										
選択順位		A5 	B5 	A4-R 	A4 	Folio 	B4 	A3 	A4 長尺 ^{*1} 	Folio 長尺 ^{*2} 	B4 長尺 ^{*3} 	A3 長尺 ^{*3} 
用紙サイズ	1	A5-R ^{*5} 	B5 	A4-R 	A4 	Folio 	B4 	A3 	A3 	A3 	A3 	A3 
	2	A4-R 	B5-R ^{*5} 	A4 ^{*5} 	A4-R ^{*5} 	A4-R 	A3 	B4 ^{*6} 	A3 	A3 	A3 	A4 
	3	Folio 	B4 	Folio 	Folio ^{*5} 	A4 ^{*5} 	A4-R ^{*6} 	A4-R ^{*6} 	B4 	B4 	B4 	A4-R ^{*5} 
	4	A5 ^{*5} 	A4 	A3 	A3 	A3 	A4 ^{*5*6} 	A4 ^{*5*6} 	B4 	B4 	B5 	Folio ^{*5} 
	5	B5 	A4-R ^{*5} 	B4 	B4 ^{*5} 	B4 	Folio ^{*6} 	Folio ^{*6} 	A4-R 	Folio 	B5-R ^{*5} 	B4 ^{*5} 
	6	B5-R ^{*5} 	Folio ^{*5} 	B5-R ^{*6} 	B5 ^{*6} 	B5-R ^{*6} 	B5-R ^{*6} 	B5-R ^{*6} 	A4 ^{*5} 	A4-R ^{*7} 	A4 	
	7	A3 	A3 	B5 ^{*5*6} 	B5-R ^{*5*6} 	B5 ^{*5*6} 	B5 ^{*5*6} 	B5 ^{*5*6} 	A5-R ^{*5} 	A4-R 	A4-R ^{*5} 	
	8	B4 		A5-R ^{*6} 	A5-R ^{*5*6} 	A5-R ^{*5} 			B5 	A4 ^{*5*6} 	Folio ^{*5} 	
	9								B5-R ^{*5} 	A4 ^{*5} 		
	10									A5-R ^{*5} 		
	11									B5 		
	12									B5-R ^{*5} 		

- *1 A4長尺:A4より給紙される方向に長い原稿
- *2 Folio長尺:Folioより給紙される方向に長い原稿
- *3 B4長尺:B4より給紙される方向に長い原稿
- *4 A3長尺:A3より給紙される方向に長い原稿
- *5 受信サイズと用紙の向きが異なるため、画像を自動的に90°回転して印刷します。
- *6 用紙サイズに合わせて受信データを縮小して印刷します。
- *7 受信した原稿の長さが351~380.4mmでFolioサイズを設定しているカセットの用紙がなくなっている場合、この用紙で印刷します。

は2枚の用紙に分割して印刷されることを示しています。



参考

「受信用紙種類」で用紙の種類を選択している場合は、用紙種類が一致する給紙元から印刷します。

▶ [\[用紙種類\] \(5-9\)](#)

「受信用紙種類」で[全用紙種類]を選択している場合でも、ファクスの印刷に使用できない用紙種類がセットされた給紙元からは印刷できません。

索引

数字

2in1印刷 5-10, 8-11

E

ECM受信 8-12

ECM送信 8-9

F

Fコード通信

受信のしかた 5-25

Fコード掲示板受信 5-28

Fコード送信ができない 10-9

Fコード通信 5-23

Fコードサブアドレス 5-23

Fコードパスワード 5-23

送信のしかた 5-24

Fコードボックス 5-18

Fコードボックス印刷後原稿の削除 5-21

Fコードボックスからの印刷 5-20

Fコードボックスからの削除 5-22

Fコードボックスリスト 5-22

確認 5-21

削除 5-20

登録 5-18

変更 5-19

Fネット 5-11, 8-11

N

Network FAX

基本的な送信の方法 6-13

受信の流れ 6-2

セットアップ 6-3

送信の流れ 6-2

ドライバーのインストール 6-6

あ

宛先

検索 3-9

宛先確認画面 7-10

アテンションランプ

点灯 10-2

点滅 10-2

アドレス帳 2-10, 3-9

宛先選択 3-9

グループの登録 2-12

削除 2-14

新規登録 2-10

変更/削除 2-13

リストの出力 2-14

暗号受信 8-12

暗号通信

暗号鍵 5-33

暗号鍵の削除 5-34

暗号鍵の登録 5-33

暗号鍵の変更 5-34

暗号鍵番号 5-33

暗号受信を設定する 5-36

暗号送信のしかた 5-35

暗号ボックス番号 5-33

い

一括送信 5-6

印刷されない 10-8

え

エラーコード一覧表 10-5

エンターキー 2-6

お

お気に入り 3-20

音設定

正常終了音 2-7, 8-7

ファクススピーカー設定 8-7

ファクスモニター設定 8-7

ファクススピーカー設定 2-7

ファクスモニター設定 2-7

か

カセット/手差しトレイ設定 8-6

簡単セットアップ 2-7

管理機能 8-22

き

許可ID番号

削除 8-18

登録 8-18

変更 8-18

許可ファクス番号

削除 8-16

登録 8-15

変更 8-16

拒否ファクス番号

削除 8-17

登録 8-17

変更 8-17

け

原稿送り装置 2-3

原稿サイズ 5-3

原稿セット向き 5-3

原稿の画質 5-5

し

自局ファクスID 2-7, 8-9

自局ファクス番号 2-7, 8-9

自局名 2-7

自局名に部門名を使用 8-9

時刻 2-9

受信開始速度 8-12
受信サイズと印刷用紙優先順位 11-17
受信設定 4-2, 8-11
受信できない 10-8
受信日時記録 5-10, 8-11
受信方式 4-2
受信用紙種類 5-9, 8-11
出荷時設定値一覧表 11-14
手動受信 4-4, 9-9
手動送信 3-15, 9-8
ショートカット
登録 2-17
使用禁止時間 8-20
仕様(ファクス機能) 11-12

そ

操作パネル 2-4
送受信制限 8-14
許可ID番号 8-18
許可ファクス番号 8-15
拒否ファクス番号 8-17
受信拒否条件 8-14
受信制限設定 8-19
前提条件 8-14
通信成立条件 8-14
番号不明受信の処理 8-19
送信開始速度 8-10
送信状況 3-4
送信できない 10-8
送信予約 3-16

た

代行受信 4-3
ダイヤルイン 5-11, 8-12
タッチパネル 2-5
短縮キー 2-6
宛先選択 3-10

ち

チェーンダイヤル 3-18
中止
送/受信の中止(通信の切断) 3-6
タイマー送信の中止 5-6
ファクスダイレクト送信の中止 5-7
ポーリング送信 5-27
メモリー送信の中止 3-5
長尺原稿 5-5

つ

通信結果/登録の確認 7-2

て

電源を切るときの注意 1-4
転送設定 5-13
電話回線の設定 2-7, 8-9

と

同報送信 3-11

トラブルが発生した場合 10-8

な

ナンバーディスプレイ 2-7, 8-12

の

濃度 5-4

は

排紙先 8-7
発信元記録 2-7
発信元記録の選択 8-9
ハンドセット 9-2

ひ

日付 2-9

ふ

ファクス/電話自動切替受信 9-4
ファクス/留守番電話自動切替受信 9-6
ファクス初期設定 8-2
ファクス送信解像度 5-4
ファクスタイマー送信 5-6
即時送信 5-6
ファクスダイレクト送信 5-7
中止 5-7
部門管理 8-22
制限 8-23
対象となる通信形態 8-23
内容 8-22
ログイン 3-14
文書名入力 5-5

へ

ベル回数
ファクス/電話切替 8-11
普通 8-11
留守番電話 8-11

ほ

ホーム画面 2-5
ポーリング受信 5-7
ポーリング通信 5-26
Fコード揭示板受信 5-28
確認 5-30
ポーリング受信 5-28
ポーリング送信 5-26
ポーリングボックスからの印刷 5-30
ポーリングボックスからの削除 5-30
本体(名称) 2-2

め

メール通知
受信結果通知 7-9
ジョブ終了通知 5-5
メッセージ 10-3
メニューマップ -vi

- メモリー送信 3-2
 - 中止 3-5
- メモリー転送 5-12
 - Command Center RX 5-17
 - 転送の種類 5-12

も

- 文字の入力 11-2
 - 入力文字 11-3
 - 文字変換 11-7, 11-10

ゆ

- ユーザー管理 8-22
 - 内容 8-22
 - ログイン 3-13
- 優先送信 3-4

よ

- よくあるお問い合わせ 10-9

ら

- ランプ表示 10-2

り

- リダイヤル 3-3
 - 回数の変更 8-9
- リモート切替機能 8-11, 9-10
 - 使いかた 9-10
- リモート診断 8-8
- 両面/見開き原稿 5-4
- 両面印刷 5-10, 8-11
- 履歴 7-3
 - ジョブ履歴画面 7-3

れ

- レポート
 - Fコードボックスリスト 5-22
 - 宛先の表示形式 7-5
 - 受信結果レポート 7-6
 - ステータスページ 7-8
 - 送信結果レポート 7-4
 - 送信前に中止されたジョブのレポート 7-5
 - 通信管理レポート 7-7
- 連続読み込み 5-5

わ

- 割り込み送信 3-17
- ワンタッチキー 2-15
 - 宛先選択 3-10
 - 削除 2-15
 - 変更 2-15



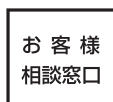
お客様相談窓口のご案内

弊社製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラドキュメントソリューションズ株式会社 京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社

〒158-8610 東京都世田谷区玉川台2丁目14番9号

<http://www.kyoceradocumentsolutions.co.jp>



市内通話料でOK
ナビダイヤル

0570-046562

受付時間

● 9:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00
(土曜、日曜、祝日および当社指定休日は除く)

市内通話料金でご利用いただけます。